

ハ米麥糠四十石六斗四升芋粉十二貫八百匁蠶蛹八十七貫八百匁ヲ使用シ翌年三月末ニ放テル生産ハ單養ニ於テハ蠶兒體長六七寸重量平均廿五匁ノモノ一坪八尾即チ二百匁ノ割合ニテ百十二貫ヲ混養ハ蠶兒體長八寸五分内外此平均重量三十二匁ノモノ一坪四尾五即チ百四十五匁ノ割合ニテ九十二貫八百匁ヲ又蠶兒體長八九寸重量平均八十匁ノモノ一坪一尾五即チ百二十匁ノ割合ニテ七十六貫八百匁ヲ得タリ本飼育中ハ別ニ著シキ天變ヲ見スト雖モ池水漏洩ノ爲育水中ニ鹽氣ヲ混シ往々一〇〇五内外ノ比重トナリ鯉魚ノ養成ニハ稍不適當ナリシト八月中水質變化ノ爲メ漸次斃魚ヲ生シ放養以來苗魚原數五割弱ノ步減ヲ見ルニ至レリ而シテ其坪當リ生産ハ混養ハ二百六十匁ニシテ單養ハ二百匁ニ對シ六十五匁ノ増收アリ鯉魚放養當初ニ於ケル三尾ノ重量六十匁ヲ控除スルハ混養地ハ蠶蛹粉十五匁米麥糠七合ノ増餌料ヲ給シ魚肉五匁ヲ求メタル計算トナリ彼我對照上寧ロ單養ノ利益ナルニ若カサルカ如キ成績ヲ得タリト雖モ魚價ノ比較ニ付テハ鯉ハ常ニ鱒ノ一二割上位ニアリ殊ニ鯉魚ハ中途步減アリシニ拘ラス坪當リ五匁ノ増收ヲ見ルカ如キハ優ニ混養ノ利益多キハ表明セリ投餌及生産ニ關スル比較ヲ擧ク

成長度比較表

年 月	單養地		混養地	
	體長	體量	體長	體量
放養當時	—	—	—	—
四月末	—	—	—	—
五月末	—	—	—	—
六月末	—	—	—	—
七月末	—	—	—	—
八月末	—	—	—	—
九月末	—	—	—	—
十月末	—	—	—	—
翌年三月末	—	—	—	—

投餌比較表

種類	單養地		混養地	
	一坪常投餌量	五百六十坪投餌總量	一坪常投餌量	六百四十坪投餌總量
米	0.05kg	3.0kg	0.05kg	3.0kg
麥	0.01kg	0.6kg	0.01kg	0.6kg
芋粉	0.01kg	0.6kg	0.01kg	0.6kg
蠶蛹	0.13kg	7.8kg	0.13kg	7.8kg

但シ混養ハ單養ニ比シ一坪ニ對シ米麥糠七合蠶蛹十五匁ノ増量ヲ給シタリ  
生産比較表

種 類	單 養 地 (五百六十坪)		混 養 地 (六百四十坪)	
	一坪當尾數	一坪當生産量	一坪當尾數	一坪當生産量
鯉	八尾	0.1100	四尾五	0.1150
鰱	八尾	0.1100	一尾五	0.1100
計	八尾	0.1100	六尾〇	0.1150
		11,000		12,000

但シ混養ハ單養ニ比シ一坪當六十五匁ノ増生産アリ  
一坪當増肉量比較表

種 類	單 養 地		混 養 地	
	魚苗重量	生産重量	魚苗重量	生産重量
鯉	100	100	100	110
鰱	100	100	100	110
計	100	100	100	110
		100		110

但シ表中鰱魚苗ノ重量ナキハ一尾ノ重量匁以下〇.三内外ニシテ増肉量ニハ差シタ  
ル影響ナキニ依リ之ヲ省ケリ

### 鰻 兒 移 殖

本事業ハ前年度ノ創始ニ屬シ山間部其ノ他淡水區域ニ於テ其生産ヲ挽回シ若シクハ益々之レカ蕃殖ヲ圖ラン爲メ累年ノ繼續事業トシテ鰻兒ハ其富饒ナル兒島灣其他ノ沿海ニ求メ生産ノ稀少ナル個所ヲ調査シ移殖放流スルニアリテ兒島灣産鰻兒四十一貫七百匁ヲ購入シ十二月三十日及翌春二月六日ノ二回ニ於テ和氣郡香登村大ヶ池及後月郡西江原村明治池ノ二ヶ所ニ放流シ一面ニハ之レカ保護取締ヲ加ヘタリ恨ムラクハ事業ノ規模狹小ニ失シ奏効容易ナラスト雖モ漸次之レカ擴張ヲ圖ルト共ニ將來精密ナル調査ヲ行ヒ蕃殖ノ基礎ヲ確定シ其目的ヲ遂行セシムコトヲ期セリ

### 牡蠣養殖試験

本年度ニ於テ經營シタル牡蠣試験地ハ邑久郡牛窓町地先和氣郡片上町大字西片上地先及小田郡金浦町大字生江濱地先ノ三ヶ所ニシテ以下各地毎ニ其成績ノ大要ヲ掲グ

#### 牛窓町試験地

本試験ハ一昨明治三十七年度ヨリ着手スル所ニシテ當初ヨリノ成績要點ハ前年ノ報告ニ之ヲ盡セリ本年度ニ於テハ前年豫期ノ成績ヲ確メ採苗材料トシテハ松濱ヲ最良トスルコト蠣床ノ如キモ前年來經驗セシ方法ノ最モ該地方ニ適當ナルヲ明瞭ニシ其他百般

#### 鰻兒移殖

#### 牡蠣養殖試験

ノ事項ニ就キ營利事業トシテ有望ナル些ノ疑ナキニ至リシヲ以テ本年度限之ヲ閉止シ直ニ民業ニ移スコトハセリ

當本年度ニ於テ正確ニ認メ得タル成績ノ要点ヲ撮記スレバ

- 一、採苗ト成長ト地域ヲ異ニスルヲ利益トスルコト
- 二、築材ハ松材ヲ最良トシ介壳材料之ニ次クコト
- 三、海底軟泥ノ地ハ砂土介壳類ヲ撒布シテ牡蠣床ヲ作り成長地ニ充ツルコト
- 四、附着ノ牡蠣苗ハ翌春築ヨリ剝脱シ成長地ニ移スヲ利益トスルコト

片上試驗地

片上灣ハ備前ノ東南部ニアリテ和氣邑久二郡之ヲ包圍シ三方山脈ヲ以テ負ヒ風波從テ穩ナリ本試驗地ハ片上灣ノ極奥ニ位シ淡鹹水ノ調和宜シキヲ得夏季比重一〇一五乃至一〇二〇ヲ示シ沿岸堤防ニハ天然生牡蠣ノ着生又少カラザルヲ以テ曾テ本縣ニ於テ試驗ヲ施行セシト雖モ一般人民ニ模範ヲ示スニ至ラスシテ經費上ノ都合中途停止スルノ已ナキニ至レリ依テ本場再ビ其成績ヲ完フセシガ爲メ之ヲ試驗ヲ行フコトハセリ試驗地區ハ灣ノ北部千五百坪ヲ區劃シ其内九百九十坪ヲ採苗場トシ築ヲ樹立セリ地底ハ軟泥ニシテ浮泥少ク僅々砂土ヲ混ス水深平潮時ニ於テ五尺干潮時ニアリテ地底ヲ露出ス

築材料ハ半窓試驗地成績ニ鑑ミ且ツ同地方ニテ最モ得易キトヨリ總テ松材ヲ使用セリ其ノ大サ末口直徑一寸三四分長六尺其一尺五寸ヲ地中ニ埋沒ス一本一株トシテ六月三四兩日ニ亘リテ一坪四株ノ割ヲ以テ潮流ニ並行シテ鉛直ニ樹立セリ其總數三千九百四十本トス

牡蠣胚子附着ノ時期ハ確實ニ之ヲ知ルヲ得ザルモ肉眼ヲ以テ明ニ認ムルニ至リシハ築立後三十日目即七月一日ニシテ長サ一厘位ノモノ点々附着シ爾後續々着生シ晩秋十月頃ニ至リテモ猶稚介ノ附着セルヲ發見セリ然レハ此地方ニ於テハ牡蠣産卵ハ五月頃ヲ初期トシ十月頃ニ終リ最盛期ハ六七ノ二ヶ月ニアルカ如シ而シテ附着生ノ部位ハ多ク築ノ中位ニアリテ地底ニ接スル下部五六寸ノ間ハ稍粗ニ最上部一尺ノ間ハ殆ンド皆無ナリシ是レ本年夏季恰モ胚子着生時期ニ於テ流藻多ク懸垂シ爲ニ附着ヲ妨ゲラレタルニ由ナルベシ又之ヲ地區全体ニ就キ比較スレハ濔筋ニ近ク潮流急ナル所ハ最多ク北岸ニ接近セル東部ニ於テ最少シ而シテ胚子ノ數ハ一株ニ對シ最多ハ百二三十個最少ハ三十個ヲ算セリ生長ハ未ダ築着生ノ儘ニテ營養充分ナラザルヲ以テ比較的遲緩ナリ測定セル生長表ヲ示セバ左ノ如シ

種類	月日	八月三十一日	九月卅日	三月十五日
----	----	--------	------	-------

牡蠣養殖試驗

小	大
巾長	巾長
〇〇、二	〇一、八
〇〇、五	〇一、〇
〇一、九	〇二、三

生江濱試驗地

生江濱ハ笠岡灣ノ西岸ニアリテ西北ニ僅ニ曲入セル灣口ニ當レリ西北ハ丘陵起伏シ南方瀬戸内海ニ面スト雖ヒ白石北木真鍋其他ノ諸島散在スルヲ以テ風浪烈シカタズ殊ニ天然産牡蠣豊富ニシテ養蠔事業ヲ起スニ好適地ナリ依テ本年六月生江濱地先海岸ニ沿ヒ長百五十間巾三十五間ヲ區劃シ試驗ヲ施行セリ

地質ハ真泥土ニシテ上部約二二寸浮泥ヲ以テ蔽ハル下部二尺位ノ所ヨリ少シク砂土ヲ混ス水深平潮五尺干潮時ニ於テ地底ヲ露出ス淡水ハ西濱吉濱ノ二ヶ所ノ排水ニヨリ滲ヲ爲シテ試驗地ノ東側ヲ流レ比重夏季平均一〇一八ヲ示ス試驗方法ハ片上試驗ト全一ニシテ異ナルナリ只ダ材料ニ松粗朶竹ノ三種ヲ各々枝條一尺ヲ附シテ使用セリ材料ハ比較的廉價ニシテ得易キヲ撰ブハ勿論ナルモ又材料ニヨリ附着數ニ多少アリテ一概ニ是非ヲ判定シ得サルヲ以テ本試驗地ニ於テハ前記三種ノ材料ヲ各等價ツ、購入使用セ

其數量左ノ如ク

- 松 三千七百七十五本
- 竹 二千四百三十本
- 粗朶 四千七百五十本

築建設ハ五月廿日ヨリ全月二十三日ニ亘ル四日間ニ終リ蠔苗ノ附着ハ前試驗地ト同ク築立後約三十日即六月中旬ニ發見セリ爾後漸次増加シ九月下旬ニ至リテ材料及上下位置ノ別ナク全面蠔苗ヲ以テ充シ其數約三百五十個ヲ算セリ爲ニ枝條ニ附着セル牡蠣ハ自己ノ重力ニヨリ剝落シ枝條ヲ折摧シ又ハ樹皮ト共ニ剝離スルモノヲ生セリ以テ其夥多ナルヲ知ルベシ生長ハ附着生ノ多數ナル爲メ勢ヒ遲緩ヲ免レスト雖モ最大一寸五分巾一寸ニ達セリ更ニ平均測定表ヲ示セバ左ノ如ク

月	日	九月三日	九月十五日	十月二日	三月十七日
巾長		〇、七	〇、七	一、一	一、五
		〇、四	〇、七	〇、八	一、〇

採苗材料得失ニ至リテハ三材料共ニ全面ノ着生ニシテ到底一目ノ觀望ニヨリ之ヲ判定スルヲ得サルモ只ダ松粗朶ノ二種ハ海虫ノ侵害ヲ蒙リ本春ニ亘リ折倒スルモノヲ生シ

牡蠣養殖試驗

尙松ハ伐截時期ヲ誤リシモノカ昨秋以來漸ク樹皮剝離シ附着セル牡蠣ヲ泥中ニ埋没セ  
シメタリ是レ樹枝ノ欠点トス  
以上ハ本年度經過ノ事實ニシテ本年度採苗試驗ノ成績ハ最モ好長ニシテ他ニ多ク其比  
ヲ見サルノ盛況ヲ呈セリ故ニ未ダ育養ノ試驗ヲ經ザルニ既ニ灣内他ニ之カ經營ニ着手  
セントスルモノヲ見ルニ至レリ

### 鯉移植試驗

縣下兒島郡呼松灣ハ廣闊ナル灣地ヲ有シ淡鹹交會底質眞泥土ニシテ下部約一尺ニシテ  
稍砂土ヲ混シ最モ介類養殖ノ適地ナルヲ認メ本年度ニ於テ呼松村地先ニ總面積約壹萬  
坪ヲ畫シテ鯉養殖場トシ内二千二百五十九坪ヲ第一期移植地ニ充テ一坪三升ノ割  
ヲ以テ九月十六七日兩日ニ於テ兒島灣ニテ採收ノ鯉亮長一寸内外ノ稚介三十石七斗一  
升ヲ運搬移植シタリ尙蒔込量ニ對スル成長率ヲ比較センカ爲メ澤筋ニ近ク一直線ニ方  
一坪ノモノ九ヶ所ヲ區畫シ其一區畫毎ニ最少一升ヨリ遞次増加シテ九升ニ至レリ其成  
績ハ蒔付後僅ニ六ヶ月余ノ短時日ナルノモナラス蒔付後三十余日ニシテ冬季ニ入り  
生長停止ノ時ニアリシヲ以テ今ヤ是等短日間ノ成績ニアリ比較云々スルハ聊カ妥當ヲ  
欠クノ嫌アルモ今日迄ノ經過ノ事實ニヨレハ一升蒔ヨリ五升蒔迄ノモノ生長最好長ニ

シテ八升蒔ノモノ甚ダ不良ナリ是ニ因リ之ヲ觀レバ一坪蒔區ノ量ハ五升ヲ限度トスル  
モノ、如シ

普通蒔込ノ地即三升蒔ノ地ハ生長最好長ニシテ平均長二寸一分巾七分五厘量三匁五分  
ニ達セリ全十月以降毎月測定ノ成績表ヲ示セハ左ノ如シ

月 日	十月二日	十月三十日	三月十五日
長	一、三寸	一、四寸	一、七寸
巾	一、三寸	一、五寸	一、六寸
重	一、二匁	一、七匁	二、五匁

以上ハ單ニ經過ノ事實ニシテ未ダ全部ノ採收ヲ行ハサルヲ以テ其生長步留等ニ付キ正  
確ナル計數ヲ擧ゲ得ザルモ毎月採收セル標本ノ成長度ト蒔付後死介亮ヲ認メザルトニ  
ヨレバ本試驗地附近一休鯉養殖ニ適當ノ地タルヲ認ムルニ足レリ

### 海苔養殖及製造試驗

本試驗ハ前年來ノ繼續試驗ニシテ一昨三十七年地區變更後既ニ二星縮ヲ閱シ附着材料  
ノ選擇蒔植ノ時季及其建植方法等諸般ノ試驗ヲ遂ケタルヲ以テ本年度ニ於テハ經濟上  
ノ試驗ヲ目的トシテ施設セリ其ノ試驗地モ前年ト同シク兒島灣口上道郡沖田村及同郡

鯉養殖試驗

海苔養殖及製造試驗

九階村地先海面ニシテ之ヲ三區ニ分チタリ其築數以下摘要表ヲ左ニ示ス

地區	築數	建設	幼芽附着日	初摘日	最盛期	摘採量
第一區	竹 三九〇株 樹枝 一五〇〇	九月廿八日 同三十日	十二月五日 十二月八日	一月十三日	二月初旬	一三、四三三
第二區	竹 一五〇〇 樹枝 一〇〇八	九月廿一日 十月一日	同二十五日	一月十四日	二月初旬	八、五八〇
第三區	樹枝 一三〇三	十月二日	十二月一日	一月十五日	二月初旬	七、七〇〇

附着材料ハ女竹樹枝ノ二種ヲ用キ前年來ノ試驗成績ニ鑑ミ竹ハ淺所ニ樹枝ハ深所ニ樹立セリ樹立ノ方法ハ前年ト異ルナキモ竹材ノ傾斜度ハ昨年ノ四十度ニ於テ聊カ低ニ失シ(各)海藻ノ壹種ノ着生夥多ナリシヲ以テ本年ハ四十五度ニ改メ樹枝ハ殆ソト鉛直ニ樹立セリ

幼芽ノ着生ハ各地區多少ノ遲速アリ第三區ハ最早ク築立後六十日目ニ之ヲ認メ第一區及第二區竹ハ六十五日第二區樹枝ハ最モ遲ク八十五日目ニ發見セリ當時其數多カラス漸ク拾株中ニ海苔一葉位ノ割ナリシモノ日々其ノ數ヲ増シ十二月末ニ至レバ各區共殆ソト一様ニ築全部ニ亘リ着生シ長キハ既ニ一二寸ニ達セリ爾後著シク伸長シテ一月十三日ニ至リ初摘ヲ行フニ至レリ初摘當時ハ海苔ノ生長未タ充分ナラス一日ノ採收量二三貫目ニ過キザリシモ漸次生長シテ二月初旬ニ至リ益々増量シ一日八貫目乃至十貫目ヲ摘採スルニ至リシニ二月十三日夜干潮時ニ於テ大風雪至リ爲ニ生長セル海苔ハ切斷流

失シ幼芽ハ蒸縮シ色澤漸ク衰フルニ至レリ爾後漸次回復發育スルニ至リシモ時既ニ温暖ニ向ヒ色澤舊ノ如クナラス品質聊カ劣ルニ至リシヲ以テ三月二十四日摘採ヲ終了セリ採收總量二百五十九貫六百四十六匁ニシテ第一區及第三區ハ四十八匁第二區ハ二十八匁強ニ當レリ海苔ノ生長ハ潮流ト温度ニ關係スルニ最大ナリ故ニ水深淺ク干潮時ニ地底ヲ露出スル第一區及第二區ノ一部ハ初期ニ於テ伸張速ナルニ反シ三月以降温暖ニ向フニ從ヒ色澤漸次赤變シ枯腐スルモノ多キモ水深キ第三區ハ初期寒冷ノ候ニ於テ遲緩ナルニ反シ四月ニ至ルモ猶色澤良好益々伸張摘採シ得ルノ利アリ以上ハ本年成績ノ概要ニシテ其ノ收支ヲ比較スルニ方リ築數ニ比シ採收量ノ少キハ全ク三月十三日ノ大風雪ノ障害アリシト時既ニ年度末ニ際シ經費ノ都合等ニヨリ三月二十四日限リ摘採ヲ中止シタルニ依レリ

製造試驗ハ養殖試驗ニ關聯スル事業ニシテ昨三十八年ヨリ施設シ製品ハ各地ニ試賣シテ汎ク批評ヲ求メタル結果尙改善ヲ要スル点少ナカラザリシヲ以テ本年ハ専ラ之カ改善ニ力メ細切抄製干燥等大ニ注意ヲ加ヘタルヲ以テ本年製品ハ品質頗ル上等ニシテ香氣稍々東京灣産ニ及ハサルハ鹹ナリト雖モ味ノ甘美ナル点ニ於テハ遙ニ之ニ優レルニ至レリ本年製造數量ハ水切重量二百五十九貫六百四十六匁ヲ以テ大判一萬六千二百

海苔養殖及製造試驗

五十九枚小判八千〇二十三枚計二万四千二百八十二枚ヲ大坂岡山ノ二ヶ所ニ販賣シ平均大判一帖七錢五厘小判全上ナ七錢二厘ニ販賣セリ以上ハ本年成績ノ一斑ヲ記述スルニ止メタルカ昨今ニケ年ノ成績ニヨリ確メタル点左ノ如シ

一、本縣産ハ大坂以西ニ販賣スルノ利益ナルヲ以テ大判製ヲ利トスルコト

二、抄製ハ厚薄ナク一様ニ抄クハ勿論百枚ノ重量大判七十二匁乃至七十五匁小判ハ六十匁乃至六十三匁位ヲ適度トス尙本試驗ノ成績ニ據リテ經濟上ノ收支ヲ精算スルニ甲表ノ如ク支出ノ收入ニ超過スルノ憾アルモ更ニ一步ヲ進メ其原因ヲ考フレバ前項記述ノ如ク海苔生育ノ最盛期ニ於テ意外ノ天候ニ會シ一時非常ノ障礙ヲ受ケタルト尙後季ニ於テ經費上ノ都合ニ依リ製造ヲ早ク結了セシニ由リ筭數ニ對スル摘採量ノ寡少ニシテ從テ製造額ヲ減少セシニ外ナラス仮リニ如上稀有ノ天災ニ罹ラサル前年ヲ標準トシ尙發生ノ終極迄摘採スルトシテ積算スレバ其收支乙表ノ如キヲ得ヘキハ疑ハザル所トス

備考 乾場及器具ノ補足ヲ積算セシハ最初ノ固定資本ヲ別トシテ年々之ニ補足ヲ要スルモノヲ見込ミ一見收支ノ知了ヲ容易ニセシナリ

(甲表)

支 出

△金貳拾七圓〇八錢 但一反步積算

内 譯

金四圓八拾錢 竹筵六百本代

金壹圓 全上建設人夫及船賃

金五圓七拾八錢 乾場十間材料補足并建設製造器具補足其他

炭油雜費共

金拾貳圓五拾錢 摘採及其他人夫賃三十五人一人金五拾錢

金參圓 抄製八夫三千枚分一枚ニ付壹厘

收 入

一金貳拾四圓 海苔三千枚一枚金八厘

差引欠損金參圓〇八錢

(乙表)

支 出

一金參拾五圓〇八錢 海苔養殖及製造試驗

但一反步積算

内譯

金四圓八拾錢  
 竹筴六百本代  
 全上建設人夫及船賃  
 乾塲十間材料補足并建設費製造器具補足其他  
 炭油雜費共  
 摘採及其他人夫賃四十五人一人金五拾錢  
 抄製人夫六千枚分一枚ニ付壹厘  
 金拾七圓五拾錢  
 金六圓  
 收 入  
 一金四拾八圓  
 海苔六千枚一枚金八厘  
 差引利益金拾貳圓九拾貳錢

漁具保存試驗

網漁業ハ之ヲ他ノ釣漁業等ニ比シ其資本ヲ要スルコト夥シク爲メニ經濟上ノ關係其保存  
 持久ノ方法ヲ講セントスルハ當業者ノ常ニシテ特ニ大規模ナル旋網類ニ於テ最モ然ト  
 ナス其方法種々アリト雖モ染網方法ノ改良ノ如キハ之カ主要ノ点ナルベシ抑モ網具保  
 存ニ有効ナル染料ハ其含有スル丹寧成分ノ多少ニ關スルモノニシテ從來縣下ニ行ハル

ル網ノ染料ハ専ラ椎皮及ヒ櫟皮ノ染液ニシテ之ヲ製スルノ法ハ先ツ椎ヲ以テ木皮ヲ粉  
 碎シ之ヲ釜中ニ煮テ煎汁ヲ製シ網地ヲ浸漬シテ乾燥スルコト再三ニシテ漸ク染法  
 ナ終ルモノナレバ其時間勞力並ニ燃料ヲ徒費スルコト莫大ナルノミナラズ其主要成分  
 ノ含有不均ニシテ常ニ定量ヲ以テ完全ナル標準ノ染汁ヲ得難キノ不便アリ加之如上染  
 網ノ方法ハ獨リ内地ニ於テノミ行ハルベキモノニシテ遠ク外洋ニ航シ從漁スルモノニ  
 アリテハ之レカ携帶ニ不便ニシテ自在ニ染網保存ノ方法ヲ施スカ如キハ殆ト不可能事  
 ニ屬ス故ニ是等不便ナル染網方法ヲ改良スルハ斯業發展上最モ巨大ナル裨益アルヲ疑  
 ハス而シテ其最モ經濟的ニ且ツ最モ利便ナルモノトシテ近來各地ニ於テ試用セラル、  
 モノハ諸種ノエキス類ニシテ就中「カツチ」及ビ「本エキス」ノ二種ハ比較的優等ナルモノニ  
 シテ分析上多量ノ丹寧成分ヲ含有シ其染網作業ノ如キモ亦簡單ニシテ回数ノ染網ヲ施  
 スノ繁ナク最モ有効便利ナル染料ナレバ本年度ニ於テハ主ニ右染料ヲ以テ各種網具ヲ  
 染網シ當業者ヲシテ實地ニ之ヲ使用セシメ從來ノ染料ト比較シ或ハ全網中其一部ニ於  
 テ右染色網地ヲ混用シ比較使用試驗ヲナシタリ今本年度施染ノ網具使用種類ヲ舉グレ  
 バ左ノ如シ

網具種類	品	質	染料	染料分量	水分量	染色回数	個數	漁村
------	---	---	----	------	-----	------	----	----

漁具保存試驗





本事業ハ前年ニ繼續シ殊ニ本年度ニ於テハ韓海ニ於ル鰒流網漁業ノ實施ヲ主トシ併テ  
 鰒漁場ノ調査ニ從事シテ其大概ヲ述ブニ元來經費ノ制限アリ爲ニ十分ノ設備ヲ爲ス  
 コト能ハズ前年ノ如ク民間漁業者ト契約シテ漁船漁具漁夫其他一切ヲ提供セシメ本場  
 主任技手ヲ乘込シメテ一切ノ事業ヲ監督セリ其出漁ハ五月上旬ヨリ八月下旬ニ至ル約  
 四個月ニ亘リ韓國忠清京畿黃海三道ノ近海ニ於テ先ヅ鰒流網ヲ試用セリ此近海ハ從來  
 支那漁民竝ニ韓國人ハ本漁業ニ從事スルモノ頗多ニモ拘ラズ本邦人ノ未ダ嘗テ之ヲ試  
 ムルモノアラザリシガ本年度本場ノ事業トシテ出漁ヲ試ムルニ方リ本縣人ニシテ本場  
 漁具ニ倣ヒ同漁業ニ從ハントスルモノ數隻ヲ出シ尙熊本縣漁業者モ始テ本漁業ヲ試ミ  
 タルモノヲ見ルニ至レリ本場試用ノ漁具ハ其構造ニ於テ多少ノ缺點アリタルト主トシ  
 テ廣ク漁場ヲ探檢セシガ爲メ永ク一所ニ從事スルヲ許サザリシニ由リ十分ノ漁獲ヲ見  
 サリシモ尙ホ約二千餘尾ヲ收メタリ而シテ漁場搜索ノ結果トシテ牙山灣近海ニ於テ  
 モ同上漁場アルコトヲ發見セリ又鰒漁場ニ就テハ主トシテ本邦漁船ノ帆影稀ナル鎮南  
 浦市場ヲ中心トセル黃海道近海ニ向テ探檢ヲ遂ゲシニ其日數ノ短少ト天候ノ爲ニ豫期  
 ノ如ク周到ノ調査ヲ成シ得サリシモ同道近海チヤンサングー角以北約三里ニ於ルモン  
 キミ港沖チヨ島南方ヨリ延ヒタル砂洲ニ至ル間ノ漁場及大同江口ノ北方沖合ニ當リ德

島ノ近海ハ一大好漁場ニシテ前者ハ春秋ニ後者ハ夏季ニ適當ナルヲ知得タリ如止マ  
 本調査ノ撮要ニ過キズ其詳細ハ別冊ヲ以テ報告セシトス

### 重要主物調査

本事業ハ農商務省水産局其他關係各水産試驗場トノ聯絡事業ニシテ縣下沿海ノ樞要地  
 七ヶ所ニ報告員ヲ常置シ毎月鰒鰈鯉サツバ鰯鮮鰯鰒鰯ノ各重要魚族ニ付キ其漁況報  
 告ヲ徴シ之レヲ一括シテ其都度報告ヲ發シタリ蓋シ本調査事業ノ如キハ素ヨリ短日月  
 間ニ於テ其目的ヲ達スルコト能ハズト雖モ遠近相俟テ仔細ニ研鑽闡明スル所アラハ管ニ  
 漁政上ノ參考資料タルノミナラズ進テ一般水産業ニ裨益スルコト多大ナルベキヤ素ヨリ  
 論ヲ俟タス左ニ本年度中ニ於ケル調査ノ概要ヲ摘録シテ漁況ノ一斑ヲ示サシ  
 九  
 ひ

本年ハ鰒ノ入込ニ昨年ニ比シ割合ニ稀薄ニシテ時季稍々遅延ノ感アリ老漁ノ言ニ據レ  
 是レ本年ノ氣候寒冷ニ過ギタルニ由ルモノナラント而シテ漁期早キ眞鍋島近海ニ於  
 テハ既ニ四月十一日頃ヨリ出漁ヲナシ流網ノ如キモ亦同月二十日ヨリ二十三日頃ニ於  
 テ悉皆網卸ヲナシタリ五智網ハ五月四日ニ於テ始メテ網卸ヲナシ多クハ他縣海面ニ於  
 テ從漁セリ然ルニ陸方一帶ノ漁場ニアリテハ漁期之レヨリ常ニ十餘日ヲ遅ルノ例ナリ

### 重要主物調査

トス而シテ初期以來ノ漁況ニ徴スレバ眞鍋島漁場ニ於テ好況ヲ呈シ縛網ノ如キハ一隻一日平均七八十尾許リノ漁獲アリシガ越エテ五月ノ盛漁期ニ入りシニモ拘ラス何レモ回游薄クシテ次第ニ減少シ壹番ニ番ノ入込スヲ知ル能ハズ六月初旬ニ至リテ稍ヤ好況ヲ呈シタルヨリ網揚ケ時期ノ例年ヨリ稍ヤ遅レタル地方モアリキ夏期七月ヨリハ何レモ好漁ニ至ラザリシモ香川縣仲多度郡海面ニ出漁セル五智網ノ如キハ稍ヤ好況ナリシト云フ而シテ本年ノ漁獲高ヲ觀ルニ縛網壹帖ニ付キ壹千參百圓乃至貳千圓流網ハ六拾圓乃至貳百拾圓五智網ハ四拾圓乃至貳百圓内外ニシテ前年ヨリ稍薄漁ノ傾キナレドモ概シテ平漁ヲ以テ終ハリタリ漁獲物ハ春季ニ於テ平均大サ六百匁許ナリシカ漸次遞減シテ盛期ノモノ五百二十匁終期ノモノ四百匁ノモノ多ク價格ハ壹貫匁ニ付キ壹圓八拾錢ヨリ壹圓參拾錢ノ間ニアリシカ夏季ニ入りテハ初終ヲ通シテ大ナルモノ二三尺体量一尾二貫匁許アリ小ナルモノ七寸許体量一尾二百匁許ニシテ價格ハ壹貫ニ付キ初メハ壹圓七拾錢ナリシカ十月下旬ニ至リテハ參圓壹ニ暴騰セリト云フ

さむら

本年ハ氣候稍ヤ寒冷ナリシニヤ初期ノ入込ニ何レモ稀薄ノ姿ナリシカ皆例年ノ如ク四月二十日頃ヨリ網卸ヲナシタリ而シテ漁期ノ漸ク進ムニ從ヒ好況ニ趣キ備中海方面ノ

如キハ甚シキ好漁ナラザリシモ備前海其他ノ海面ニ於テ非常ノ盛況ヲ呈シタリ就中五月中旬頃ニ至リ鳴戸海峡ヨリノ回游夥シク小豆島ノ北海面ヨリ大府島ノ南海面ニ亘リテ滯泳數日ニ及ビ毎日壹隻ノ漁獲高四拾圓ヨリ七拾圓余ニ達シタルモノアリタリ實ニ近年稀ナル豐漁ナリト謂フ可シ故ニ豫定ノ如ク六月初旬ニ於テ何レモ網上ケチナシタリ漁獲物ハ概シテ大形ニシテ大ハ三尺四五寸ヨリ小ハ一尺五寸ニ及ビ魚價ハ初季ニ於テ壹尾大四圓ノ高價ヲ示シ最低壹圓貳拾錢許ニシテ平均貳圓五拾錢ナリ遂ニ盛終兩季ニ通シテ平均壹圓九拾錢内外トナレリ

ばら

例年東方播磨近海ヨリ回游スルヲ捕獲スルモノニシテ漁期常ニ備前海ニ早ク夫レヨリ漸次西海ニ及フテ常トス而シテ本年ハ其漁獲ノ狀況ニ徴スルニ漁期稍ヤ遅レタル傾アリ細線網モ四月上旬ヨリ漁業ヲ開始スルニ至リシカ其一網一日ノ漁獲參千余尾ヲ得タルヲ最多トシ平均壹千五六百尾内外ノ漁獲アリタリ之レヲ例年ノ同季ニ比スレバ甚ダ好況ニシテ其後モ引續キ良好ナリシヲ以テ春季漁業ハ遂ニ豐漁ヲ以テ終リタリ如斯初季以來好況ヲ呈スルニ至リシ所以ノモノハ畢竟本年ハ東風吹キ續キ氣候適順ナリシニ原因スルモノナラン九月ノ秋漁期ニ入り一時好漁ノ見込ナリシモ其後魚群薄クシテ甚

重要主物調査

ソキ魚群ヲ認ムルニ至ラズ儘カニ建網坪網等ニ依リ漁獲アルニ過キスシテ漸次寒冷ヲ加フルニ從ヒ寄魚漁場ニ群集スルモノ多ク長濱牛窓寄魚漁場ニ於テハ相當ノ漁獲アリ

タリ而シテ早春漸ク溫暖ヲ加フルニ從ヒ何レモ好況ニ趣クモノ、如シ

漁獲物ハ春季ニ於テ最大ナルモノ三百匁最小ナルモノ八十匁許ニシテ魚價ハ一尾平均拾壹錢五厘許ナリ六月ニ及ンデ稍ヤ高價ヲ示シ夫レヨリ漁獲僅少トナルニ從ヒ一尾平均貳拾貳錢余トナリ秋季ニ於テハ一般魚体小形ノモノ多ク從テ價モ廉ニ一尾ニ付キ平均拾貳參錢内外ヲ示セリ其後冬春ニ至リテハ稍ヤ大形ニシテ一尾二三匁以上ニ及ビ其價一尾貳拾貳參錢ヨリ拾貳參錢ノ間ニアリタリ

いな

本年ハ例年ニ比シ時期稍ヤ早キ感アリ既ニ六月頃ヨリ坪網建網其他ニ由リ壹網ニ付日々十五六尾ノ漁獲アリ秋季ニ近クニ從ヒ多クノ回游ヲ觀ルニ至リ初冬ニ及ヒテ沿岸各漁場ニ滞留スルモノ漸ク増加セリ然レドモ本年ハ初冬以來氣候順當ヲ失シタル爲メ各漁場ヲ通シテ魚群ノ散在シテ密集スルニ至ラザリシカ氣候漸ク順調ニ趣キ寒冷ヲ加フルニ及ビ漸次魚群ノ圓集ヲ認ムルニ至リタレバ已ニ十二月中旬ヨリ出漁準備ヲナシ漁機ノ至ルヲ待チシカ一月ニ入り兒島郡大畑寄魚漁場ニ於テ大線網ヲ使用シイナ其他

ナ合シテ約二万尾ヲ漁獲シタルヲ初頭トシ何レモ寄魚漁場ニ於テ相當ノ漁獲アリタリ夫レヨリ春暖ヲ催フスニシテガヒ漸ク魚群ノ散在スルニ至リタレバ僅カニ建網坪網等ニテ捕獲スルニ過キスシテ寄魚漁場ノ外一般ニ薄漁ヲ以テ終レリ而シテ漁獲物ノ大ハ長サ四寸三分乃至一尺余ニシテ價ハ全期ヲ通シテ一尾ニ付キ參錢ヨリ七錢ノ間ニアリ

い

わし  
本年ハ初期以來何レモ相應ノ群來アリシモ遠ク沖合ニ滯泳シテ陸岸ニ寄セザルヲ以テ殆ント拱手傍觀ノ姿ナリシカ偶魚ノ來襲スルコトアルモ薄群ニシテ初期六月中一網一口ノ漁獲僅カニ二十樽ヲ最多トシ少キハ二三樽ニ過ギズシテ又皆無ナルモアリタリ之レヲ例年ニ比スレバ稍ヤ不漁ノ有様ナリシガ終漁期ニ入ルニ及ンテ稍ヤ好況ヲ呈シ八月初旬頃ヨリ各漁場共相應ノ漁獲アリ一日一網ノ漁獲三十樽以上ニ及ブモノ甚カラス同二十三日頃ニ至リ俄然群影ヲ失シ遂ニ同下旬ヲ以テ悉ク網揚ケテナシタリ而シテ十月ヨリハ秋漁期ニシテ初季以來亦何レノ近海モ相應ノ漁獲アリ十一月中旬ヨリ十二月初旬ニ亘リテ備中海ニ最モ多ク特ニ真鍋島近海ニ濃厚ナル魚群ノ襲來アリテ非常ナル盛況ヲ呈シ遂ニ近年稀ナル豊漁ヲ以テ終了スルニ至レリ而シテ初期以來ノ漁獲ノ總額

重要主物調査

チ通算スルニ其最多ナルモノ約壹千五百圓以上ニ達シ最少ナルモノ約五百圓余ヲ下ラサルニ至レリ漁獲物ハ夏季ニ於テ平均長二寸余價格ハ煮干一俵六升入(壹圓内外ナリシカ秋季ノモノ長サ三四寸ニシテ煮干一俵六七拾錢ナリトス

備中海ニ於テハ六月中旬ヨリ延繩ノ出漁アリ以來六島近海ニ於テ引續キ好漁ナリシカ其後漸ク薄漁ニ陥リ甚シキ好況ヲ觀ルニ至ラスシテ遂ニ夏期ヲ終漁セリ夫レヨリ秋期ニ至リ備中海ニ於テハ九月初旬ヨリ出漁ヲナセシニ延繩ハ各方面漁場ニ於テ好況ヲ呈シ亦打瀬網モ相當ノ漁獲アリタリ殊ニ真鍋島南東ノ沖合ニ於テ最モ盛漁ヲ呈スルヲ見ル備前海ニ於テハ専ラ打瀬網ヲ使用スルモノ多ク八月中旬ヨリ出漁スル例ナレドモ本年ハ少シク其回游期ノ早カリシニヨリ七月中旬ヲ以テ出漁スルニ至レリ然ルニ初期以來漁獲寡少ナリシモ盛期ニ入り漸ク好況ヲ呈シ備前海ニ於テハ延繩ノ最多ナルモノ一日平均七十本打瀬網ハ十二三本内外ノ漁獲アリタリ漁獲物ハ夏季ニ於テ概テ大形ニシテ其大ナルモノハ長三尺此体量八百匁小ナルモノハ長一尺四五寸此体量五六匁許ニシテ其價格ハ一貫匁ニ付キ壹圓貳拾錢ヨリ壹圓ヲ示シ秋期ニ至リテハ稍ヤ小形トナリ大ナルモノ長サ二尺三寸此体量七百匁小ナルモノハ長一尺一二寸位ニシテ此体量七十

匁アリ其價格ハ一貫匁ニ付壹圓貳拾錢ナリシカ十月下旬ニ至リテハ一時ニ暴騰シテ貳圓臺トナリ終季十一月ニ至リ遂ニ下落シテ九拾錢内外トナレリ

本年ハ氣候一般ニ遅レタル爲メカ漁期ニ入ルモ漁獲稀薄ニシテ手續網延繩ノ如キモ例年ニ比スレバ不漁ノ姿ナリ七月ニ至リ氣候漸ク順調ニ復シ稍ヤ好況ニ向ヒ一日一隻四十余尾ノ漁獲アリ其後引續キ相應ノ漁獲ヲ見秋季ニ至ルニ從ヒ漸次薄漁ニ陥リシカ年末ニ及ヒテ稍ヤ漁獲ヲ増加シ一日一隻ニ付一貫匁余ニ達スルモノアリ夫レヨリ一月ニ入り順ニ衰ヘタレドモ亦漸ク春暖ニ趣クニ從ヒ好況ニ至ルノ傾キアリ其漁獲物ノ最大ナルモノハ壹尾ニ付百匁小ナルモノハ六匁許ニシテ平均十匁許アリ價格ハ初メ一貫匁ニ付壹圓貳拾錢ナリシカ九月ニ至リ壹圓七拾錢内外トナリ十二月初旬以來一二三月ヲ通シテ九拾錢ヨリ壹圓三四拾錢ノ間ニアリ平均壹圓貳拾錢台ヲ示セリ

五月下旬ニ於テ出漁ヲナセリ而シテ打瀬網ノ多漁ナルモノハ一夜ニ二三斗少キハ四五斗ニ過キズ漕網ハ五六斗内外ニシテ本年ハ春季以來東風吹キ續キ氣候最モ適順ニシテ

重要主物調査

平穩ナレハ其滯泳夥シキト共ニ漁業上亦好都合ナリシ秋季ニ至リテハ専ラ黒袴のびがらびノ漁期ナリシモ西風ノ爲メ漁獲減少ノ傾アリ然レドモ氣候漸ク順調ニ趣クニ從ヒ稍ヤ好況ヲ呈セリ越エテ早春ニ至リ余寒烈シキ爲メカ漁獲多カラズシテ時期稍ヤ速キ感アリ然レモ一日最多十二貫匁ヨリ最少ナルモノ九貫匁ノ漁獲アリ而シテ漁獲物ノ大サ及價格ハあさとり及び一寸二分乃至一寸四分ニシテ壹貫匁ニ付拾六錢内外白鰻ハ二寸余ニシテ壹圓ニ付五百尾ヨリ六百尾赤鰻ハ二寸ヨリ九分位ニシテ一斗ニ付キ四拾五錢内外車鰻ハ七寸ヨリ三寸位ニシテ一尾ニ付參錢内外ナリ

春季ニ於テハ各方面共相應ノ漁獲アリ特ニ備前海ニ好況ナリシカ四月中旬ヲ以テ皆他漁ニ轉セリ又夏季七月中旬頃ニ及ンデ淡路島方面ヨリ回游スルモノ稍ヤ多ク特ニ東部海方面和氣邑久郡ノ沿岸ニ於ケル各灣海島周ニ蜆集スルモノ増加スルニ至レリ然ルニ秋氣ニ至リ漸ク減少シ殆ド不漁ノ状態ナリシカ漸次漁期ノ進ムニ從ヒ好況ニ趣キ十二月ニ入り何レモ好漁ヲ呈シ特ニ備中海六島北木真鍋等ノ瀬戸ニ亘リテ著シキ盛況ヲ見ルニ至レリ乃チ一夜一隻ニ付キ最多キハ手長蜆三百飯蜆五十内外ノ漁獲アリナリ其大ナルモノハ手長蜆百ニ付二貫八九匁小ナルモノ壹貫五六匁アリテ其價格壹圓五

拾錢ヨリ小ナルモノハ壹圓内外飯蜆ノ大ナルモノハ一百ニ付二貫匁小ナルモノハ八百匁許ニシテ價格五拾錢台ヲ示シ大蜆ハ盛期ニアリテハ一日一隻八貫匁内外ノ漁獲アリ其價格約參拾七錢ヲ示セリ

さつば(二名、かり)

初期以來海漁ノ有様ナリシ本漁モ八月中旬ニ及ンテ俄然好況ヲ呈シ其後益々豐漁ニシテ刺網線網等何レモ相應ノ漁收アリタリ而シテ十月上旬マテハ引續キ豐漁ナリシガ就中中旬ニ及ンテ數日ニ亘リ甚々シキ盛況ヲ呈シ一日ノ水揚高約五六万尾内外ニ上リシコトアリ其以後ハ漸ク減少ノ姿トナリシモ全ク不漁ト稱スベキ程ニアラスシテ可ナリノ漁獲アリタリ故ニ本年ハ先ツ一般豐漁ヲ以テ終漁セリト云フベシ漁獲物ノ大サ價格初期八月ニ於テ大ナルモノ長四寸二分小ナルモノハ三寸五分ニシテ一尾ニ付貳圓ヨリ八毛ナリシカ九月ニ入り一尾ニ付キ五圓ヨリ貳圓ニ上リ十月ニ於テハ最高壹錢壹圓ヨリ最低五圓マデノ間ニアリ平均一尾八圓内外ヲ示セリ

春季産卵ノ爲メ沿岸近ク回游スルモノニシテ本年ハ例年ニ比シ漁期早キ傾アリ已ニ備前海ニ於テハ四月十三日頃之レカ漁獲ヲ見タレドモ甚薄漁ニシテ十分ノ漁獲ナカリシ

重要生物調査

カ八月中旬ニ至リ漸ク好況ニ趣キ夫レヨリ引續キ豊漁ニシテ十月ニ入り専ラ小いかノ漁獲アリ遂ニ十一月ニ至リ甚シク衰漁ニ陥リタリ之レニ反シ備中海特ニ寄島沖漁場ニ於テハ四月廿七日出漁早々ヨリ相應ノ漁獲アリ漁期ノ進ムニ從ヒ増々好況ヲ呈シ昨年ノ盛期ニ比スレハ頗ル豊漁ニシテ六月中旬ヲ以テ皆網揚ヲナシタリ漁獲物ハ一尾ニ付キ大ナルモノ三四百匁ヨリ小ナルモノハ四五拾匁許リニシテ小いか一尾ニ付大ナルモノ百匁ヨリ小ナルモノ二三十匁アリ價格ハ一尾ニ付參拾錢ヨリ拾貳錢許ニシテ小いか一尾ニ付平均二三錢内外ナリトス

### 海洋觀測

本事業ハ月次觀測四季定時觀測ノ二ト爲シ農商務省水産局其他各關係試驗場トノ聯絡繼續事業タリ縣下邑久郡牛窓町沖(海深十八尋)並ニ兒島郡長濱村大畠沖(海深二十八尋)ニケ所ニ於テ毎月一十一、二十一日三回ノ月次觀測ヲ爲スノ外更ニ二、五、八、十一ノ四ケ月ニ於テ四季定時觀測ヲ爲シタリ而シテ地文氣象ノ關係ト魚族ノ關係トナ一覽ニ便ナラシムルヲメ其地區ニ於ケル簡單ナル漁況ヲモ加ヘ其都度報告ヲ發セリ素ヨリ本觀測事業ノ如キハ短日月間ニ於テ能ク其好果ヲ舉クルコト難シト雖モ之レヲ繼續シテ怠ルナクシテハ後日ニ至リ能ク其成果ヲ見ルニ至ルヘク重要生物調査ト相俟テ縣下水産界ノ

タメ大ニ裨益スルモノアルヤ必セリ今其概要ヲ表記シテ卷末ニ附シ當業者ノ參考ニ供スルコトセリ

但シ浮游生物觀測調査ハ設備ノ都合ニヨリ之レヲ施行セズ

岡山縣三十九年四月分海洋月次觀測表

場所及水深	觀測日時	天候	風向	氣温	水温	比重	潮流方向	潮流強弱	海水透明度	海面模様	備考	記	事
兒島郡牛窓町沖十八尋	日十三日廿一日	曇	西南西	15.7	10.5	1.024	東南	東南	綠	如鏡	天候曇 晴四疊四雨	漁況ハ打漁網げハ建網坪ハ漁況	曇らぬ、あなで、いいたて網ニ本月六日でも網ニ鯛ノ初獲ニ
	日十三日廿一日	晴	西南西	15.7	11.8	1.023	東南	東南	綠	鏡波	天候曇 晴四疊四雨	曇らぬ、あなで、いいたて網ニ本月六日でも網ニ鯛ノ初獲ニ	尾ノ漁獲アリ何レモ一貫目ニ付價八九圓ナリト
	日十三日廿一日	晴	西南西	15.7	11.8	1.023	東南	東南	綠	鏡波	天候曇 晴四疊四雨	曇らぬ、あなで、いいたて網ニ本月六日でも網ニ鯛ノ初獲ニ	尾ノ漁獲アリ何レモ一貫目ニ付價八九圓ナリト
兒島郡長濱村沖二十八尋	日十三日廿一日	曇	西南西	15.7	10.5	1.024	東南	東南	綠	如鏡	天候曇 晴四疊四雨	漁況ハ打漁網げハ建網坪ハ漁況	曇らぬ、あなで、いいたて網ニ本月六日でも網ニ鯛ノ初獲ニ
	日十三日廿一日	晴	西南西	15.7	11.8	1.023	東南	東南	綠	鏡波	天候曇 晴四疊四雨	曇らぬ、あなで、いいたて網ニ本月六日でも網ニ鯛ノ初獲ニ	尾ノ漁獲アリ何レモ一貫目ニ付價八九圓ナリト
	日十三日廿一日	晴	西南西	15.7	11.8	1.023	東南	東南	綠	鏡波	天候曇 晴四疊四雨	曇らぬ、あなで、いいたて網ニ本月六日でも網ニ鯛ノ初獲ニ	尾ノ漁獲アリ何レモ一貫目ニ付價八九圓ナリト

四十六

岡山縣三十九年五月分海洋月次觀測表

場所水深	觀測日時	天候	風向	氣温	水温	比重	潮流方向	潮流強弱	海水透明度	海面模様	備考	記	事
兒島郡牛窓町沖十八尋	日十五日廿一日	晴	西	17.0	15.0	1.025	干	干	灰中濁	微波	前觀測后天全	漁況	さむら流網げハ、久次漕網坪
	日十五日廿一日	曇	北東	15.7	14.0	1.024	干	干	灰中濁	微波	前觀測后天全	漁況	さむら流網げハ、久次漕網坪
	日十五日廿一日	微雨	北東	15.7	14.0	1.024	干	干	灰中濁	微波	前觀測后天全	漁況	さむら流網げハ、久次漕網坪
兒島郡長濱村沖廿八尋	日十五日廿一日	晴	西	17.0	15.0	1.025	干	干	灰中濁	微波	前觀測后天全	漁況	さむら流網げハ、久次漕網坪
	日十五日廿一日	曇	北東	15.7	14.0	1.024	干	干	灰中濁	微波	前觀測后天全	漁況	さむら流網げハ、久次漕網坪
	日十五日廿一日	微雨	北東	15.7	14.0	1.024	干	干	灰中濁	微波	前觀測后天全	漁況	さむら流網げハ、久次漕網坪

四十六



岡山縣三十九年六月分海洋月次觀測表		岡山縣三十九年七月分海洋月次觀測表	
水場所及	邑久郡牛窓町沖二十八尋	水場所及	邑久郡牛窓沖十八尋
觀測日時	一日 十一日 十一時 十一日 十一時 十一日 十一時 十一日 十一時	觀測日時	四日 十一日 十一時 十一日 十一時 十一日 十一時 十一日 十一時
天候	快 晴 微 雨 快 晴 微 雨 快 晴	天候	曇 快 晴 強 雨 晴 快 晴
風向	東 東 東南 東 東 東南 東 東	風向	東 東南 東 東 東南 東 東 東南
氣温	三三 三八 三三 三三 三三 三三 三三 三三	氣温	三〇 三三 三三 三三 三三 三三 三三 三三
水温	二九 二九 二九 二九 二九 二九 二九 二九	水温	二九 二九 二九 二九 二九 二九 二九 二九
比重	三三 三三 三三 三三 三三 三三 三三 三三	比重	三三 三三 三三 三三 三三 三三 三三 三三
潮ノ干満	二合干五合干 一合満一合干五合干	潮ノ干満	七合干滿 七合干一合満九合満五合干
潮流方向	東南、東南、東、東、東南、東、東、東南	潮流方向	東南、東、東、東南、東、東、東南、東
海水濁線	澄灰濁	海水濁線	灰線中澄灰濁
海面模様	如鏡	海面模様	如鏡
備考	前觀測后ノ全 天候 晴七雨二曇四曇五 雨一曇三曇四曇五 雨三曇四曇五	備考	前觀測后ノ全 天候 曇五曇六曇七曇八曇九曇十曇十一曇十二曇十三曇十四曇十五曇十六曇十七曇十八曇十九曇二十曇二十一曇二十二曇二十三曇二十四曇二十五曇二十六曇二十七曇二十八曇二十九曇三十曇三十一曇三十二曇三十三曇三十四曇三十五曇三十六曇三十七曇三十八曇三十九曇四十曇四十一曇四十二曇四十三曇四十四曇四十五曇四十六曇四十七曇四十八曇四十九曇五十曇五十一曇五十二曇五十三曇五十四曇五十五曇五十六曇五十七曇五十八曇五十九曇六十曇六十一曇六十二曇六十三曇六十四曇六十五曇六十六曇六十七曇六十八曇六十九曇七十曇七十一曇七十二曇七十三曇七十四曇七十五曇七十六曇七十七曇七十八曇七十九曇八十曇八十一曇八十二曇八十三曇八十四曇八十五曇八十六曇八十七曇八十八曇八十九曇九十曇九十一曇九十二曇九十三曇九十四曇九十五曇九十六曇九十七曇九十八曇九十九曇百曇
記	漁況 漁況 漁況 漁況 漁況 漁況 漁況 漁況	記	漁況 漁況 漁況 漁況 漁況 漁況 漁況 漁況
事	モノナラソカ 漁ナレ之レ水溜ノ變化ニヨル 而シテ埤網ニ漁アレドモ釣ニ	事	等ノ漁アリ 及サツバ釣タテゝゑいゐなで繼 其他けたたなで建網はも曳網 十三尾赤ゑびハ一貫五百匁許 五ツテ概テ平漁ナリ

四十一

岡山縣三十九年六月分海洋月次觀測表		岡山縣三十九年七月分海洋月次觀測表	
水場所及	邑久郡牛窓町沖二十八尋	水場所及	邑久郡牛窓沖十八尋
觀測日時	一日 十一日 十一時 十一日 十一時 十一日 十一時 十一日 十一時	觀測日時	四日 十一日 十一時 十一日 十一時 十一日 十一時 十一日 十一時
天候	快 晴 微 雨 快 晴 微 雨 快 晴	天候	曇 快 晴 強 雨 晴 快 晴
風向	東 東 東南 東 東 東南 東 東	風向	東 東南 東 東 東南 東 東 東南
氣温	三三 三八 三三 三三 三三 三三 三三 三三	氣温	三〇 三三 三三 三三 三三 三三 三三 三三
水温	二九 二九 二九 二九 二九 二九 二九 二九	水温	二九 二九 二九 二九 二九 二九 二九 二九
比重	三三 三三 三三 三三 三三 三三 三三 三三	比重	三三 三三 三三 三三 三三 三三 三三 三三
潮ノ干満	二合干五合干 一合満一合干五合干	潮ノ干満	七合干滿 七合干一合満九合満五合干
潮流方向	東南、東南、東、東、東南、東、東、東南	潮流方向	東南、東、東、東南、東、東、東南、東
海水濁線	澄灰濁	海水濁線	灰線中澄灰濁
海面模様	如鏡	海面模様	如鏡
備考	前觀測后ノ全 天候 晴七雨二曇四曇五 雨一曇三曇四曇五 雨三曇四曇五	備考	前觀測后ノ全 天候 曇五曇六曇七曇八曇九曇十曇十一曇十二曇十三曇十四曇十五曇十六曇十七曇十八曇十九曇二十曇二十一曇二十二曇二十三曇二十四曇二十五曇二十六曇二十七曇二十八曇三十一曇三十二曇三十三曇三十四曇三十五曇三十六曇三十七曇三十八曇三十九曇四十曇四十一曇四十二曇四十三曇四十四曇四十五曇四十六曇四十七曇四十八曇四十九曇五十曇五十一曇五十二曇五十三曇五十四曇五十五曇五十六曇五十七曇五十八曇五十九曇六十曇六十一曇六十二曇六十三曇六十四曇六十五曇六十六曇六十七曇六十八曇六十九曇七十曇七十一曇七十二曇七十三曇七十四曇七十五曇七十六曇七十七曇七十八曇七十九曇八十曇八十一曇八十二曇八十三曇八十四曇八十五曇八十六曇八十七曇八十八曇八十九曇九十曇九十一曇九十二曇九十三曇九十四曇九十五曇九十六曇九十七曇九十八曇九十九曇百曇
記	漁況 漁況 漁況 漁況 漁況 漁況 漁況 漁況	記	漁況 漁況 漁況 漁況 漁況 漁況 漁況 漁況
事	モノナラソカ 漁ナレ之レ水溜ノ變化ニヨル 而シテ埤網ニ漁アレドモ釣ニ	事	等ノ漁アリ 及サツバ釣タテゝゑいゐなで繼 其他けたたなで建網はも曳網 十三尾赤ゑびハ一貫五百匁許 五ツテ概テ平漁ナリ

四十一

岡山縣三十九年八月分海洋月次觀測表

場所及 水深	觀測日時	天候	風向	氣溫	水溫	比電	潮干満	潮流方向	海水濁度	海面模様	備考	記	事
邑久那牛窓町沖十八尋 兒島郡長濱村沖廿八尋	一日 午後二時	晴	東南東	26.0	26.0	30.5	一合滿九合滿五合干	西南、強西北、弱東北、弱西、稍強西、弱東、強	綠	小	前觀測后ノ全 天候 雨一疊 晴五雨一疊 曇三	漁況 赤い次漕網百五十隻ノ出漁 打瀬網は網を網たなで建 ア一日一隻ノ漁獲三貫匁ハ ら、釣ハ百四十四隻一日一隻 さみ釣ちぬ釣等ノ漁期ニシテ ノ漁獲高七尾其他さつばち た之釣ハ稍ヤ好況ナレモ其他 釣、ハモ曳網建網、たて延繩 等亦相當ノ漁獲アリ	
	廿一日 午後二時	晴	東南東	26.0	26.0	30.5	一合滿九合滿五合干	西南、強西北、弱東北、弱西、稍強西、弱東、強	綠	小	前觀測后ノ全 天候 雨一疊 晴五雨一疊 曇三	漁況 赤い次漕網百五十隻ノ出漁 打瀬網は網を網たなで建 ア一日一隻ノ漁獲三貫匁ハ ら、釣ハ百四十四隻一日一隻 さみ釣ちぬ釣等ノ漁期ニシテ ノ漁獲高七尾其他さつばち た之釣ハ稍ヤ好況ナレモ其他 釣、ハモ曳網建網、たて延繩 等亦相當ノ漁獲アリ	
邑久那牛窓町沖十八尋 兒島郡長濱村沖廿八尋	廿一日 午後二時	晴	東南東	26.0	26.0	30.5	一合滿九合滿五合干	西南、強西北、弱東北、弱西、稍強西、弱東、強	綠	小	前觀測后ノ全 天候 雨一疊 晴五雨一疊 曇三	漁況 赤い次漕網百五十隻ノ出漁 打瀬網は網を網たなで建 ア一日一隻ノ漁獲三貫匁ハ ら、釣ハ百四十四隻一日一隻 さみ釣ちぬ釣等ノ漁期ニシテ ノ漁獲高七尾其他さつばち た之釣ハ稍ヤ好況ナレモ其他 釣、ハモ曳網建網、たて延繩 等亦相當ノ漁獲アリ	事
	廿一日 午後二時	晴	東南東	26.0	26.0	30.5	一合滿九合滿五合干	西南、強西北、弱東北、弱西、稍強西、弱東、強	綠	小	前觀測后ノ全 天候 雨一疊 晴五雨一疊 曇三	漁況 赤い次漕網百五十隻ノ出漁 打瀬網は網を網たなで建 ア一日一隻ノ漁獲三貫匁ハ ら、釣ハ百四十四隻一日一隻 さみ釣ちぬ釣等ノ漁期ニシテ ノ漁獲高七尾其他さつばち た之釣ハ稍ヤ好況ナレモ其他 釣、ハモ曳網建網、たて延繩 等亦相當ノ漁獲アリ	事

廿十一日

岡山縣三十九年九月分海洋月次觀測表

場所及 水深	觀測日時	天候	風向	氣溫	水溫	比電	潮干満	潮流方向	海水濁度	海面模様	備考	記	事
邑久那牛窓町沖十八尋 兒島郡長濱村沖廿八尋	一日 午後二時	曇	南々東	23.5	23.5	30.5	五合滿三合干八合	北西、弱東南、強東、弱西、稍強	灰	微	前觀測后ノ全 天候 雨一疊 晴七雨一疊 曇二	漁況 眞紅び赤い漕網ハ一日一隻 打瀬網曳網たなで建網を 網たなで網を網たなで網を 網たなで網を網たなで網を さみ釣等ノ漁期ニシテ概テ平 ノ出漁アリ一日一隻ノ漁獲高 五升許其他はモ曳網大た之網 等相當ノ漁獲アリト此近海 ノ來游多ク釣繩漁ノ被害セ ル、コト夥シ	
	廿一日 午後二時	曇	南々東	23.5	23.5	30.5	五合滿三合干八合	北西、弱東南、強東、弱西、稍強	灰	微	前觀測后ノ全 天候 雨一疊 晴七雨一疊 曇二	漁況 眞紅び赤い漕網ハ一日一隻 打瀬網曳網たなで建網を 網たなで網を網たなで網を 網たなで網を網たなで網を さみ釣等ノ漁期ニシテ概テ平 ノ出漁アリ一日一隻ノ漁獲高 五升許其他はモ曳網大た之網 等相當ノ漁獲アリト此近海 ノ來游多ク釣繩漁ノ被害セ ル、コト夥シ	
邑久那牛窓町沖十八尋 兒島郡長濱村沖廿八尋	廿一日 午後二時	曇	南々東	23.5	23.5	30.5	五合滿三合干八合	北西、弱東南、強東、弱西、稍強	灰	微	前觀測后ノ全 天候 雨一疊 晴七雨一疊 曇二	漁況 眞紅び赤い漕網ハ一日一隻 打瀬網曳網たなで建網を 網たなで網を網たなで網を 網たなで網を網たなで網を さみ釣等ノ漁期ニシテ概テ平 ノ出漁アリ一日一隻ノ漁獲高 五升許其他はモ曳網大た之網 等相當ノ漁獲アリト此近海 ノ來游多ク釣繩漁ノ被害セ ル、コト夥シ	事
	廿一日 午後二時	曇	南々東	23.5	23.5	30.5	五合滿三合干八合	北西、弱東南、強東、弱西、稍強	灰	微	前觀測后ノ全 天候 雨一疊 晴七雨一疊 曇二	漁況 眞紅び赤い漕網ハ一日一隻 打瀬網曳網たなで建網を 網たなで網を網たなで網を 網たなで網を網たなで網を さみ釣等ノ漁期ニシテ概テ平 ノ出漁アリ一日一隻ノ漁獲高 五升許其他はモ曳網大た之網 等相當ノ漁獲アリト此近海 ノ來游多ク釣繩漁ノ被害セ ル、コト夥シ	事

廿十一日

岡山縣三十九年十月分海洋月次觀測表

場所及深	觀測日時	天気	風向	氣温	水温	比重	潮ノ干満	潮流方向	海水清濁	海面模様	備考	漁況	記	事
邑久郡生窓町沖十八尋 兒島郡長濱村沖二十八尋	日廿一日 午后二時	曇	北々西	三〇・〇	三〇・〇	三〇・〇	干	〇東南、弱東南、弱東、弱西、弱強	灰微濁	波如鏡面	前觀測后ノ全 天候曇六時一曇三時七曇一 雨一波浪三時七曇一 ノ爲延引	打漁網地曳網は九網五智網九 ち及び漕網一後一日三貫其他 はもなごちらぬらたれ鱒等 なで立網せし立網及び漕網籠 ナリス 前月廿八日朝來生窓町風嶋附 近しゆちらぬノ大群セルチ 以テ同夜繰網ヲ使用セリ 出來生窓海面ニ於テ名アルも 其他ハ概テ平漁ナリ特ニマ、 網及たなで立網ハ漁ニ適ニテ ハ大抵休業セリ	<p>漁況</p> <p>事</p>	
	日廿一日 午后二時	曇	北々西	三〇・〇	三〇・〇	三〇・〇	干	〇東南、弱東南、弱東、弱西、弱強	灰微濁	波如鏡面	前觀測后ノ全 天候曇六時一曇三時七曇一 雨一波浪三時七曇一 ノ爲延引	打漁網地曳網は九網五智網九 ち及び漕網百八十隻一日一後 ノ漁高壹貫二百匁許ニシテ又 い建網及び漕網を、かり網四 張網籠網わなで繩らぬ釣た ちぬ釣一日一隻ノ漁獲一斗許 ニシテ同繩ニテハ三十尾位 ノ漁收ア、其他大丸、さ上 ナレトモ、かり網ハ依然不 漁ナリ併シ之レモ前月ニ比ス レバ稍好漁ノ傾キアリ	<p>漁況</p> <p>事</p>	
邑久郡生窓町沖十八尋 兒島郡長濱村沖二十八尋	日廿一日 午后二時	曇	北々西	三〇・〇	三〇・〇	三〇・〇	干	〇東南、弱東南、弱東、弱西、弱強	灰微濁	波如鏡面	前觀測后ノ全 天候曇六時一曇三時七曇一 雨一波浪三時七曇一 ノ爲延引	打漁網地曳網は九網五智網九 ち及び漕網百八十隻一日一後 ノ漁高壹貫二百匁許ニシテ又 い建網及び漕網を、かり網四 張網籠網わなで繩らぬ釣た ちぬ釣一日一隻ノ漁獲一斗許 ニシテ同繩ニテハ三十尾位 ノ漁收ア、其他大丸、さ上 ナレトモ、かり網ハ依然不 漁ナリ併シ之レモ前月ニ比ス レバ稍好漁ノ傾キアリ	<p>漁況</p> <p>事</p>	
	日廿一日 午后二時	曇	北々西	三〇・〇	三〇・〇	三〇・〇	干	〇東南、弱東南、弱東、弱西、弱強	灰微濁	波如鏡面	前觀測后ノ全 天候曇六時一曇三時七曇一 雨一波浪三時七曇一 ノ爲延引	打漁網地曳網は九網五智網九 ち及び漕網百八十隻一日一後 ノ漁高壹貫二百匁許ニシテ又 い建網及び漕網を、かり網四 張網籠網わなで繩らぬ釣た ちぬ釣一日一隻ノ漁獲一斗許 ニシテ同繩ニテハ三十尾位 ノ漁收ア、其他大丸、さ上 ナレトモ、かり網ハ依然不 漁ナリ併シ之レモ前月ニ比ス レバ稍好漁ノ傾キアリ	<p>漁況</p> <p>事</p>	

四十四

岡山縣三十九年十一月分海洋月次觀測表

場所及深	觀測日時	天気	風向	氣温	水温	比重	潮ノ干満	潮流方向	海水清濁	海面模様	備考	漁況	記	事
邑久郡生窓町沖十八尋 兒島郡長濱村沖二十八尋	日廿一日 午后二時	曇	北々西	三〇・〇	三〇・〇	三〇・〇	干	〇東南、弱東南、弱東、弱西、弱強	灰微濁	波如鏡面	前觀測后ノ全 天候曇六時一曇三時七曇一 雨一波浪三時七曇一 ノ爲延引	打漁網地曳網は九網五智網九 ち及び漕網百八十隻一日一後 ノ漁高壹貫二百匁許ニシテ又 い建網及び漕網を、かり網四 張網籠網わなで繩らぬ釣た ちぬ釣一日一隻ノ漁獲一斗許 ニシテ同繩ニテハ三十尾位 ノ漁收ア、其他大丸、さ上 ナレトモ、かり網ハ依然不 漁ナリ併シ之レモ前月ニ比ス レバ稍好漁ノ傾キアリ	<p>漁況</p> <p>事</p>	
	日廿一日 午后二時	曇	北々西	三〇・〇	三〇・〇	三〇・〇	干	〇東南、弱東南、弱東、弱西、弱強	灰微濁	波如鏡面	前觀測后ノ全 天候曇六時一曇三時七曇一 雨一波浪三時七曇一 ノ爲延引	打漁網地曳網は九網五智網九 ち及び漕網百八十隻一日一後 ノ漁高壹貫二百匁許ニシテ又 い建網及び漕網を、かり網四 張網籠網わなで繩らぬ釣た ちぬ釣一日一隻ノ漁獲一斗許 ニシテ同繩ニテハ三十尾位 ノ漁收ア、其他大丸、さ上 ナレトモ、かり網ハ依然不 漁ナリ併シ之レモ前月ニ比ス レバ稍好漁ノ傾キアリ	<p>漁況</p> <p>事</p>	
邑久郡生窓町沖十八尋 兒島郡長濱村沖二十八尋	日廿一日 午后二時	曇	北々西	三〇・〇	三〇・〇	三〇・〇	干	〇東南、弱東南、弱東、弱西、弱強	灰微濁	波如鏡面	前觀測后ノ全 天候曇六時一曇三時七曇一 雨一波浪三時七曇一 ノ爲延引	打漁網地曳網は九網五智網九 ち及び漕網百八十隻一日一後 ノ漁高壹貫二百匁許ニシテ又 い建網及び漕網を、かり網四 張網籠網わなで繩らぬ釣た ちぬ釣一日一隻ノ漁獲一斗許 ニシテ同繩ニテハ三十尾位 ノ漁收ア、其他大丸、さ上 ナレトモ、かり網ハ依然不 漁ナリ併シ之レモ前月ニ比ス レバ稍好漁ノ傾キアリ	<p>漁況</p> <p>事</p>	
	日廿一日 午后二時	曇	北々西	三〇・〇	三〇・〇	三〇・〇	干	〇東南、弱東南、弱東、弱西、弱強	灰微濁	波如鏡面	前觀測后ノ全 天候曇六時一曇三時七曇一 雨一波浪三時七曇一 ノ爲延引	打漁網地曳網は九網五智網九 ち及び漕網百八十隻一日一後 ノ漁高壹貫二百匁許ニシテ又 い建網及び漕網を、かり網四 張網籠網わなで繩らぬ釣た ちぬ釣一日一隻ノ漁獲一斗許 ニシテ同繩ニテハ三十尾位 ノ漁收ア、其他大丸、さ上 ナレトモ、かり網ハ依然不 漁ナリ併シ之レモ前月ニ比ス レバ稍好漁ノ傾キアリ	<p>漁況</p> <p>事</p>	

五十五

岡山縣三十九年十二月海洋月次觀測表

水場所及 觀測日時	天候	風向風力	氣溫	水溫	比重	潮ノ干満	潮向強弱	水色濁濁	海面ノ 模様	備考	漁況	記	事
見島郡長濱村沖二十八尋 一日十一時	快	西 一	二・八	一〇・七	三・〇	四合	東南、強西北、稍強	灰綠濁綠	小波	前觀測后ノ全上	漁況	トシ他タモ、ナベコ、アナ マエビ溜網メアル釣漁等ヲ主 本月中旬頃ヨリ線網ノ漁期ニ 入レリ四ツ張、セイレ立網打漁 網、ナマシ網等概シテ平漁ナ ク、クダ等相應ノ漁獲アリ	
見島郡長濱村沖二十八尋 一日十一時	快	西 一	二・九	一〇・七	三・〇	四合	東南、強西北、稍強	灰綠濁綠	小波	前觀測后ノ全上	漁況		
見島郡長濱村沖二十八尋 一日十一時	快	西 一	二・九	一〇・七	三・〇	四合	東南、強西北、稍強	灰綠濁綠	小波	前觀測后ノ全上	漁況		
見島郡長濱村沖二十八尋 一日十一時	快	西 一	二・九	一〇・七	三・〇	四合	東南、強西北、稍強	灰綠濁綠	小波	前觀測后ノ全上	漁況		
見島郡長濱村沖二十八尋 一日十一時	快	西 一	二・九	一〇・七	三・〇	四合	東南、強西北、稍強	灰綠濁綠	小波	前觀測后ノ全上	漁況		

三十九年

岡山縣四十年一月分海洋月次觀測表

水場所及 觀測日時	天候	風向風力	氣溫	水溫	比重	潮ノ干満	潮向強弱	水色濁濁	海面ノ 模様	備考	漁況	記	事
見島郡長濱村沖二十八尋 一日十一時	曇	西 三	二・三	一〇・五	三・〇	五合	東南、強西南、弱西、弱	灰綠濁綠	小波	前觀測后ノ全上	漁況	例年ニ比シ温暖ナリシカ爲メ 目下線漁ノ期節ニシテ近海 寄魚漁場ニ於テ、イナ、ナ、三、七 カ、リシカ前後數回ニテ約十、五 八千、ゴ、ラ、一、二、四、五、千、セ 内外ノセイレ、イ、ナ、 等ヲ漁獲セリ	
見島郡長濱村沖二十八尋 一日十一時	曇	西 三	二・三	一〇・五	三・〇	五合	東南、強西南、弱西、弱	灰綠濁綠	小波	前觀測后ノ全上	漁況		
見島郡長濱村沖二十八尋 一日十一時	曇	西 三	二・三	一〇・五	三・〇	五合	東南、強西南、弱西、弱	灰綠濁綠	小波	前觀測后ノ全上	漁況		
見島郡長濱村沖二十八尋 一日十一時	曇	西 三	二・三	一〇・五	三・〇	五合	東南、強西南、弱西、弱	灰綠濁綠	小波	前觀測后ノ全上	漁況		
見島郡長濱村沖二十八尋 一日十一時	曇	西 三	二・三	一〇・五	三・〇	五合	東南、強西南、弱西、弱	灰綠濁綠	小波	前觀測后ノ全上	漁況		

四十年

場所及水深	觀測日時	天候	風向風力	氣温	水温	比	潮ノ干満	潮向強弱	水色清濁	海面ノ模様	備考	記	事
邑久郡牛窓町浦十八尋	四日前六時五十分 四日辰二時 四日辰四時五十分	曇	北	三・九	八・三	三・〇	干	〇	灰 綠 濁	小 鏡	降雪強風ノ爲メ一日定時觀測ノ處四日ニ施行セリ	漁況 寄魚漁業盛ニシテ相應ノ漁獲アリ其他「アサメ」種 (グク)「漕」アサメ「繩」等亦平漁ナリ	
		曇	〇	七・三	八・五	三・五	滿	〇	灰 綠 濁	如 鏡			
			〇	七・三	七・五	三・〇	六合干	〇	灰 綠 濁	如 鏡			

場所及水深	觀測日時	天候	風向	氣温	水温	比	潮干滿	潮流方向	水色清濁	海面模様	備考	記	事	
邑久郡牛窓町浦十八尋	四日 辰二時 午二時 辰四時 午四時	晴	北	八・四	七・五	三・五	極滿	〇西北、稍	灰 濁	鏡 小	前觀測后ノ全上	漁況 目下寄魚漁期ニシテ相應ノ漁 本月上旬ニ於テも花之繩及ハ 獲アリ其他けた繩網かれハ、 おふらみ、おな之繩等盛ニシ ヌねり網打漁網せハ建網たて、 めばる釣等て突等ノ漁期ニシ テさて突ハ引續キ豐漁ナリ		
兒島郡長濱村浦廿八尋	五日 辰二時 午二時 辰四時 午四時	晴	西北西	九・五	七・五	三・六	初二合滿	〇西北、強東	濁 大 濁	浪 大	天候 晴	漁況		
		曇	西	七・六	九・二	三・七	一合干四合干八合滿	〇強全	上 全	上 全	上 全			
		曇	西	七・四	七・八	三・八		上西、弱	上 全	波 平	全上			
		晴	西	七・三	七・八	三・九			上 全	波 平	全上			





生

は	は	は	美作	美作	美作
ら	ら	ら	其他	其他	其他
は	は	は	美作	美作	美作
ら	ら	ら	其他	其他	其他
は	は	は	美作	美作	美作
ら	ら	ら	其他	其他	其他

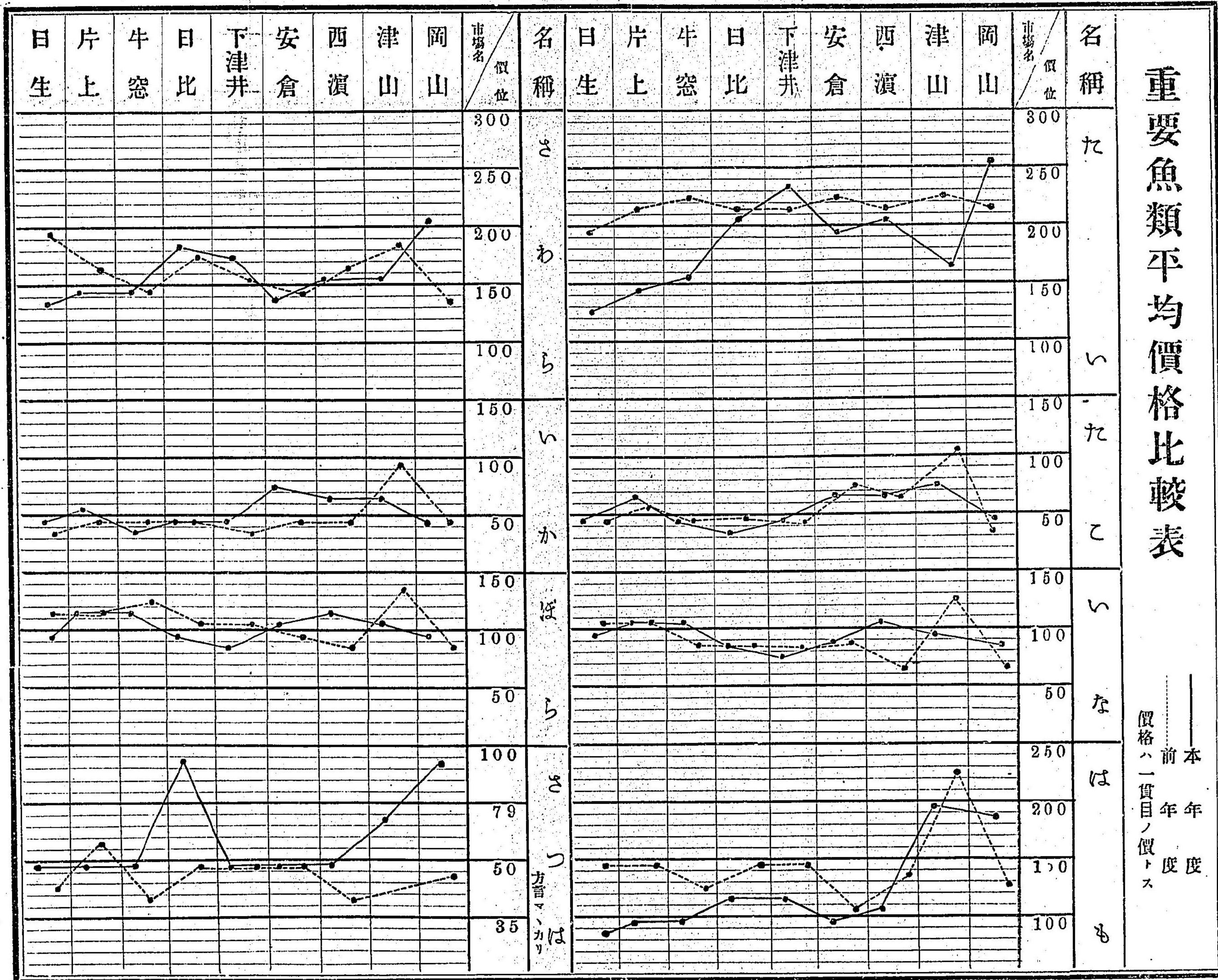
備考

一本表中輸入輸出共地名ノ下ニ記載シタル數ハ其歩合ノ概數ナリ  
 一輸入ノ部中其他トアル數ニハ近海漁獲數ヲ又輸出ノ部中其他トアル數字中ニハ其  
 土地及ヒ地方小賣ヲ含有ス



# 重要魚類平均價格比較表

本 年 度  
 前 年 度  
 價格ハ一貫目ノ價トス

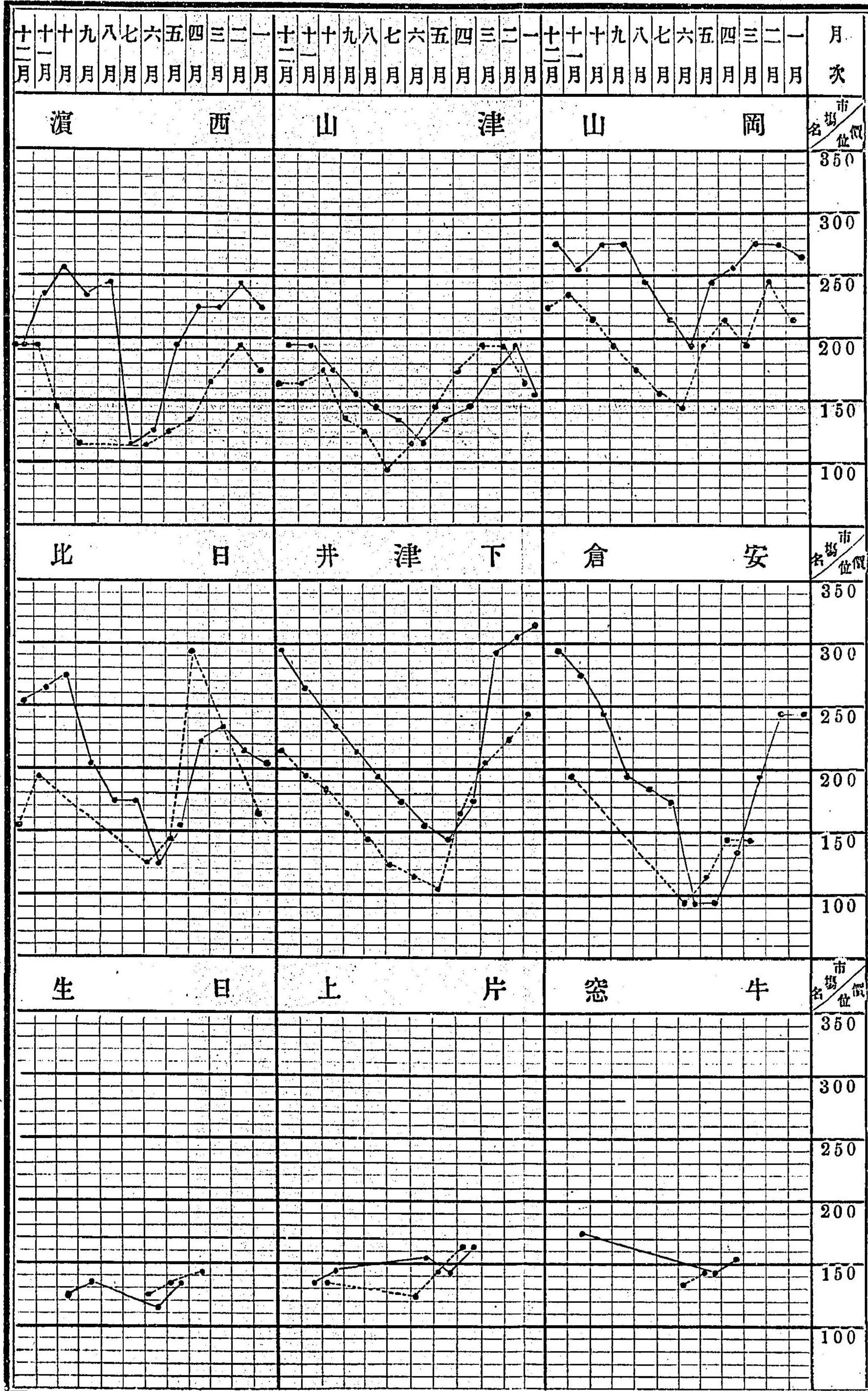


# 重要魚類販賣價格表

其一 (たい、さわら)

價格ハ壹貫目ノ價トス

たい  
さわら

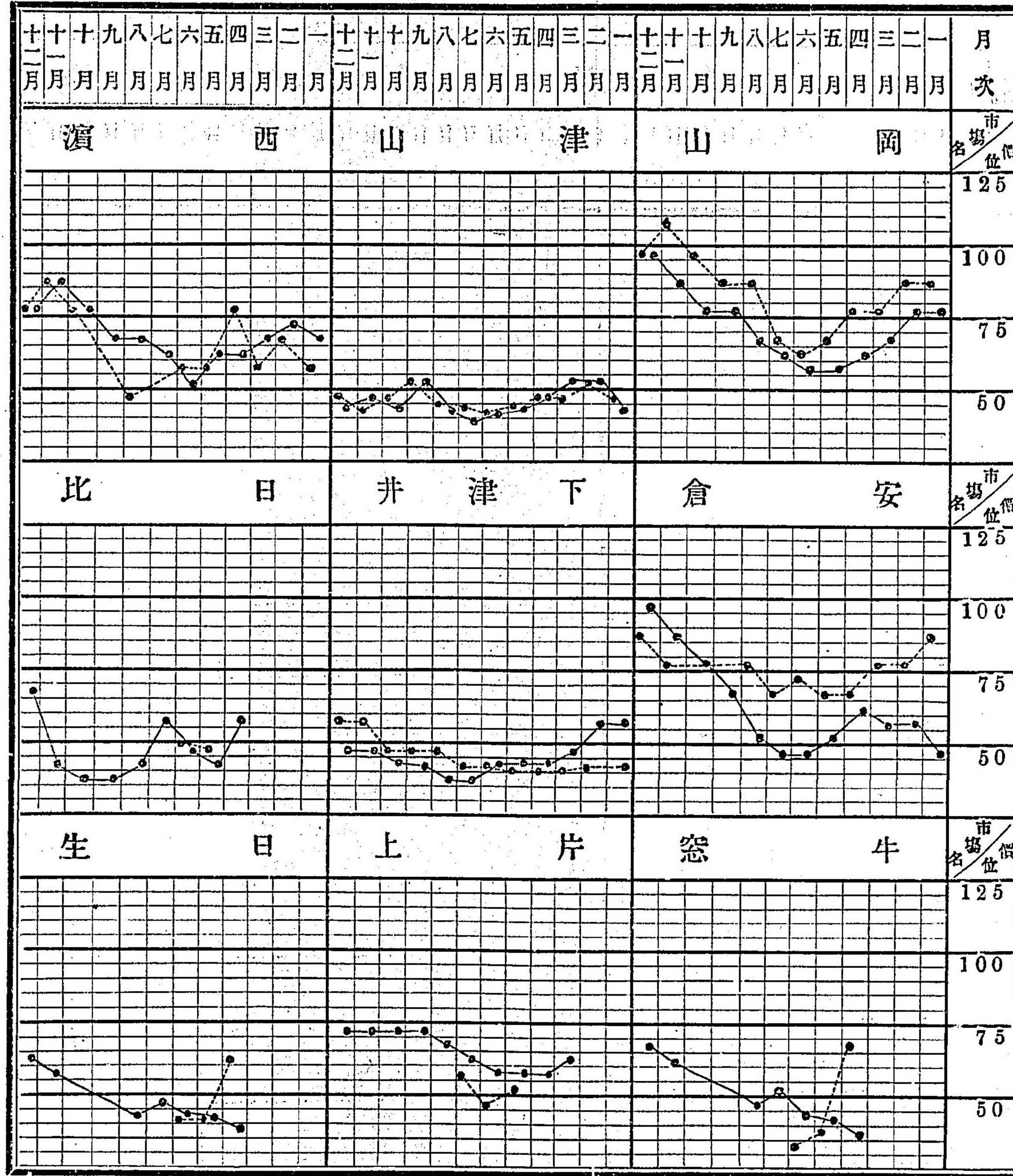


# 重要魚類販賣價格表

其二 (たこ、いか)

價格一壹貫目ノ價トス

いた  
かこ

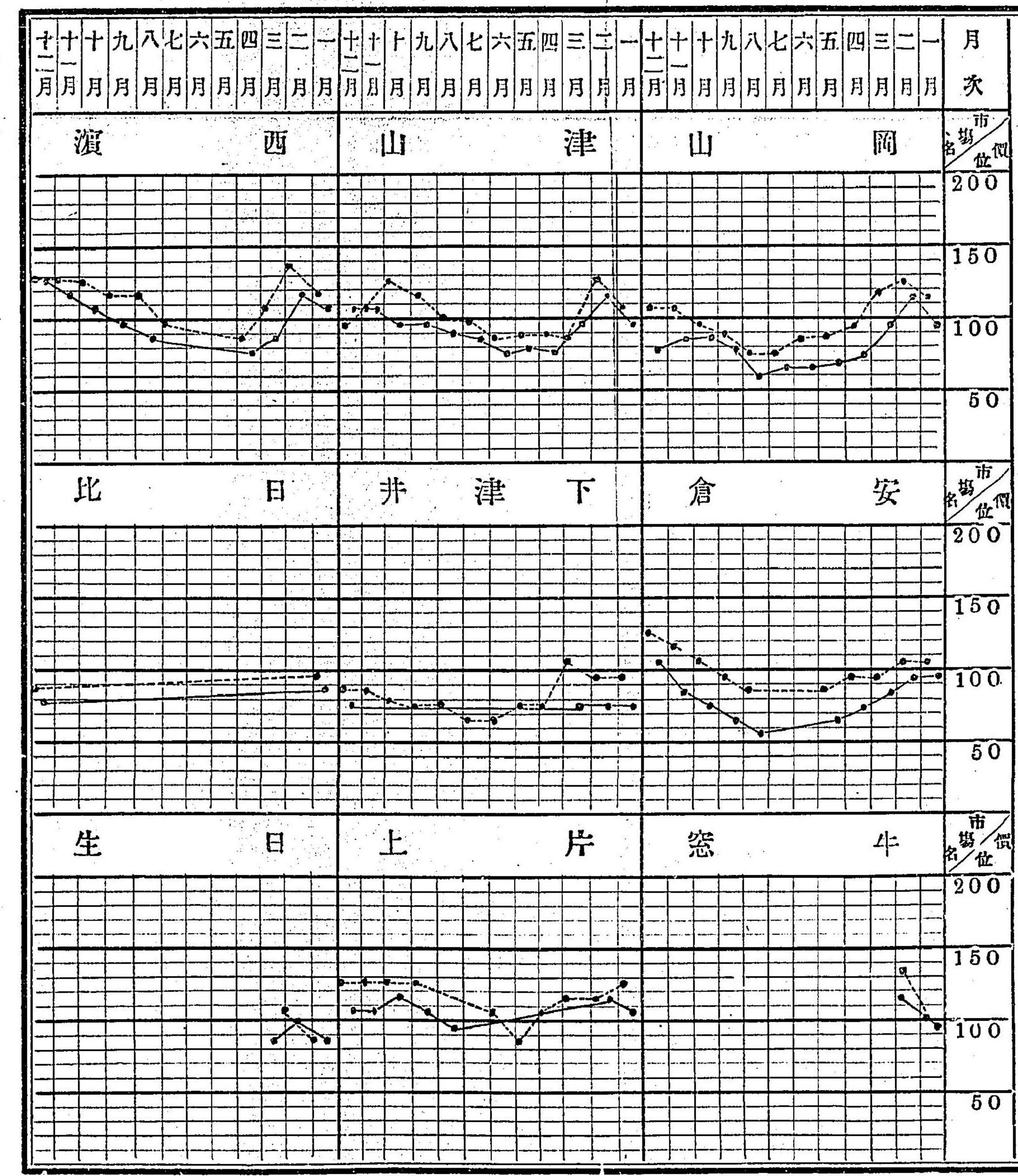


# 重要魚類販賣價格表

其三 (いなほら)

價格ハ壹貫目ノ價トス

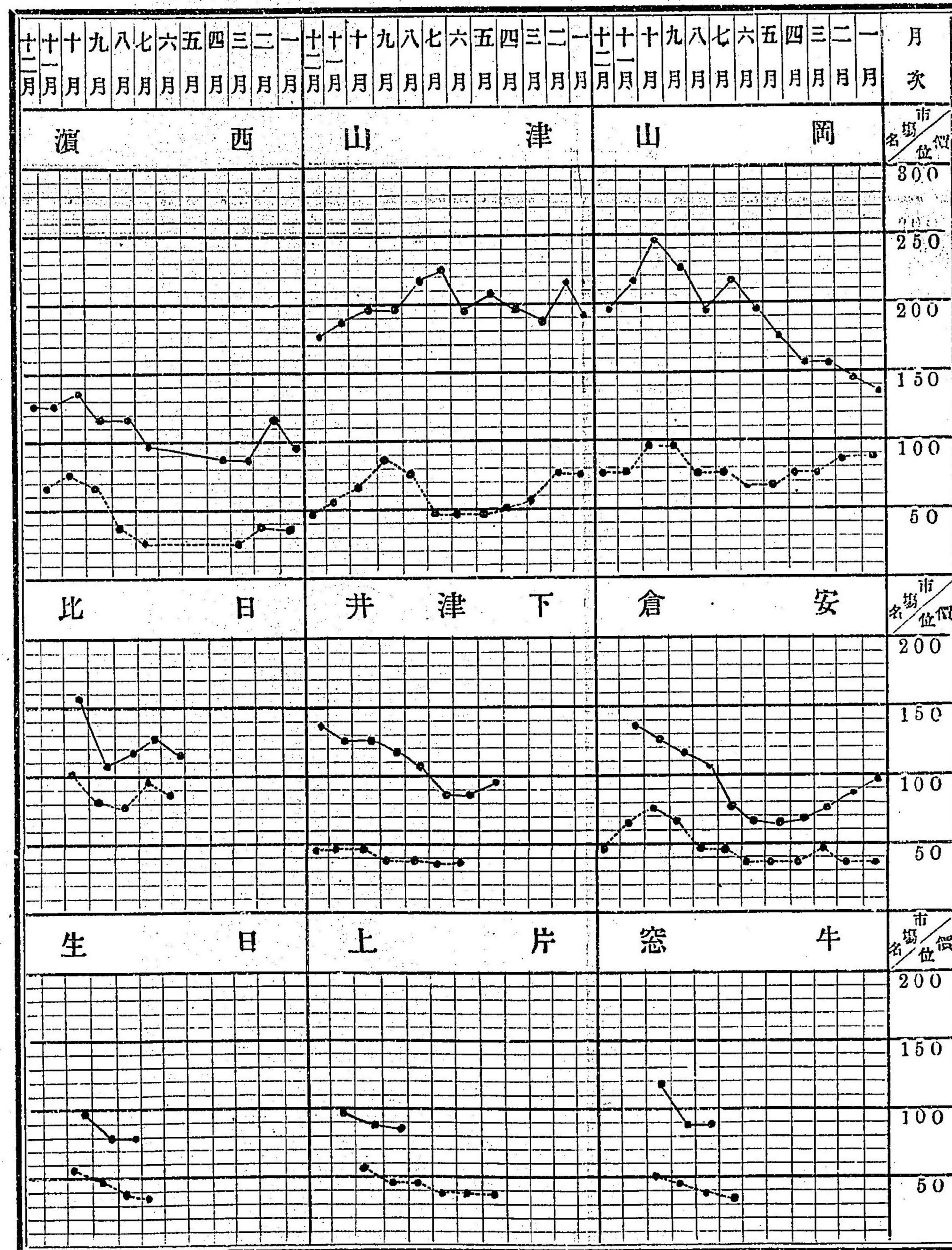
い  
は  
ら  
な



# 重要魚類販賣價格表

其四 (はも、さつば、カサ) 價格ハ壹貫目ノ價トス

—— は  
 ..... さつば



### 講習

講習ハ孰モ他ノ要求ニ應シタルモノニシテ市町村立小學校教員實業學科講習ハ縣ノ施設ニ係リ三十九年二月二十五日ヨリ三月二十四日ニ至ル間本場内ニ於テ水産學科講習ヲ開始シ本場技術職員悉ク講師ト爲リ水産大意漁撈學養殖學製造學保護蕃殖學等ノ大要ヲ講習シタリ其他本縣水産會ノ開催ニ係ル短期講習會ニ對シテモ其要求ヲ容レ本場技師技手ヲ派遣シテ地方ニ適切ナル講習ヲ爲サシメタリ

### 實地傳習

本年度ニ於テ舉行シタル實地傳習ハ養鯉及海苔養殖製造法ノ二種ニシテ今左ニ其各別ニ就キ概要ヲ摘記スヘシ

### 養鯉傳習

本事業ハ本年度ノ創設ニ係リ淡水養魚ノ獎勵上之カ技術ノ普及ヲ圖ルハ他ノ親鯉及稚鯉ノ配布等ト相俟テ刻下ノ急務ナルヲ認メ明治三十九年四月九日附縣令第三百三拾七号ニ依リ左記ノ通り養鯉傳習規程ヲ制定シ四月廿六日傳習生募集ノ結果出願者中規程ニ添ハサル者ヲ除キ五名ヲ採用セシカ内ニ名ハ事故ノタメ缺勤シ久米郡一和氣郡一邑久

講習  
實地傳習

郡一ノ三名ニ對シテ月手當金五圓ツ、ヲ給シ五月一日ヨリ六月三十日ノ二ヶ月間學理  
講話ノ外本場構内ノ養魚地ニ於テ專ラ採卵孵化其他養鯉ノ方法ヲ習得セシメタリ而シ  
テ終了後ノ成績ニ徵スルニ結果頗ル良好ニシテ歸郷後何レモ養魚ニ從事シ稻田養鯉ニ  
池沼ノ利用ニ或ハ人造地ニ依リ養魚ヲ經營スルニ至レリ

岡山縣水産試驗場養鯉傳習規程

第一條 傳習ノ事項ハ養鯉ニ關スル採卵法孵化法育苗法運搬法等ニシテ專ラ之レヲ實  
地ニ傳習スルモノトス

第二條 傳習ノ期間ハ五月一日之ヲ開始シ六月三十日ヲ以テ終了ス  
但シ鯉魚産卵ノ都合ニヨリ伸縮スルコトアルベシ

第三條 傳習生ハ身体壯健品行方正ニシテ高等小學校卒業以上ノ學力ヲ有シ年齢滿二  
十才以上四十才以下ノ男子ニシテ傳習後ハ實地ニ企業スルモノニ限リ採用ス

第四條 志望者ハ左記ノ書式ニ依リ市町村長ノ証明ヲ經テ岡山縣水産試驗場へ願書ヲ  
差出スベシ

第五條 傳習生ノ採否ハ試驗場長ニ於テ決定シ傳習開始前直接本人ニ通知スベシ  
第六條 傳習生ニハ月手當トシテ金五圓ヲ給與ス

第七條 傳習中主任又ハ其他場員ノ指揮命令ニ違背シ或ハ不正ノ行爲アリタルハ退  
場ヲ命スルコトアルベシ

此場合ニ於テハ前條ノ手當ヲ支給セス病氣其他自己ノ都合ニ依リ中途退場シタルハ  
亦同シ

養鯉傳習願 (用紙半紙形)

本籍  
現住所  
職業族籍  
氏名  
生年月日

- 一 學術修業ノ經歷
- 一 水産業ニ關係ノ有無
- 一 傳習ノ目的

前記ノ通相違無之候ニ付御場養鯉傳習規程ヲ遵奉シ誠實ニ傳習相受ケ可申候養鯉方  
法實地傳習ノ儀御許可相成度此段相願候也

年 月 日 右 氏 名 印 六十七

實地傳習

岡山縣水産試驗場長宛

六十八

### 海苔製造傳習

上道郡沿海ニ於ル海苔養殖ノ成績ハ別項記述ノ如ク良好ナリシヲ以テ更ニ之カ製造方法ヲ地方ニ傳播スルハ最モ必要ナルヲ信シ製造試驗ノ旁ヲ希望者ヲ收容シ抄製技術ヲ習得セシメ其成績佳良ナルモノハ八人ニ對シ證書ヲ授與シタリ此他上道郡升田漁業組合ノ請求ニ依リ三月中旬十日間海苔抄方結束法等ノ實地傳習ヲ施シ技術練熟セル二十二二人ニ對シ證書ヲ授與シタリ

### 講話及實地指導

講話及實地指導ハカメテ其請求ニ應ジタルモ場務ノ都合上普ク之ヲ充タス能ハザリシハ遺憾少シトセズ其之ニ應ジタル回数左ノ如シ

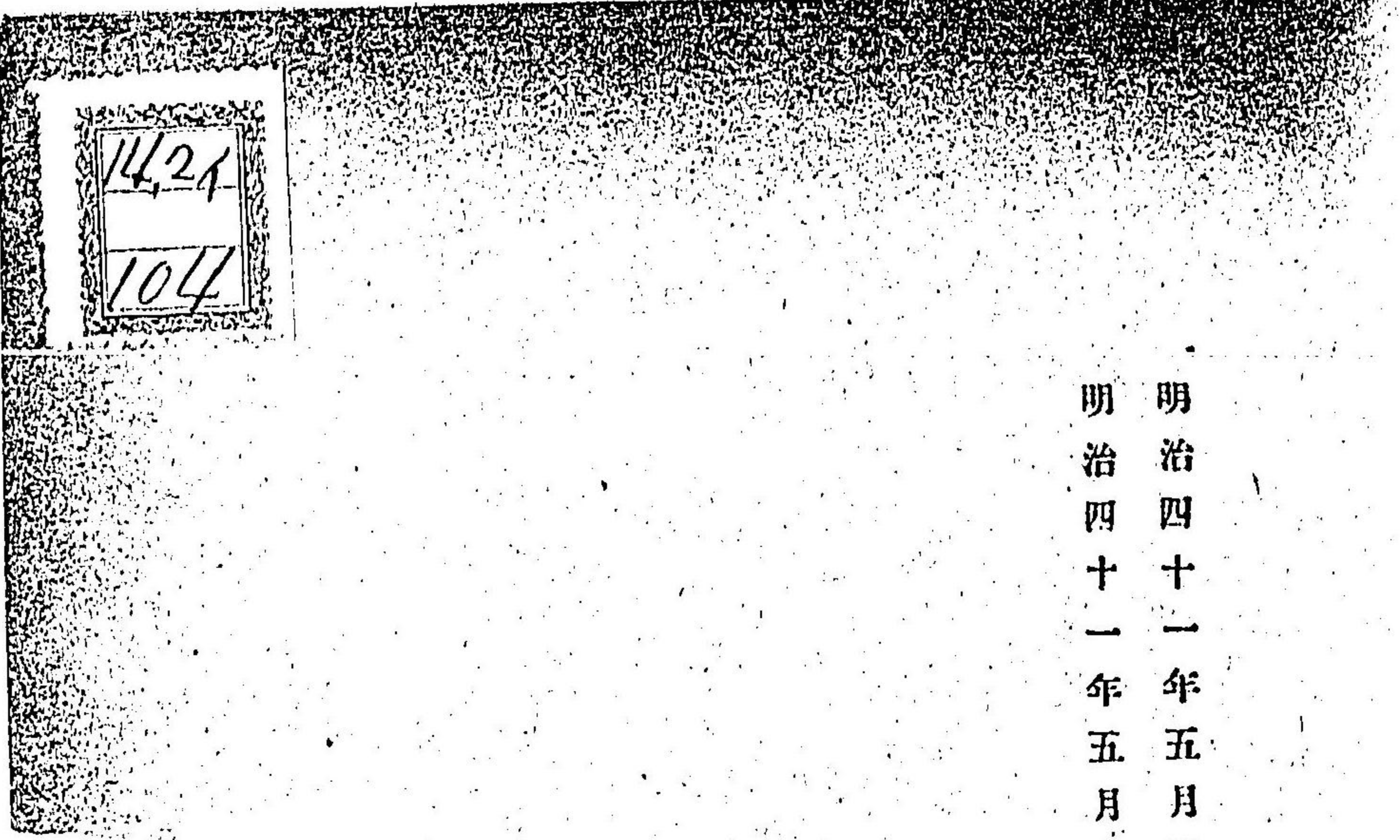
講話 十三回

實地指導 七回

明治四十一年五月五日印刷  
明治四十一年五月十日發行

(非賣品)

印刷





14, 2  
104

明治四十年度

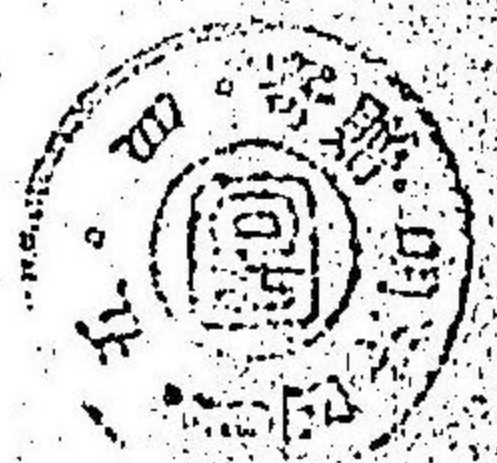
岡山縣水產試驗場業務報告

十明治四 岡山縣水産試驗場業務報告

岡山縣水産試驗場

目次

鯉兒養成及配布.....	一頁
親鯉養成試驗.....	九
稻田養鯉試驗.....	二〇
細鯉養殖試驗.....	三三
鰻兒移殖試驗.....	三三
鯉介移殖試驗.....	三三
海苔移殖及製造試驗.....	三七
牡蠣養殖試驗.....	三七
漁具保存試驗.....	三九
遼洋漁場探檢調査.....	四一



頁數	行數	誤	正	頁數	行數	誤	正
二二	六外少		多少	二八	一	表中	
二二	三	表中	四五〇	三一	六掛下	九月三十一日	九月三十日
二五	九十八日	流	十八日放流	三七	五繁殖		
全	一二	表中	二五	三七	一五養驗		
全	全	四四八〇〇	四四八〇〇	五六	五達セサル		
全	一三	全	一四	六三	九有望ナルヲ漁期	有望ナルヲ豫期	
全	全	二八八〇〇	二八八〇〇	六四	一一大富		
二六	八	廢セシ	廢セシ	七九	八百三十個ヲ		百三十個所ヲ

重要生物漁況調査..... 四  
 海洋觀測..... 四  
 重要魚類販賣調査..... 六  
 鯉介蕃殖調査..... 六  
 白魚產卵調査..... 六

### 三、實地傳習

養鯉傳習..... 六  
 海苔製造傳習..... 六

### 四、講話及實地指導

## 明治四十年度岡山縣水產試驗場業務報告

### 試驗之部

#### 鯉兒養成及配附

本年度產卵當時ハ恰モ風雨繁ク温度ノ變化著シク氣候不順ナリシガ爲メ採卵孵化共ニ困難ナリシヲ幸ニ餌虫ノ發生良好ナリシ爲メ孵化後ハ比較的順調ナル發育ヲ爲シ四月一日親鯉ハ三月二十五日雌雄ヲ別池ニ分養シ四月一日投餌ヲ開始シ傍ヲ餌虫ノ養成ニ努メ五月一日魚巢其他ノ採卵準備ヲ了シ親魚ハ雌魚体量平均八百匁ノモノ十二尾雄魚ハ三百匁乃至五百匁ノモノ四十尾ヲ使用シ五月十二日全二十日全二十六日ノ三回混養シ五月二十三日及全二十八日ノ兩日ニ於テ卵數約六十萬粒ヲ採卵セリ而シテ孵化兒ハ約三十萬尾ヲ得水面三百四十四坪ノ(五ヶ所合計)養池ニ放養セシカ從來ノ經驗ニ徴シ小形ナル鯉兒ハ放養後ノ步減多大ニシテ獎勵上ノ効果乏シキニ鑑ミ可成大形ノ魚苗ヲ配附センノ方針ニテ体長一寸以上四寸以下ノモノ十八萬六千六百尾ヲ養成セリ

本年度鯉兒ノ配附ニ就テハ從來魚苗ハ無償配附ニ屬シ運搬ハ全ク請求者各自ニ處辨セ

鯉兒養成及配附

シメシモ如斯ハ受領者ノ運搬ニ不熟ナル爲メ途中鯉兒ヲ疲弊セシムルノ恐アルヲ以テ本年ニ至リ運搬ハ本場ノ事業トシ之レニ伴フ同等費額ノ率ニヨリ魚苗ノ体長ニ應ジ有價ノ制ヲ設ケタリ即チ本年改正ノ下記本場魚苗配附規程ニ準據シ請求書ノ提出ハ期限ヲ六月十四日ト定メ之レヲ一般ニ公示シ況ク之レカ請求ヲ徴シタリ然レトモ請求期日ヲ誤リタルモノ及規程ニ副ハサルモノ(件數約百五十件請求尾數約二百五十萬尾等ヲ省キ全ク採用シタル件數百十九件ニシテ之レヲ細別スレバ郡農會三村農會百二漁業組合三町村長三團體三學校六トス其請求尾數八十二萬八千六百尾ニシテ分配率ハ之レチ前年度ニ微ヒ別ニ適當ノ標準ヲ定メ本場用其他配附中ノ斃魚ヲ除キ鯉兒十六萬六千七百二十四尾ヲ六月三十日ヨリ八月十一日マテノ間ニ於テ縣下各郡へ悉ク運搬配附シタリ尙ホ參考ノ爲メ本事業ノ概要ヲ摘記セバ左ノ如シ

親魚

一 系統 東京深川區千田町服部倉次郎飼育ニ係ルモノ(元信州種)

二 雌雄數

雌十二尾 雄四十尾

三 各体長重量

雌体長 二尺内外 体量一貫百匁 二尾  
 同 一尺七寸 同八百匁内外 六尾  
 同 一尺五寸 同五百匁乃至六百匁 四尾  
 但シ使用尾數十二尾ニシテ此重量九貫九百匁ニ當ル  
 雄体長 一尺五寸 体量五百匁 一尾  
 同 一尺三寸 同四百匁内外 十六尾  
 同 一尺二寸 同三百匁内外 廿三尾  
 但シ使用尾數四十尾ニシテ此重量十三貫五百匁ニ當ル

四 年齡

雌 二尾 十年生  
 雌 六尾 七年生  
 雌 四尾 雄 三十九尾 四年生

五 産卵池ニ移スマテノ飼養方法

本場ニ於テハ圍池ハ親池ノ外日當長キ普通ノ稚兒養成池ヲモ併用シ南向水面ノ一角ニ於テ古莖又ハ藪菰ヲ以テ風除ケテ兼チ屋根形ノ覆ヒヲ施シ越年鯉兒養成及配附

セシメ初春漸ク暖氣ヲ備ス頃取揚ケ唯魚ハ直チニ産卵池ニ雄魚ハ隣池便宜  
ノ養池ニ分養シ其成熟時期ヲ待テ合併シ産卵次第孵化池ニ移スモノトス  
飼養ハ米蝦蠶蛹粉麥粉糠ノ混合餌料ニシテ毎朝午前十時一回約左記分量ニ  
依リ投與シタリ

四月中ノ投餌量 米蝦一斗八升 蠶蛹九升 麥粉糠一斗二升  
五月中ノ投餌量 米蝦二斗 蠶蛹一斗 麥粉糠一斗

産卵孵化

一 着卵ノ材料及其分量

魚巢ノ材料ハ從來楊柳根及聚藻金魚藻ノ二種ヲ撰用ス各多少ノ特長ヲ存シ  
共ニ其適當ナルヲ認メレトモ就中楊柳根ハ使用上安全ニシテ成績最モ良好  
ナリトス即チ前者ハ盤錯セル毛根ノ櫛梳其他材料ノ糞洗等多少ノ手数を要  
スレトモ採卵孵化ノ成績上間然スル處ナク後者ハ別ニ何等ノ煩ナク殆ソト  
切截ノ儘使用シ得ヘシト雖トモ質頗ル脆弱ニシテ産卵中摺折シ易ク又晚産  
ノ場合ハ莖葉腐朽シ往々孵化池中ノ水質ヲ害スルコトアリ故ニ普通楊柳ヲ  
專用セリ本年度ニ使用數量楊柳乾燥重量約十貫千四五株ヲ一束トシタルモ

ノ十二束トス

二 産卵時

産卵池ニ移シタル日時 産卵セシ日時

第一回 五月二十日午後二時 五月二十三日自午前五時至全九時  
第二回 五月二十六日午前十時五月二十八日自午前四時至全十一時

但シ當初五月十二日雌雄ヲ合併セシカ天候其他ノ關係ニ依リ數日ヲ經ルモ産  
卵セサルヲ以テ更ニ別池ニ分養セリ

三 卵數 約六十萬粒

第一回 約四十萬  
第二回 約二十萬

四 孵化時

第一回 自五月廿六日午前七時  
至全月廿七日午前十時  
第二回 自五月三十日午後五時  
至全月卅一日午後二時

鯉兒養成及配附

五 孵化百分率 約百分中四十七弱  
 第一回 卵數四〇 約二〇萬  
 第二回 同 二〇 約 八萬  
 六 產卵孵化時期中ノ氣象

採卵 孵化氣象表

月 日	時間	天候	氣 溫		風 向	風 力	雨 量	比 重	記 事
			產卵池	孵化池					
五月廿三日	六時 十二時 六時	全全曇	一〇.〇 一一.〇 一〇.〇	一一.〇 一二.〇 一一.〇	全 南 西	〇 一 一	〇 〇 〇	一〇.〇 一〇.〇 一〇.〇	第一回分産 卵ス
同 廿四日	六時 十二時 六時	全全晴	一〇.〇 一一.〇 一〇.〇	一一.〇 一二.〇 一一.〇	北 西 南	〇 〇 〇	〇 〇 〇	一〇.〇 一〇.〇 一〇.〇	全全全
同 廿五日	六時 十二時 六時	曇全晴	一〇.〇 一一.〇 一〇.〇	一一.〇 一二.〇 一一.〇	北 西 北	〇 〇 〇	〇 〇 〇	一〇.〇 一〇.〇 一〇.〇	全全全

鯉兒養成及配附

同 廿六日	同 廿七日	同 廿八日	同 廿九日	同 三十日	同 三十一日
六時 十二時 六時	六時 十二時 六時	六時 十二時 六時	六時 十二時 六時	六時 十二時 六時	六時 十二時 六時
全曇晴	全曇晴	全全晴	全曇曇	晴晴曇	全快晴
一〇.〇 一一.〇 一〇.〇	一〇.〇 一一.〇 一〇.〇	一〇.〇 一一.〇 一〇.〇	一〇.〇 一一.〇 一〇.〇	一〇.〇 一一.〇 一〇.〇	一〇.〇 一一.〇 一〇.〇
一八.五 二〇.〇 一八.五	一八.五 二〇.〇 一八.五	一八.五 二〇.〇 一八.五	一八.五 二〇.〇 一八.五	一八.五 二〇.〇 一八.五	一八.五 二〇.〇 一八.五
東 南東	東 南東	全 全	全 南東	南 西 南	全 南 北
〇.五 一.〇 〇.五	〇.五 一.〇 〇.五	〇.五 一.〇 〇.五	〇.五 一.〇 〇.五	〇.五 一.〇 〇.五	〇.五 一.〇 〇.五
全全全	全全全	全全全	全全全	全全全	全全全
第一回分産 化ヲ始	第一回分産 化ヲ終了ス	第二回分産 卵ス	第二回分産 化ヲ始	第二回分産 化ヲ始	第二回分産 化ヲ終了ス

七 產卵後親魚ノ飼育餌料

六月中投餌	蠶蛹二斗七升	麥糠二斗七升
七月中全	全	六斗八升
八月中全	全	六斗八升
九月中全	全	二斗四升
十月中全	全	九升三合
十一月中全	全	一斗八升五合
十一月五日中午止	全	一升五合
	全	三升

鯉兒養成

鯉兒ノ臍囊消失シ食餌ヲ求メテ游泳スルニ至リ煮熟セル卵黃鰯印黃味溶液ニ依リ數日間飼育シタル後飼育池ニ移スヲ常トセリ而シテ飼育池ハ稚兒成育上缺クヘカラサル餌料トシテ豫メ「ミヤノ」ヲ養成シ水色ヲ變スルマテニ蕃殖セシムルモノニシテ稚兒ノ食欲増進ニ伴ヒ更ニ他ノ餌池ヨリ移シテ餌虫ノ缺亡ヲ補ヒ斯ク二週日内外ハ殆ト此餌虫ニ依リ成育セシメ魚兒漸ク六七分ニ成長スルニ從ヒ溝ミ、ズ(あかこ)又ハバウラチ挽臼ニテ粉碎シタルモノヲ與ヘ進メテ一寸内外ニ至レバ全体ノ儘ヲ給シ或ハ之レニ煮熟シタル麥粉糠ヲ混和シ若クハ蠶蛹粉ト麥粉糠トノ煮熟シタル混合物ヲ給與セリ而シテ飼育中ハ育水ノ腐敗セザル限リ可成餌料ノ豐富ヲ計リ且ツ體長一寸内

外ニ達スル迄ニ一回若クハ二回一寸ヨリ二三寸ニ成長スル迄ニ於テ一回魚兒ノ大小ヲ區別シ之レヲ各其等級ニ依リ別池ニ分養シ相互ノ生存競争ヲ避ケシムル様注意シタリ

一 天然餌料ノ發生及其程度

餌虫ノ養成ハ四月十日池水ヲ干涸シ四月二十日ヨリ全二十五日迄ノ間ニ於テ池面十坪ニ對シ人糞三荷ノ割合ニテ池坪三百四十四坪ニ對シ百十一荷ヲ撒布シ同時淡水五寸許ヲ注入シ二三週日内外ニシテ水色變化スルニ及ント更ニ池水五寸許ヲ増加シ「ミヤノ」ノ母虫ヲ放流シ之レカ蕃殖ヲ圖リシカ五月二十日ヨリ全廿五日ニ及ビ水色青藍黃褐ト幾回ニ變化シ節肢類、蠕形類、藍綠藻類、硅藻類等各種生物ノ蕃殖ヲ見ルニ至レリ其程度ハ汲取リタル一斗ノ水中ニ對シ生物殘滓ノ量約十五立方c.m乃至五十立方c.mノ割合ナリ然レトモ本年度鯉兒放流當時ハ既ニ其盛期ヲ失シ減少ノ傾向ヲ呈セシハ甚ダ遺憾ナリキ

二 使用池ノ種類及面積

種類	水	深	面積	摘	要
產卵池	二尺五寸	四十七坪	專用		

鯉兒養成及配附

孵化池 一尺二寸 二十坪 專用  
 親池 三尺五寸 二十七坪弱 飼育池兼用  
 親池 三尺五寸 二十七坪弱 全上  
 飼育池 二尺五寸 八十五坪 親池兼用  
 全 二尺五寸 九十坪 專用  
 全 二尺五寸 百十五坪 專用  
 三飼育池放流及取揚々(配附)月日  
 放流  
 第一回分 六月二日 自六月三十日至八月十一日  
 第二回分 六月六日 全上  
 四飼育中投餌ノ種類及數量  
 種類 數量  
 鷄卵 百五十個  
 沸ミ、ズ 六石三斗二升  
 米、蝦 二斗

蠶 蛹 八斗  
 小麥粕 二石二斗  
 麥粉糠 二石八斗  
 五養成魚ノ大サ及數量  
 飼育池三百四十四坪ニ對シ孵化後一週日以内ノモノ約三十萬尾ヲ放流シ其結果  
 左ノ如シ  
 體長 尾數  
 一寸内外 三萬三千尾  
 一寸五分内外 七萬一千六百尾  
 二寸内外 六萬尾  
 三四寸ノモノ 二萬二千尾

魚兒運搬及配布  
 一運搬器  
 本邦從來ノ運搬器トシテ尤モ輕便ニ尤モ多數ヲ收容シ得ヘキ東京仕立金魚擔桶  
 即チ榭製五重桶ヲ充用シ尙ホ別ニ貯水及透氣ノ裝置ヲ有シ酷暑遠路ノ運搬ニ堪  
 鯉兒養成及配附



へ得へキ近來使用ノ獨乙式運搬器ニ則リ比較的鯉兒ヲ收容シ且ツ人肩ノ運搬ニ適スへキ二重ノ運搬器ヲ考案シ使用セシカ彼我多少ノ得失アリ大ニ在來容器ノ缺ヲ補ヒ比較的的安全ニ配附ヲ遂行シ得タリ

### 二配附後ノ飼育

鯉兒ノ養成ハ稻田若クハ池沼溝渠等天然水域利用ニ適當スレドモ魚類生活ノ状態ハ他種族間ノ呑噬ハ原ヨリ同族相食ニ強食弱肉ノ弊劇烈ナルモノナレバ本場配附ノ鯉兒ノ如キハ未タ充分ナル自衛力ナキニ依リ多數生物ノ共棲セル池沼溝渠ニ於テハ被害最モ盛ナリ故ニ其目的ノ稻田ニアルモノト然ラサルモノトナ間ハス當初一ケ年ハ可成稻田養鯉ヲ實行セシメ体長五六寸以上ニ達シ他魚ノ食害ヲ受ケサル時期即チ秋期落水期ニ及ンテ初メテ池沼ニ放養セシムルカ若クハ食用魚養成ノ目的ヲ以テ稻田養鯉ヲ獎勵セリ其結果從來ノ愛畜的思想ヲ一變シテ漸次農民ノ副業トシテ各地ニ經濟的養魚ノ經營ヲ見ルニ至レリ

### 三魚苗配附規程

第一條 配付スへキ魚苗ノ種類名稱數量請求期日等ハ該場ヨリ之レヲ公示ス  
第二條 魚苗ノ配付ヲ受クへキモノハ左記ノモノニ限ル

一、本縣内設置ノ農事又ハ水産ニ關係アル實業學校

二、本縣内ニ設置セル農事又ハ水産ニ關係アル法人又ハ實業團體

三、其他水産試驗場ニテ必要ト認メタルモノ

第三條 魚苗ハ左ノ代價ヲ以テ拂下クルモノトス

体長一寸 壹尾ニ付金壹厘

体長一寸三分内外 壹尾ニ付金壹厘五毛

体長一寸五分以上 壹尾ニ付金貳厘

第四條 魚苗ハ終始自己ニ於テ放養スルモノニアラサレハ配付セス

第五條 鯉兒ノ配付數量ハ左ノ標準ニ依ル

一、水田壹反歩ニ付壹千尾以内

一、池沼壹反歩ニ付貳千尾以内

第六條 配付スへキ鯉兒ノ体長及數量ハ水産試驗場ニ於テ適宜制限處辨シ又ハ

全然其請求ニ應セサルコトアルヘシ

第七條 鯉兒ノ配付ハ一郡一ヶ所ヲ限り便宜ノ地点ヲ定メ水産試驗場ニ於テ運

搬スルモノトス

鯉兒養成及配附

但シ自己ノ運搬ヲ便トスルモノハ其旨請求書ニ附記スヘシ  
第八條 配付ノ通知ヲ受ケタルトキハ期日ヲ誤ラス必ス指定ノ個所ニ出頭シテ  
之レヲ受領スヘシ期日ヲ後レテ出頭スルモノニハ配付セサルコトアルヘシ  
第九條 放養スヘキ個所ハ其水田タルト池沼タルトナ間ハス之レカ脱逸ヲ防止  
スルノ設備アルヲ要ス

第十條 本規程ニヨリ魚苗ヲ請求セントスルモノハ第一号書式ニヨリ本縣水産  
試験場ニ提出スヘシ  
配付ヲ受ケタルモノハ第二号書式ニヨリ左ノ月日マテニ該場ニ報告スヘシ

一 水田ニ放養シタルモノハ其年ノ十月十五日  
一 池沼其他ニ放養シタルモノハ毎年十月十五日マテニ其大体ヲ報告シ之ヲ捕  
採シタル時書式ニヨリ詳細報告スルヲ要ス

魚苗ノ請求及報告ハ總テ所轄郡市農會ヲ經由スルモノトス  
第一号書式(用紙半紙形)

魚苗配付請求書

一 品名

- 一 放養地目
- 一 放養個所數並ニ各其面積
- 一 放養地ノ底質及附近ノ關係
- 一 脱逸防止ノ方法
- 一 請求數量

右請求候也  
年 月 日  
郡市町村  
請求者 氏 名 印

岡山縣水産試験場長宛  
第二号書式(用紙半紙形)

何魚放養試験成績報告  
郡市町村  
放養者名

一 放養年月日  
一 放養尾數

鯉兒養成及配附  
十五

- 一、放養當時ノ体量体長(拾五尾平均)
- 一、放養地目
- 一、同上底質
- 一、平均水深
- 一、投餌ノ有無種類數量用法ノ概要
- 一、採捕ノ年月日
- 一、採捕當時ノ數量
- 一、同上体長(拾五尾平均)
- 一、放養中ノ氣象概要並ニ異變ノ有無
- 一、收支經濟ノ概要
- 其他ノ必要ノ事項
- 備考
- 一、法人又ハ實業團體等ニ於テハ其法人又ハ實業團體中ニ於ケル各放養所ノ分チ取纏メ報告スヘシ
- 一、數量ハ尾數又ハ貫目等適宜記載スヘシ

四鯉兒配附郡市別表

一、必要ノ事項ニハ附近ノ關係放養中ノ出來事等參考ニ資スヘキコトハ可成詳細ニ記載スヘシ

郡市名	田池	反	別	請求數	配附數
岡山市	田池		100	100	100
御津郡	田池		134,110	131,120	132,200
赤磐郡	田池		84,000	109,180	121,180
和氣郡	田池		52,800	110,180	121,180
和氣郡	田池		110,000	82,800	122,200
久米郡	田池		183,911	121,800	111,000
久米郡	田池		68,801	121,800	111,000
上道郡	田池		185,212	122,800	112,200
島郡	田池		11,110	10,200	2,220
兒島郡	田池		11,110	10,200	2,220
都窪郡	田池		7,000	9,280	2,000

鯉兒養成及配附

淺 口 郡 田池	小 田 郡 田池	後 月 郡 田池	吉 備 郡 田池	上 房 郡 田池	川 上 郡 田池	阿 耆 郡 田池	若 田 郡 田池	勝 田 郡 田池	英 田 郡 田池	久 米 郡 田池	合 計 田池
11,000	10,000	5,700	8,000	8,000	1,000	19,000	2,100	13,000	18,000	1,000	110,000
5,200	11,000	1,500	11,000	21,000	2,000	4,000	11,000	11,000	13,000	1,000	110,000

### 親鯉養成

比年縣下ニ於ケル養魚事業ノ發展ニ伴ヒ從テ親魚ノ需要ヲ增加シ來レルヲ以テ本場  
 ハナルベク之等ノ希望者ヲ満足セシメン爲メ養池四百十六坪ヲ充用シ本年度更ニ從  
 來飼育ニ係ル三四年生体量平均二百五十匁内外ノモノ二百五十尾及形態完全ナル二  
 年兒体長七八寸体量七十匁内外ノモノ四百五十尾ヲ併養シ尙ホ將來ノ準備用トシテ  
 最モ能ク發達セル本年生体長二寸ノモノ一千尾ヲ撰ヒ特ニ保護ヲ加ヘテ養成シタリ  
 而シテ當飼育中ハ酷暑往々育水ヲ缺キ多少ノ被害ナキコアラズト雖トモ概シテ經過  
 良好ニシテ投餌ハ蠶蛹三十二貫及米麥糠十五石五斗ノ混合餌料ヲ給シ最終成長調査  
 ノ結果鯉魚三四年生ノモノハ体量平均三百五十匁内外二年生ノモノハ平均百二十匁  
 一年生ノモノハ平均五十匁許ニ達セリ  
 本年度採卵用親鯉拂下請求ハ上道一邑久一和氣一若田二勝田二英田一上房一ノ九ヶ  
 町村ニ互リ其要求尾數百四十四尾ニシテ内運搬時期ヲ失セシ二町村ヲ除キ養成魚中  
 最モ壯成シ親魚トシテ使用シ得ラルヘキ体長一尺二寸内外体量二百五十匁乃至四百  
 五十匁マテノ雌魚四十一尾雄八十三尾ヲ撰別シ能ク運搬ニ堪ヘシメンガ爲メ二三  
 日間食餌ヲ絶チ且ツ小區内即チ活洲船ニ馴養シ左記ノ通拂下ケヲ爲セリ

請求者町村名	請求數	雌	雄	摘	要
上道郡 三蟠村	五尾		二尾		
邑久郡 美和村	三尾				
和氣郡 香登村	一尾				
苦田郡 一宮村	二尾				
苦田郡 郷村	五尾				
勝田郡 北和氣村	三尾				
全郡 勝間田町	二尾				
英田郡 倉敷町	九尾				
上房郡 豊野村	一尾				
計	八尾		二尾		
運搬時期ヲ失シ拂下ケテ中止ス					

稻田養鯉

本試験ハ前年度ノ繼續事業ニシテ放養ノ鯉兒ハ二年生ナルヲ以テ稻田ハ水深三寸乃至四寸トシ插苗ハ一株十本ト定メ各株間ハ一尺二寸ノ距離ヲラシメ試験地ハ投餌地百坪無餌地百坪比較地三百坪ノ三區ニ分チ位置區域及ヒ施設ノ方法ハ大要前年度同様ニシテ七月一日插苗ヲ了シ投餌地ハ専ラ餌料ヲ給シ無餌地比較地ハ面積ニ應シ等量ノ肥料

ヲ給スルコト、シ八月一日魚苗ヲ放養シ試験ヲ開始シタリ而シテ投餌地ハ鯉兒体長七寸ノモノ八十一尾此重量四貫五百匁ヲ放養シ麥糠七斗蠶蛹粉四斗ヲ給シ無餌地ハ前者同大ノモノ二十六尾此重量一貫五百匁ヲ放チ堆肥五荷人糞八荷ヲ使用セリ  
 本試験中ハ魚苗ノ脱逸及害敵豫防ノ爲メ畦畔ヲ高クシ且ツ堅牢ナラシメ育水ノ注排口ニハ魚兒ノ集合セサル様ニ重ノ竹箆ヲ張り害敵其他驟雨ノ襲來ニ備ヘ除草及除蟲ハ數回施行セシガ育養中大雨出水二回ニ及ビ外少ノ歩減ヲ見タル外別ニ著シキ被害ヲ見ス  
 九月二十二日ノ落水期及十一月十二日ノ米収時期ニ於テ下記ノ通投餌地ハ体長九寸尾數六十五尾此重量五貫八百匁米収九斗三升無餌地ハ体長八寸三分尾數二十四尾此總量一貫八百七十二匁ニシテ米収八斗四升五合又比較地ハ米収二石四斗五升一合ニシテ前養鯉地二者ニ比較シ八斗一升七合ヲ得タル割合ナリ

支出費百坪當比較表

種類	投餌地		無餌地		比較地	
	數量	單價	數量	單價	數量	單價
堆肥						
人糞						
鯉兒	八尾	¥10.0	八尾	¥10.0	八尾	¥10.0
種						
代金		¥10.0		¥10.0		¥10.0
代金		¥10.0		¥10.0		¥10.0
代金		¥10.0		¥10.0		¥10.0
代金		¥10.0		¥10.0		¥10.0

蚕	0.900	1,100	0.400							
麥	0.800	1,000	1.000							
稻田	0.800	1,000	1.000							
養蠶	0.800	1,000	1.000							
及										
養蠶	0.800	1,000	1.000							
人夫賃										
計										

一三三

表中記載ノ人夫賃ハ本試験ノ規模狭小ナル爲メ投餌手數等實際ノ人夫ヲ現ハスト  
キハ正シキ比較ヲ知ルコト能ハサルニ依リ之等ハ從來幾多ノ試験ニ鑑ミ前年度ノ  
例ニ倣ヒ一反歩施行ノ割合ニ依リ算出セリ又養蠶地ノ人夫比較尠少ナルハ除草  
人夫ヲ節スルヲ以テナリ

収支計算百坪當比較表

地區別	収米	單價	價格	鯉魚 生産高	單價	價格	支出 金額	計金	差引 利益金
比較地	0.817	1,000	1,817				5,843	1,817	
投餌地	0.910	1,200	1,092				1,000	1,092	1,311
比較地	0.817	1,000	1,817				1,000	1,817	
無餌地	0.848	0,800	1,358					1,358	0,847

表中魚價ハ一貫壹圓ノ計算トシ米價ハ之レナ前年度ノ價格ヲ總算シテ算出ス

本試験ハ今後尙ホ大規模ニ施行シ精密ナル經濟試驗ヲ遂クルニアラサレバ大面積ニ於  
ル稻田養蠶ノ利益ヲ知悉シ難シト雖トモ本年度ノ結果ハ中途出水ノ爲メ投餌地ニ於テ  
八十一尾中十六尾ヲ無餌地ニ於テ二十五尾中二尾ヲ失シタリ又試驗方法トシテハ之レ  
ナ一年兒ノ場合ニ對照シ施肥及ヒ投餌ノ量僅少ニ失シ共ニ充分ノ成績ヲ得スト雖トモ  
尙ホ養蠶ノ利益トシテ百坪ニ付投餌地ハ壹圓參拾四錢壹厘無餌地ハ四拾九錢七厘ヲ得  
タル計算ニシテ之レナ一反歩ニ換算スルトキハ前者ハ四圓余ヲ後者ハ壹圓四拾七錢參  
厘ノ別途收入アリ而シテ之レヲ前後從來數回ノ試驗ニ鑑ミ其實收ヲ論スルトキハ本  
業ハ投餌其度ニ適シ害敵及脱逸ノ防止其宜シキヲ得ハ全ク施肥ヲ要セズ且ツ耕耘ノ費  
用ヲ節シ却テ米收ノ増額ヲ促シ優ニ一反歩ニ付五圓以上拾圓以下ノ副産ヲ得ヘク實ニ  
縣下産業上至大至重ノ事業トシテ最モ獎勵ニ値スルモノタルハ斷シテ疑ハサル所ナリ  
依テ本場ハ今後益々本事業ノ研究ヲ重メルト同時ニ汎ク縣下ノ適地ヲ選擇シテ之レカ  
指導ニ盡サント欲ス

### 鯉魚養殖試驗

本事業ハ鯉魚ノ三種ニ就キ經濟的試驗ヲ兼テ之ニ關聯セル各種ノ研究ヲ爲サソ爲メ  
養池中面積最モ廣キ二ヶ所此水面壹千貳百坪ニ於テ鯉單養鯉鯉混養ノ二途ニ分チテ

鯉鯉養殖試驗

一三三

試験シタリ而シテ右混養魚中鰻魚ハ食肉魚ニ屬シ性頗ル貪饕猛烈ナルヲ以テ他魚ヲ害スルコト甚カラス混養ノ場合ハ各放養魚ノ体長年齢等ニ鑑ミ相互ノ間毫モ侵害ノ虞ナク且ツ單混二者ノ比較ナ明瞭ナラシムヘキモノ即チ魚苗トシテ鰻、鯉ハ各自相應ノ自衛力ヲ有スル略ホ同大ノ二年兒ヲ撰ビ鰻兒ハ五匁内外ノ稚兒ヲ採用セリ又養池ハ使用前三月下旬ニ於テ池換ヘテ行ヒ能ク池底ノ殘滓物ヲ除去セシカ其儘引續キ約二週日ヲ干涸シテ日光ニ暴露シ泥中ニ殘存シ易キ鰻其他害虫ノ類ヲ驅除シ併セテ有害ナル瓦斯ノ發散ヲ促シタリ而シテ養魚ノ飼育ニ付テハ既往ノ經驗ニ鑑ミ努メテ簡單ナル方法ニヨリ勞力ヲ省キ餌料ハ主トシテ米麥糠、蠶蛹ノ動植二質ヲ併用シ餌料ノ投與量ハ專ラ水质及天候ノ如何ニ依リ隨時之レガ加減ヲ施シ只管魚体ノ成長ヲ圖リ主トシテ増肉量ト投餌量トノ關係ニ付之レカ經濟的研究ヲ積ムト同時査定試験トシテハ放養數ト成長度ノ關係單混養法ノ差違並ニ得失ノ如何等ノ研究事項ヲ併セ繼續事業トシテ左記ノ通施行セリ

一飼育池ノ構造

養魚池ハ海岸ニ額セル粘土質ノ地層ニテ地塘ハ出水ニ堪ヘ得ベキ高四尺堤上幅員三尺傾斜一割勾配ヲ有スル土堤ニシテ土留板ヲ施セルモノト然ラザルモノトアリ

リ各地ノ面積ハ單養五百六十坪混養六百四十坪ヲ有シ注排水口ハ各一個ヲ具ヘ水深約四尺トス水源地上流數十町ノ溜地ニシテ幾多ノ耕地ヲ迂回シテ一度本場ノ貯水池ニ入リタルモノヲ養池ニ引ケリ其水质ハ褐色ヲ呈シ多少ノ肥料分ヲ含有セル軟水ニシテ温水性魚類ニハ尤モ適當ナリトス

種別	水深	坪數
單養池	五尺	五六〇
混養池	五尺	五六〇

鰻放養ノ目的ニシテ地塘ハ土堤トス  
鯉、鰻混養ノ目的ニシテ地塘ハ土留板ヲ有ス

二飼育ヲ始メタル月日及放養魚ノ大サ并ニ尾數

鰻、鯉ノ二種 四月七日ニ於テ鰻兒ハ 六月十八日 流シタリ

放養魚一覽表

養池	坪數	魚名	放		養		摘	要
			体長	尾數	体長	尾數		
單養池	五六〇	鰻	七八 分平均	三三 尾平均	八〇 尾	一、〇〇〇 尾	體長ハ十五尾平均トシ体量ハ總重量ニ比例シテ記入ス	上
混養池	五六〇	鰻、鯉	七八 分平均	三三 尾平均	九〇 尾	二、八〇〇 尾	體長ハ十五尾平均トシ体量ハ總重量ニ比例シテ記入ス	上
					一〇〇 尾	一、〇〇〇 尾		上

鰻、鯉混養試驗

三 餌料給餌法並ニ數量

餌料ハ蠶蛹米麥糠ノ煮熟シタル混合物ニシテ毎朝一回投餌スルモノトス而シテ別ニ混養池ニ於テハ鰻兒ノ補足餌料トシテ特殊ニ食餌セシメシメ爲メ同魚ノ自由ニ出入シ得ヘキ粗目ノ竹箆ヲ以テ池底ヨリ之レヲ水面上ニ建設シテ面積一坪ツ、ノモノニケ所ヲ區劃シ爰ニ蠶蛹ノ外少許ノ雜魚ヲ投與シテ鰻魚ノ餌料ニ供シタリ而シテ本年度投餌ハ四月八日ヨリ十月三十一日マテノ間ニ於テ米麥糠九十石八斗蠶蛹百三十七貫五百匁雜魚八斗五升ヲ給シタリ尙飼育中夏期育水供給ノ充分ナラサル場合ハ全ク餌料ヲ廢センコト旬日ニ及ヘリ然レバ投餌ハ專ラ育水ノ變化ニ注意シ絶エス其量ヲ加減セリ

單養池投餌量表

月別	米	麥	糠	蠶	蛹
七月			17,760		11,130
六月			11,820		8,100
五月			17,800		11,700
四月			17,800		11,700
計			64,180		42,630

混養池投餌量

月別	米	麥	糠	蠶	蛹	雜	魚
八月			11,100		11,100		
七月			11,100		11,100		
六月			11,100		11,100		
五月			11,100		11,100		
四月			11,100		11,100		
計			55,500		55,500		

四 成長度ト生産量

今單養混養ノ成長程度ヲ表示スレバ左ノ如シ

鰻鰻養殖試驗

月別	米	麥	糠	蠶	蛹	雜	魚
八月			11,100		11,100		
七月			11,100		11,100		
六月			11,100		11,100		
五月			11,100		11,100		
四月			11,100		11,100		
計			55,500		55,500		



單養池成長調査表

魚種	種目	月日	
		放養時	調査時
鰯	増肉量	四月七日	四月三十日
		五月十三日	五月三十日
		六月十三日	六月三十日
		七月十三日	七月三十日
		八月十三日	八月三十日
		九月十三日	九月三十日
	体長	四月七日	四月三十日
		五月十三日	五月三十日
		六月十三日	六月三十日
		七月十三日	七月三十日
		八月十三日	八月三十日
		九月十三日	九月三十日

混養池成長調査表

魚種	種目	月日		
		放養時	調査時	
鰯	増肉量	四月三日	四月三十日	
		五月十三日	五月三十日	
		六月十三日	六月三十日	
		七月十三日	七月三十日	
		八月十三日	八月三十日	
		九月十三日	九月三十日	
	体長	四月三日	四月三十日	
		五月十三日	五月三十日	
		六月十三日	六月三十日	
		七月十三日	七月三十日	
		八月十三日	八月三十日	
		九月十三日	九月三十日	
	鰹	増肉量	四月三日	四月三十日
			五月十三日	五月三十日
			六月十三日	六月三十日
			七月十三日	七月三十日
			八月十三日	八月三十日
			九月十三日	九月三十日
体長	四月三日	四月三十日		
	五月十三日	五月三十日		
	六月十三日	六月三十日		
	七月十三日	七月三十日		
	八月十三日	八月三十日		
	九月十三日	九月三十日		

備考

四十一年二月十五日ヨリ三月五日ノ間ニ於テ池水ヲ乾涸シ捕魚調査ヲ了セシカ鰯單養池ニ於テハ全部ヲ漁獲シ魚數九步減ニ相當シ壹千貳百八拾尾重量壹百九貫一尾平均体量八十五匁強ニシテ一坪當ノ生産ハ百九十五匁内外トス又混養池ハ其幾部分ヲ採捕セシヲ以テ全体ノ成績ハ不明ニ属スレモ仮リニ其漁獲部分ニ就テ査察セシニ鰯六百二十尾此重量六十貫ヲ鰹百三十八尾重量二十貫ヲ得タリ而メ各一尾ノ平均体量ハ前者ハ九十六匁後者ハ百四十五匁ノ割合トス

五收支經濟並ニ増肉量ト投餌量ノ比例

全体ノ收支經濟并ニ各種ノ研究事項ハ試験ニ一段落ヲ告ケタル后ニアラサレバ明確ヲ得ズト雖今本年度ニ於ケル實績ニ據リテ其一斑ヲ述シニ其増肉量ト投餌量ノ比例ハ單養池ニ於テ生産量一坪當リ百八十五匁ニシテ全面積ニ對シ百九貫ノ所得トス而メ其生産額中ヨリ當初ノ放養量四十四貫八百匁ヲ控除スル時ハ新規ノ所得タルヘキ魚肉六十貫二百匁ヲ得ベシ所謂此増肉量ハ米麥糠三十五石六斗及ヒ蠶蛹四十三貫ヲ以テ購ヒタル生産ニ外ナラズ又一坪當リノ計算ハ百十五匁ニシテ米麥糠六升三合蠶蛹七十六匁ニ相當セリ今此比例ニ依ル時ハ成肉量一貫目ニ對シ米麥糠五斗五升四合一及蠶蛹六百

鰯鰹養殖試験

六十九匁四七ヲ要スル割合ナリ左レハ叙上ノ標準ニ則リ混養池ヲ律シ仮リニ蠶蛹一石ヲ十六貫ト見做シ營養率ヲ精糠一蠶蛹四ノ割合トナシ其生産ヲ算出スル時ハ米麥糠五十五石蠶蛹九十四貫ニ對シ成肉量百九貫匁ニシテ一坪當リ貳百七十匁ニ相當セリ尙收支ノ經濟ニ就テハ養池ノ規模狹小ニ失シ且ツ小數ノ池區ニ於テ幾多ノ事業ヲ試ミ元來養魚ノ技術ニ關スル研究ト生産量ト原料トノ歩合關係ヲ標榜トシタルモノニシテ單ニ收支ノ經濟ヲ目的トシタルモノニアラサレハ直チニ移シテ當業者ノ經營ニ適合セシメ難キノ嫌アルモ試ニ池中養魚收支ノ一例トシテ鰯單養池ニ於ケル實例ヲ左ニ擧グ

一金壹百貳拾五圓參拾五錢	收	入	金
但シ三才鰯壹百九貫拂下ケ代金			
壹貫ニ付金壹圓拾五錢			
一金九拾貳圓拾八錢四厘	支	出	金
內 譯			
金拾貳圓九拾錢			蠶蛹四十三貫
			十貫ニ付參圓替
金參拾五圓六拾錢			米麥糠三十五石六斗

金七圓七拾錢

一石ニ付壹圓替

石炭一千五百四十斤

百斤ニ付五拾錢

金貳拾五圓九拾八錢

鰯種魚代

但シ二才兒四十四貫八百匁見積額

一貫ニ付五拾八錢(掛下價格ニ據ル)

金九圓

臨時人夫二十人雇上賃日給四拾五錢

但シ池換捕魚ノ場合臨時所要ノ人夫トス人夫賃ノ比較的多キハ造池ノ構造

ニ據ル

差引收入金參拾參圓拾六錢六厘

蓋シ支出金中投餌其他ノ保護ニ要スル常要人夫賃ノ記載ナキハ一般場用ヲ兼テ養魚ニ從事セシメタル人夫一名ヲ置キ以テ相互ノ所要ヲ辨セシメタリシヲ以テ其區別明瞭ナラス殊ニ養魚事業ニアリテハ試驗ノ作業數種ニ分レ共通使用セルヲ以テ分類スルコト難ク強テ之レヲ擧ケント欲セバ却テ世ノ誤解ヲ招ク恐レアルニヨリ特ニ之レヲ省畧セリ故ニ真正ノ利益ヲ示サンニハ常用人夫賃ノ外器具損料地代ヲ控除シ其収

鰯種養殖試驗

入ヲ現ハザルヘカラス

今叙上ノ成績ニ準シ試ミニ自營シ得ヘキ個人營業ニ鑑ミ試ミニ利益ノ割合ヲ擧ゲント欲セバ下記ノ理由ニ依リ本養池ニ對シ約拾五圓内外ノ收入ヲ得ヘシ

一、商品賣却ニ當リテハ商機ヲ失スルノ虞ナク取引上頗ル簡ニシテ官衙ノ拂下價格ニ比シ優ニ百分ノ五乃至十ノ値上ケハ唯々タルコトニ屬ス

二、需用品購入ノ場合モ亦書類調製ノ必要ナク比較的手數ヲ要セサルニ依リ多少ノ減價ヲナシ得ラルルハ勿論ナリ

三、養魚常用人夫ハ池面一萬坪ニ對シ二人内外ノ割合ヲ普通トス故ニ五百六十坪ニ對シ五十人乃至六十人ニテ足ル又臨時人夫ハ排水ニ對シテハ普通人夫ヲ要スルコトナキヲ以テ五百六十坪ニ對スル捕魚人夫ハ僅々四五人ニテ可ナリ

四、器具損料ハ投網一、撒網二、活船二、運搬桶二其他ハ餌料ノ取扱器具等ニシテ價格四五拾圓ニテ足ル故ニ其一割ヲ見積ルモ四五圓ニ過キサレヘシ

五、養魚池ノ維持費ハ一反歩ニ付キ金五圓乃至拾圓ヲ普通トス

### 鰻 兒 移 殖

本事業ハ從來ノ繼續事業ニシテ魚苗ハ富饒ナル兒島灣ニ求メ縣下ノ山間部其他ノ淡水

區域ニ於テ其生産ノ稀薄ナル適地ニ放流シテ其増殖ヲ計ルノ目的ヲ以テ十月五日ヨリ十日ノ間ニ於テ鰻兒体長平均五寸内外ノモノ五十八貫ヲ購入シ和氣郡香登村大ケ池及後月郡西江原村明治池ニ十六貫ツ、ヲ運搬放流シ他ハ養魚事業獎勵ノ爲メ上道郡三赤磐郡一淺口郡一川上郡一ノ六ヶ所ニ對シ之ヲ配附シタリ

### 鯉 移 殖 試 驗

本試驗ハ兒島郡呼松灣ニ於テ昨三十九年九月鯉稚介三十石七斗一升ヲ兒島灣ヨリ移殖シタルモノニ係リ其大部分ハ一坪ニ對スル三升蒔ノ割合ヲ以テ二千二百五十九坪ニ撒布シ尙ホ別ニ一坪ノ蒔付ニ對スル成長率ヲ比較センカ爲ニ一坪ツ、九區域ヲ設ケ其一區域毎ニ種介最少一升ヨリ順次九升ニ至ルノ各種ヲ撒布シタリ  
當初本年ハ悉皆採收シテ製造ヲ加ヒ全体ノ收支ヲ明ニシテ試驗ヲ完了スルノ豫期ナリシモ成長稍遅緩ニシテ本年八月一日調査ニ於テ殼長平均二寸二分巾七分五厘重サ三匁五分内外ニ過ギスシテ製造ニハ稍小形ニ屬スルノ感アルト又一面生殖素ノ發育十分ニシテ仮リニ本年ノ産卵ヲ了ヘシメ其蕃殖力ヲ併セテ試驗スルノ必要ヲ認メタルヲ以テ之ヲ採收ヲ止メ次年ニ繼續シテ成績ノ完結ヲ期セリ  
又蒔付量比較試驗ハ其面積狹小ニ失シ之カ結果モ從テ確信ヲ措キ難キノ恐アルモ今本

鰻兒移殖

鯉移殖試驗

年ノ事實ヲ舉クレバ六升蒔以上ハ生長充分ナラズ收支上不得策ナルヲ示シ又一升蒔ヨリ五升蒔ニ至ルノ間モ區々チ免レザルモ概シテ四升乃至五升ノ間チ其適度ト認ム今左ニ各區成育ノ成績ヲ表示ス

蒔付數量	採收數量	長	巾	重量
一 升蒔	三 升一合	二、二五	〇、八〇	三、五〇
二 升蒔	五 升二合	二、一〇	〇、八〇	三、一〇
三 升蒔	六 升五合	二、〇〇	〇、八〇	三、〇〇
四 升蒔	八 升	二、一一	〇、八〇	三、〇〇
五 升蒔	九 升貳合	二、〇〇	〇、八〇	二、五〇
六 升蒔	八 升八合	二、〇〇	〇、八〇	二、五〇
七 升蒔	八 升貳合	一、八〇	〇、八〇	二、〇八
八 升蒔	九 升	一、八〇	〇、八〇	二、〇八
九 升蒔	九 升五合	一、八〇	〇、八〇	二、〇八

海苔移植及製造試驗

去三十七年以來上道郡地先海面ニ於テ繼續施設セル海苔養殖及製造試驗ハ既ニ技術上ノ試驗ハ勿論經濟上ノ得失ニ至ル迄之ヲ結了シ其成績ニ鑑ミ優ニ地方ノ營利事業トス

ルニ至リシヲ以テ茲ニ本年度ハ更ニ一步ヲ進メ從來未ダ嘗テ海苔ノ附着發生ヲ認メサル縣下淺口郡連島村宇龜島新田沖合ニ新ニ地區ヲトシ前記試驗地ニ於テ附着セシメタル海苔蒔ヲ移植シ其生育ヲ計リ之ガ製造ヲ行フト同時ニ自然ニ胞子ヲ其附近ニ散布セシメ漸次之ガ増殖ヲ圖ルノ目的ヲ以テ本試驗ヲ施設スルコトセリ本年ノ移植地ナル淺口郡連島村沿岸ハ南方水島灘ニ面スル一帯ノ干潟ニシテ淡水ハ東西高梁川ヨリ大小數條ノ滲ニ分派シテ注入シ比重ハ滲筋ト其以外多少ノ差違アルモ概シテ冬季ハ一、〇一五ヨリ一、二〇ノ間チ昇降ス干満ノ差ハ著シク其沿岸ニアリテハ小潮時ニアリテモ三四時間地底ヲ露出ス試驗地ハ距岸約三十町ノ沖合ニ在テ干潮時ニアリテ一ヶ月中僅ニ五六日ヲ除ク外大底地底ヲ露出ス之ヲ採苗場即チ上道郡地先ニ比スレバ風波ノ強烈ナルト鹹度少シク高キノ差アリ以下移植ノ順序及方法ヲ述ブヘシ

築材料ハ女竹三千百本ヲ十月七日ヨリ全九日ニ至ルノ間ニ粗朶千五百本ヲ全月十九日二十日ノ兩日ニ建設セリ幼芽ノ附着ヲ認メシハ竹蒔ニ在テハ十一月二十八日粗朶蒔ニ在リテハ十二月二日ニシテ爾後漸次増加シテ十二月十日ニ至リ竹蒔一本ニ二十葉ノ着生ヲ算セリ爾來氣候寒冷ニ過キシ爲カ聊カ遲緩ノ傾アリキ然シテ四十一年一月九日先ヅ粗朶蒔四百十八株七百五十本ヲ採取リ直チニ移植試驗地ニ運搬シ全月十三日新ニ建設

海苔移植及製造試驗

ナ了レリ當時海苔ノ大サ最大ナルモノニシテ長三寸内外巾二三分小ナルモノハ六七分ニ過キス平均一寸二三分大ノモノヲ着生セリ如上運搬ハ船便ヲ藉リシヲ以テ生憎風波ノ爲ニ四日間ヲ空費セルモ海苔ハ枯死スルニ至ラズ再建設後發育旺盛ニシテ長五寸巾三寸内外ニ成長シ正ニ製造ニ適當セシガ當時連吹セル西北風ノ爲ニ葉片切斷ノ災ヲ被リ爲ニ極テ少量ヲ摘採シテ抄製ヲ試ミシニ過ギザリキ然シテ本季ノ實驗ニ照シテ冬季ノ西北風ガ當地方ノ海苔養殖上ニ於ケル關係ヲ明ニセシヲ以テ次年ニ於テハ移植區域ヲ撰定スルニ際シ出來得ル限リ風波ヲ避ケ得ベキ地点ニ改ムルノ必要ヲ認メタリ以上ノ移植殘ニ係ル採苗地ノ筈ハ其地方ニ於テ民業ノ勃興ニ伴ヒ技術者養成ノ必要ヲ認メ之カ傳習材料トシテ其儘採苗地ニ存留シ附着後約六十日目即チ一月二十六日ニ至リ初摘ヲ行ヘリ其當時一日摘採量五六貫目ニシテ漸次増加シ二月十五日前後十日間ハ最盛期ニシテ毎日十八貫内外ヲ摘採シ三月二十七日終了迄全量三百三十八貫目ヲ採收セリ而シテ二月中旬ノ最盛期間ニ於テハ尙多數ヲ摘採スルニ足リシモ一日十八貫目以上處理ノ準備ニ乏シカリシ爲メ已テ得ス之ニ止メタリ殊ニ其摘採期ヲ逸シ益成長セルモノハ葉端變色老熟シテ遂ニ流失スルモノ多數ニ及ベリ要スルニ之ヲ昨年ニ比較スレバ幼芽附着ハ三日乃至四日早カリシモ爾後ノ生長遲緩ニシテ初摘ニ於テ八十日ヲ遅レ盛期

モ從テ約十日ヲ遅レタリ爲ニ色澤ニ於テハ多少劣レルノ憾アリ然レトモ附着ノ數量ニ至リテハ試驗着手以來年々増加シ本年ハ實ニ稀有ノ盛況ヲ呈シ若シ製造準備充分ニシテ盛期十分ニ摘採シ且ツ三月二十七日以降猶摘採ヲ繼續セシハ其倍量ヲ得シテ敢テ困難ニアラサリシハ確ク信シテ疑ハサル處ナリ之ヲ要スルニ本郡沿海ハ天然ニ其種子ヲ存セシハ勿論ナルモ數年試驗ノ結果トシテ胞子ノ繁殖漸次増加シ年々ノ發生量ヲ増大セシニ外ナラズ故ニ今後民業ノ發展ニ伴ヒ非常ノ天災等ニ逢遭セザル限リハ前數年ノ經驗ニ照シテ前途ヲトスルニ足ルベシ

製造試驗ハ前記ノ養殖試驗ニ伴ヒ且傍ラ技術者養成ノ目的ヲ兼テ施行セルモノニシテ製造場ヲ兒島郡甲浦村大字飽浦ニ設ケ製造方法ハ前年ニ同シク總テ東京地方ノ方法ニ則リ明治四十一年一月二十三日製造準備ニ着手シ全二十六日開始三月二十七日終了セリ其間天候其他ノ爲メ休業日數ヲ減シ作業日數四十八日間ニ於テ製造數量ハ水切重量三百十八貫ヲ以テ小版三千二百枚大版一萬八千六百枚ヲ製出シ前年同様大坂岡山ノ二ヶ所ニ販賣ヲ托シ大坂一帖大坂ニテ六錢四厘岡山ニテ八錢ノ相場ヲ得タリ

### 牡蠣養殖試驗

本年度ニ於ル牡蠣養殖ハ前年度ニ繼續シ和氣郡片上町大字西片上地先及小田郡金浦町

牡蠣養殖試驗

大字生江濱地先ノ両所ニ於テ施設セリ其成蹟ヲ各別ニ掲ゲレハ左ノ如シ

生江濱養蠶試驗

本試驗ハ昨年記述ト同一區域ニ於テ元來ニケ年チ一期トシテ經營スルノ方針ヲ以テ施設セルモノニシテ昨年ニ於テ竹松粗朶三種ノ築ヲ建植セシニ蠶苗ノ附着ハ稀有ノ好成蹟ヲ示シ生長モ亦速カニシテ採苗所トシテハ優良ノ場所タルヲ明ニセシヲ以テ本年ハ更ニ進テ新ニ養成場(蔭付場)ヲ設ケテ之カ位置及蔭付時季ノ適否ヲ查察セリ其區域ハ築立場ノ沖合ニ接續シ東西三十間南北百間ノ間ニ於テ底質軟泥トス其蔭付ハ六月九月ノ二季ニ行ヒ六月ニ於テハ着生牡蠣自己ノ重量ノ加ハルニ從ヒ自然ニ剝離シタルモノヲ採取シ九月ニ於テハ其後剝落セルモノ及糞ニ附着セルモノヲ剝脱シ前後共ニ一坪約三斗ノ割ヲ以テ撒付セリ蔭付後ハ毎月二回四目録ヲ以テ抓攪シ蔭付ノ厚薄ヲ平均シ且ツ上下ヲ轉倒シテ以テ可及的ニ生長ノ均一ヲ力メタリ今二者生長度ノ比較ヲ示セバ次ノ如シ

月 日	六月 蔭付ノモ厚ノ		九月 蔭付ノモ厚ノ	
	長	巾	長	巾
三月十七日	1.5寸	1.0寸	1.5寸	1.0寸
六月二十日	1.5寸	1.0寸	1.5寸	1.0寸

月 日	九月十日		十月廿七日	
	長	巾	長	巾
九月十日	1.1寸	1.1寸	1.1寸	1.1寸
十月廿七日	1.1寸	1.1寸	1.1寸	1.1寸

以上測定表ニヨリ六月蔭付ノモノ生長力多大ナルヲ明ニセリト雖トモ該試驗地附近一體ニ地底軟泥ニシテ浮泥多ク牡蠣床トシテハ聊カ軟柔ニ過キ六月蔭付ノモノハ厚蔭ノ下部ニアルモノハ窒息斃死スルモノヲ生シ且ツ二百日前後暴風雨ノ際泥土ヲ被リ斃死セルモノアリテ取揚ノ際約三割ノ死骸ヲ出セリ之ニ反シ九月蔭付ノモノハ暴風雨ニ遭遇スルコトナク自然死介ヲ出スコト少カリシヲ以テ取揚ノ際ハ殆ト全一ノ結果ヲ示シ籠一杯(約一斗)ノ介ヨリ約七分合内外ノ剝身ヲ得タリ從テ一見撒付時季ノ遅速ハ大ナル利害ナキニ似タルモ退テ考フルニ六月蔭付ト雖トモ常ニ注意ヲ怠ラス之ヲ抓攪シ殊ニ暴風雨後ニ於テハ一層此点ニ力メ其窒息斃死ノ患ヲ減少シ得ベキハ他地方ノ實例少カラザルヲ以テ結局方法宜シキヲ得ルニ於テハ撒付ハ六月ニ於テスルノ利益アルヲ認メタリ材料ノ優劣ニ就テハ建設位置ト材料ノ良否枝條ノ多寡ニ由リ差違アリテ一回ノ試驗ノミニテハ確實ヲ欠クノ恐アルモ本年試驗ノ結果ニヨレバ蠶苗ノ附着ハ竹筴ニ於テ最も多キモ其材料ノ價格ト對比スル時ハ最も低廉ナル粗朶築ノ全体ニ多量ナルヲ測定セリ然トモ更ニ次年ニ亘リテ比較スル時ハ粗朶ハ年々更新

牡蠣養殖試驗

ヲ要シ竹ハ尙ホ前年ノ儘ニ保存シ得ベキヲ以テ結局竹材ノ優良ナルモノナルヲ示セリ更ニ各種別ニ其成績ヲ示セバ

一 附着數ハ平均一株當リ竹筵ニ於テ七升松筵ニ於テ六升四合粗朶筵ニ於テ六升ヲ得タリ

二 保存力ハ竹筵ハ二ケ年間松及粗朶筵ハ一ケ年間蓋シ後者ハ海虫ノ蝕害ニ依リ挫折シ易キヲ以テナリ

三 剝離ハ竹筵ニ在ツテハ牡蛎ノ生長スルニ從ヒ剝落スルモノ最モ多ク六月迄ニハ約七割ヲ剝落ス之ニ次テハ松筵ニシテ其樹皮ノ剝離スルカ爲ナリ

片上灣牡蛎試驗

本試驗モ亦昨三十九年度ノ創設ニ係リ前年採苗試驗ヲ行ヒシ結果其附着及生長ハ共ニ稍良好ノ成績ヲ示シ前年三月十五日測定ノ際平均殼長一寸五分巾一寸ノモノ七月十五日ニ至リ殼長二寸五分巾一寸二分重量十匁内外ニ増加シ自己ノ重量ニヨリ筵ヨリ剝落スルモノ漸次増加スルニ至リシヲ以テ本年度ニ於テ二十日後ニ之カ附付ヲ行ヒ成育試驗ヲ施スノ目的ヲ以テ進行シ來リシカ八月一日ヨリ全月五日ニ至ル間海水變色シ全灣ノ魚介一朝ニシテ斃死ノ慘狀ヲ來シ本場牡蛎又此災ヲ免レザリキ其被

害ノ狀況ニ就テハ場員出張調査ノ際ハ漸ク回復期ニ向ヒシヲ以テ詳密ナル實查ノ便ヲ欠キシモ監守人其他漁業者ノ實見談等ヲ綜合センニ八月一日頃ヨリ海水紫褐色ヲ呈シ日一日其色ヲ増シ四五日ニ至リテ海水殆ント暗褐色ニ變シ一種不快ノ臭氣ヲ發スルニ至リ沿岸棲息ノ介類漸時又斃死スルニ至リはせノ如キ斃死シテ水面ニ浮上シいなハ既ニ逃避シテ隻影ヲ止メザリキ越テ八月六七日ニ亘リ稀有ノ大降雨ニ逢ヒ陸地ヨリ排出スル淡水ノ劇増ニ伴ヒ臭氣止ミ水色又舊ニ復スルニ至レリ變色ノ區域ニ至リテハ精確ニ區分シ難キモ同地ヨリ僅ニ一里弱ヲ距ル稍灣口ニ近キ穂浪沿岸ニ於テハ其害ナカリシト云フニ於テハ被害ハ畧片上灣内ノミニ限ラレタルモノ、如シ以上ノ事實ニヨリ考察スルニ此現象ハ前年志摩英虞灣又ハ廣島縣下養蠟地ニ發生シ眞珠又ハ牡蠣ヲ死滅セシメ又昨年夏季東京灣又ハ木更津沖ニ發生シ魚介ヲ斃死セシメタル俗ニ所謂苦潮又ハ赤潮ト稱スルモノ、發生セシモノナルベシ元來此赤潮ナルモノハ古來ヨリ夏秋ノ候處々ニ發生セシモノ、如キモ之ガ研究ニ手ヲ着ケタルハ近年ノ事ニ係リ從テ其原因等モ未タ明ナラス唯此現象ハ微生物ノ發生集合ニ因ルノ一事ハ近時學說ノ稍一致スル處ノ如シ然シテ本年本試驗地牡蛎被害ノ現象ニ就テハ微生物ノ多數集合セシカ否ヤ確言シ難シト雖トモ其或一定ノ風向等ニ依リ微生物ガ漸次

一方ニ集合シ即チ灣底ノ片上灣ニ於テ其集合ノ最濃密ヲ來セシハ疑チ容レザル處ナリ即チ當時觀測セシ氣象表ヲ閱スルニ七月以來風向南位陸ニ向テ吹ク風ノ最多ナリシハ即チ其推定ノ稍據ル所アルヲ信ズ尙別ニ此風位ノ爲ニ灣内ニ排水スル淡水ノ停滞ヲ來タシ之カ爲ニ微細生物ノ急ニ斃死ヲ來セシトノ一説アレドモ次表ニ照スモ比重ハ漸次重キヲ加ヘタルニ見レバ其理由甚疑フベシ茲ニ後日參考ノ爲メ觀測日誌ヲ揭記ス

觀測日誌

月日	天候	風向	風力	氣温	水温	比重
七月一日	曇	東南	和	22.0	22.0	1.0120
二日	雨	東南	和	22.0	22.0	1.0120
三日	快晴	西南	疾	22.0	22.0	1.0120
四日	快晴	西南	和	22.0	22.0	1.0120
五日	快晴	東南	和	22.0	22.0	1.0120
六日	晴	東南	和	22.0	22.0	1.0120
七日	雨	東南	和	22.0	22.0	1.0120
八日	晴	東南	軟	22.0	22.0	1.0120

牡蠣養殖試験

全日	全日	全日	全日	全日	全日	全日	全日	全日	全日	全日	全日	全日	全日	全日	全日	全日	全日	全日	全日	全日	
廿七日	廿六日	廿五日	廿四日	廿三日	廿二日	廿一日	二十日	十九日	十八日	十七日	十六日	十五日	十四日	十三日	十二日	十一日	十日	九日	八日	七日	
快晴	快晴	快晴	快晴	快晴	快晴	快晴	快晴	曇	快晴	快晴	快晴	曇	曇	和	快晴	曇	雨	曇	曇	曇	
西南	西南	西南	西南	西南	西南	西南	西南	北東	北東	北東	北東	北東	北東	西南	西南	西南	西南	西南	西南	西南	
和	軟	軟	和	和	和	軟	和	疾	疾	和	和	和	軟	軟	和	和	軟	和	軟	和	
22.5	22.0	22.2	22.0	22.5	22.2	22.2	22.5	22.0	22.0	22.5	22.5	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0
22.0	22.0	22.0	22.5	22.5	22.5	22.5	22.5	22.5	22.5	22.5	22.5	22.5	22.5	22.5	22.5	22.5	22.5	22.5	22.5	22.5	22.5
1.0110	1.0120	1.0120	1.0120	1.0120	1.0120	1.0120	1.0120	1.0120	1.0120	1.0120	1.0120	1.0120	1.0120	1.0120	1.0120	1.0120	1.0120	1.0120	1.0120	1.0120	1.0120



平	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
均	三十日	廿九日	廿八日	廿七日	廿六日	廿五日	廿四日	廿三日	廿二日	廿一日	二十日	十九日	十八日	十七日	十六日	十五日
快	快	快	快	快	快	快	快	快	快	快	快	快	快	快	快	快
晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	雨	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴
南	北	西	西	西	南	南	東	東	東	東	東	東	東	東	西	北
	南	南	南	南	南	南	北	南	南	南	南	南	南	南	南	南
	軟	軟	和	和	軟	和	和	疾	疾	疾	和	和	和	和	和	和
	二八・六	二九・六	二八・八	二七・七	二六・〇	二五・五	二四・〇	二三・七	二三・〇	二二・五	二一・七	二一・〇	二〇・五	一九・八	一九・〇	一八・五
	二二・一	二二・五	二二・〇	二一・八	二一・七	二一・五	二一・〇	二〇・五	二〇・〇	一九・五	一九・二	一九・一	一九・〇	一八・五	一八・〇	一七・五
	一〇・一	一〇・一	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇

全	全	全	全	八	全	全	全	全	全	全	全	全	八	平	全	全	全	全
十	十	十	十	月	九	八	七	六	五	四	三	二	一	卅	卅	卅	卅	卅
四	三	二	一	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	均	日	日	日	日
快	快	快	快	快	快	快	快	快	快	快	快	快	快	快	快	快	快	快
晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	雨	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	曇	晴
東	西	西	西	南	南	南	西	西	西	西	西	西	南	南	南	西	東	西
南	南	南	南	東	東	東	東	東	東	東	東	東	南	南	南	南	南	南
和	和	和	軟	軟	和	和	和	和	和	軟	和	和	和	和	軟	和	和	和
二九・五	二八・五	二八・五	二九・五	二九・〇	二八・五	二八・五	二八・五	二八・五	二八・五	二八・五	二八・五	二八・五	二八・五	二八・五	二八・五	二八・五	二八・五	二八・五
二〇・〇	二〇・〇	二〇・〇	二〇・〇	二〇・〇	二〇・〇	二〇・〇	二〇・〇	二〇・〇	二〇・〇	二〇・〇	二〇・〇	二〇・〇	二〇・〇	二〇・〇	二〇・〇	二〇・〇	二〇・〇	二〇・〇
一〇・一	一〇・一	一〇・一	一〇・一	一〇・一	一〇・一	一〇・一	一〇・一	一〇・一	一〇・一	一〇・一	一〇・一	一〇・一	一〇・一	一〇・一	一〇・一	一〇・一	一〇・一	一〇・一

如上ノ災害ニ逢ヒ養殖牡蠣ノ入分ハ斃死ヲ免レズ爲ニ本年度試験ハ一朝水泡ニ歸シ更ニ次年度ニ於テ新ニ同一ノ方法ヲ施設スルノ已ムナキニ至リシハ遺憾ニ堪ヘザル所トス尙ホ如上ノ被害ガ果シテ連年頻發スルガ如キアラハ畢竟本事業ノ前途ニ向テ危慮少カラザルヲ以テ特ニ其前例ヲ取調ベシガ本年度ノ如キ被害ハ距今十數年前ニ一回之レアリ更ニ以前ニ溯レバ茫トシテ不明ニ屬スルアリ是等ノ点ヨリ推察スルニ極メテ稀有ノ事實ナルハ疑フベカラズシテ爲ニ將來ニ於テ本事業ノ興否ニ影響ヲ及ボスノ虞ハナキモノト認メタリ

### 漁具保存試験

本試験ハ前年度ヨリ繼續セルエキス染料試験ニシテ其目的及方法ニ付テハ既ニ前報告ニ於テ記述シタリ然ルニ漁期ノ都合ニヨリ未タ其成績ヲ審ニスルコト能ハサリシガ今回實地使用試験ノ結果ヲ觀ルニ至リタルヲ以テ左ニ其概況ヲ陳述センニ何レモ其方法ノ簡易ニシテ輕便且ツ勞力ヲ要スルコト尠ナク加之ナラズ燃料ヲ要セサル点ニ於テ頗ル當業者ノ歡迎スル所トナリ忽ニシテ縣下各漁村ニ於テ使用セサルモノナキニ至リタリ然レトモ間々舊習ヲ固執シテ從來ノ木皮染法ヲ行フモノアリト雖モ夏季炎熱ノ候ニ至リテハ何レモエキス染法ニ由ルノ輕便ナルコトヲ悟ルニ至レルモノノ如シ要スルニ

之レヲ實地使用試験ノ成績ニ徵スレバ網ノ絲質ニ於テ稍ヤ保存ニ差異アルモノヲ觀ル抑本縣下ニ行ハル、網糸ニ屬スルモノハ概シテ二種ニ大別シ更ニ之レヲ細別スレバ一麻絲二綿絲三瓦斯絲四藤布絲ノ四種類トナスヲ得可シ然ルニ是等ノ内エキス染法ノ最モ適當ト認ムルモノハ綿絲及瓦斯絲ニシテ之レニ續クテ藤布絲トナシ麻絲最モ劣レリ然レドモ其染付色澤ニ於テハ何レモ優劣ヲ認メズ但其使用後ニ於テ色澤ノ落脱シ易キハ麻絲網ニ於テ之レヲ觀ルハ爭ハレ難キ所ナリトス元ヨリ染法ノ何種ナルニ係ラズ絲質ノ「ア」撥ヲ充分ニナスコト極メテ肝要事ニシテ特ニ麻絲ノ如キハ綿絲ニ比シ纖維硬質ナレハ一層ノ「ア」撥キニ注意ヲ要スルト同時ニ充分乾燥ヲナシ染付回数ヲ增加スルニ至レハ前記ノ缺点ノ幾分ヲ除去スルニ足ル可シ又別法トシテ現ニ行ハレ居ル方法ハ木皮及エキス染法ノ二様ヲ混用シテ執行スルモノアリ以上陳述シタル如ク今ヤ事實上縣下ニ涉リテ一般之レカ使用ヲ觀ルニ至リタレバ今後更ニ之レヲ繼續施行スルノ必要ナク本年度ヲ以テ全ク漁具保存ノ試験ヲ結了セリ

## 調査之部

### 遠洋漁場探檢調査

漁具保存試験

遠洋漁場探檢調査

本年度ハ主トシテ清韓沿海ノ太刀魚漁業試験ノ目的ヲ以テ漁夫漁船漁具等ノ設備ハ前年度ノ如ク民間漁業者ト契約シテ之ヲ提供セシメ本場漁撈主任技手ヲ監督トシテ之ニ乗込マシメ四月中旬ヨリ九月中旬ニ至ルノ間韓國忠清黃海京畿及清國關東州方面ニ於テ之ガ試験調査ニ從事セシメタリ元來太刀魚ハ石首魚ト併セテ清韓兩國人嗜好ニ適シ從テ彼ニアリテハ其漁業モ著シク發達セルニ不拘本邦漁業者ノ間ニ於テハ未ダ專門的ニ之ニ從事スルモノヲ見ス加之配糶漁業ハ本縣出漁者ノ大部分ヲ占ムルノ利便アリ之レヲ太刀魚漁業ニ應用スルニ至ラハ比較的有利ニシテ且ツ容易ナルベキヲ認メ本試験ヲ採擇セリ而シテ該漁場ニ於ケル太刀魚去來ノ狀ヲ察スルニ全沿海ニ互リテ發産スレモ就中早春ノ候ヨリ韓國西海ニ沿フテ漸次北進シテ生殖移轉ヲ爲シ五六月ノ候最モ近岸ニ群來シテ放卵ヲナシ之ヲ終レハ一旦深海ニ去リテ殆ソト近海ニ其隻影ヲ認メサルニ至ル如斯クニシテ約一ヶ月ヲ經テ八月ニ至レハ再ヒ深海ヨリ近海ニ回游シ食餌ヲ索メテ滯泳シ秋冷ニ及ヒ水温ヲ逐フテ南下スルモノ、如シ其漁場ハ前記ノ如ク廣闊ナルカ如キモ延細使用ニ就キテハ海底及潮流等ノ關係上自カラ一定ノ區域アリテ韓西岸ニ於テハ忠清道及黃海道沖ノ二漁場ニ大別スベク然シテ漁期ノ都合ニ依リ今回試驗ヲ施セシハ韓海ニ在リテハ忠清道黃海道沖漁場清國ニアリテハ大連沖ノ漁場ニ止マレリ唯

遺憾ナリシハ往航ニ日數ヲ費スコト多ク忠清道漁場ニ達セシハ漁季凡ソ一ヶ月ヲ廻レ秋季ハ黃海及大連漁場ニ亘リ共ニ初期ニ屬シ未ダ盛期ニ入ラスシテ雇入豫約ノ期限ニ追リ漁船漁夫ヲ解雇セサルベカラザルニ至リ爲ニ充分ナル漁獲ヲ見ル能ハサリシト雖トモ今回ノ實驗ニ由リテ本漁業ハ一隻ノ母船ヲ備ヘ漁舟二三隻ヲ附屬シテ漁具ヲ使用スルニ於テハ極メテ便利ナルベキヲ確メ且ツ韓海ニ於テ太刀魚場前記ニケル所ノ區域ヲ明ニシ將來出漁者ノ指針ヲ與フルヲ得タルハ實ニ今回ノ試驗ノ結果トス本試驗調査ノ委細ハ別ニ刷成シテ參考ノ爲メ一般ニ頒布スルモノニ讓ル

### 重要水産生物漁況調査

本調査ハ農商務省水産局以下各關係水産試驗場トノ聯絡繼續事業ニシテ縣下樞要ノ地區七ヶ所ニ各一人ノ報告員ヲ置キ主任職員統督ノ下ニ鯛鮓蝦蛄鯷鰯魷サツバ烏賊鱧鰒等ノ縣下重要魚族ニ付毎月巨細ノ報告ヲ徴シ時々之ヲ一括シテ報告ヲ發シ漁獲ノ實況去來游泳ノ狀況等ヲ一般ニ周知セシムルト共ニ漁政上ノ參考資料ニ供セントスルモノニシテ左ニ本年度中ニ於ケル調査ノ概要ヲ摘錄シテ其一斑ヲ示サン

#### 重要水産生物漁況調査

月十二日ヨリ同十四日ニ亘リテ縛網ニ初漁アリシテ先頭トシテ同二十三日ニ至リ流網ノ出漁ヲ觀ルニ至リタリ然レドモ本年ハ初期以來魚ノ回游甚ク薄クシテ縛網ノ如キハ一隻一日ノ漁獲平均百尾内外ニ止リ出漁日淺キ流網ノ如キモ僅カニ一隻ノ漁獲一日平均五六尾ヲ得ルニ過キサリシカ水島灘以西峽海及属島宇治沖ニ至ル漁場ニアリテハ前記眞鍋島近海ヨリ漁期常ニ遅ル、ノ例ナレハ何レモ四月下旬頃ニ於テ皆網御チナシタリ然ルニ縛網瀬奥網流網等ハ何レモ多漁ヲ觀ルニ至リ初期以來甚ク好況ニシテ一隻ノ漁獲一日平均一百八十尾内外ニ及ビ特ニ瀬奥網ノ如キハ盤飽諸島ノ網代ニ於テ一隻一日五百尾内外ノ漁獲アリタリ之レニ反シ備前海漁場ニアリテハ四月中旬ヨリ皆網御チナシタレドモ魚ノ回游稀薄ニシテ充分ノ漁獲ヲ觀ルニ至ラズ而シテ五月ノ盛期ニ入リテハ各方面ノ漁場稍ヤ活氣ヲ呈スルニ至リ乃チ眞鍋島近海ノ如キハ一隻一日平均二百尾以上ノ漁獲ヲ觀ルニ至レリ六月ノ終漁期ニ及ンテ各漁場共漸次退漁ノ姿ニ陥リタレバ眞鍋島ニアリテハ定期ヨリ五六日早ク皆網揚ケチナシタリ其他何レノ地方ニ於テモ例年ニ倣ヒ正規ノ如ク皆網揚ケチナシタリ獨リ五智網ハ五月上旬頃ヨリ網御チナシタレトモ漁場擴大ニシテ専ラ香川縣三豐郡仲多度郡沿海ノ漁場へ出漁シタルヲ以テ其漁況詳カナラサレトモ何レモ好漁ナルモノ、如シ然ルニ本縣下漁場ニ出漁セルモノ

ハ何レモ甚々シキ漁獲ナク皆薄漁ノ姿ナリシカ八月十日ニ至リ遂ニ網揚チナシタリ故ニ本年ハ甚シキ豐漁ヲ見ルニ至ラズト雖トモ先ツ一般平漁ヲ以テ終漁セルモノト謂フ可シ漁獲物ノ體形ハ大ナルモノ壹尾ノ重量壹貫目乃至貳貫目アリテ小形ナルモノ壹尾ノ重量四百目許アリ故ニ平均壹尾ノ大サ約五百五十匁内外ナリトス而シテ其價格ハ初期ニ於テ一貫目ニ付金參圓余ナリシカ盛期ニ入り一貫目ニ付キ金貳圓ニ下落シ終漁期ニ至リテ更ニ金壹圓五拾錢内外ニ下レリ

さばら  
 本年ハ漁期稍ヤ遅レ流網ノ如キハ四月下旬ニ入り何レモ網御チナシタリ初期以來氣候適順ニシテ海色甚ク有望ナルモノアリタレバ一般漁業者ニアリテ本漁業ノ豐況ナルベキヲ豫期セリ然レトモ漁期ノ初メニ當リテハ甚々シキ好漁ヲ見ルニ至ラザリシガ果シテ五月ノ盛期ニ際シ一時ニ魚群ノ襲來スルモノ夥シク何レノ海面ニ於テモ非常ナル盛況ヲ呈スルニ至リタリ其漁獲ノ多キハ流網一夜一隻ニシテ約七八十尾ニ達シ縛網ノ如キハ一日八百尾内外ノ漁獲ヲ觀ルモノ甚ク甚カラス特ニ淺口郡沖漁場ニ在リテハ魚群最モ濃厚ヲ極メ頗ル漁況ノ旺盛ナルモノアルヲ見ル六月ノ終期ニ及ンテモ引續キ相應ノ回游ヲ觀ルニ至リ前月ニ異ラサル好況ヲ呈セシガ同月六日ニ及ンテ天候不順ニ陥リ

重要水産生物漁況調査

シ爲メ魚ノ回游頓ニ減シ殆ント漁獲皆無ノ姿トナリタレハ何レモ豫定ノ如ク同月七日頃ヨリ十日頃ニ亘リテ皆網揚ヲナシタリ茲ニ於テ縛網流網ノ如キハ漁況不斷良好ニシテ先ツ本漁業ハ近年稀ナル豊漁ヲ以テ終了セリト云フ可シ而シテ其漁獲物ハ大形ナルモノ一尾ノ体量約貳貫五百目許小形ナルモノハ約五百目許ニシテ價格ハ初期ニ於テ一貫目ニ付最高約金貳圓五拾錢乃至貳圓ヨリ最低約金七拾錢蓋テ示スニ至レリ

備前海特ニ和氣郡沿海ニ於テハ春期小ハビノ來游夥シク四月頃ヨリ之レカ捕獲ヲ觀ルニ至リシガ時期稍ヤ早キ感アリ種類ハあさどりハビヲ主トシ一日一隻ノ漁獲概テ二貫匁乃至六貫匁許ニシテ例年ニ比シ稍ヤ好況ヲ示セリ此近海漁期ノ進ムニ從ヒ赤ハビハあさどりハビ等ノ生育最モ良好ニシテ打瀬網漕網等ヲ以テ相應ノ漁獲アリ備中海眞鍋島近海ニアリテハ六月ヨリ漁期ニ入ルノ例ナリシガ本年ハハビノ回游早ク何レモ五月中旬頃ヨリ皆網御ヲナシタリ然レトモ淺口郡地方ニ於テハ六月中旬ヨリ出漁セルヲ觀ル而シテ打瀬網ハ順風ノ時ニ於テ一夜一隻ニシテ約一斗漕網ハ五升乃至六升ノ漁獲ヲ見タリ其種類ハ白ハビ赤ハビ等ヲ主ナルモノトス六月中旬ニ至リ夏ハビノ漁期ニ移ルノ例ナレハ打瀬網漕網等何レモ出漁準備ヲ整ヒ悉ク漁場へ出漁セシガ何レモ好況ニシテ

打瀬網ノ如キハ壹夜壹隻ニシテ六斗漕網ハ壹斗許ノ漁獲アリ尙終期ニ及ンデモ相應ノ漁收アリタリシガ八月中旬ニ至リ漸ク減漁ニ陥リ同月二十日頃マテニ悉ク網揚ケヲナシタリ九月ノ秋漁期ニ入ルヤ早々網御ヲナシ夫々各漁場ニ出漁セシカ何レノ海面ニアリテモ好況ヲ呈シ打瀬網ノ如キハ一日一隻ノ漁獲最多二斗乃至三斗計ニシテ十月下旬ニ入リテ漸ク薄漁ノ姿ニ陥リタレドモ十一月初旬ヨリ亦漸次好況ニ越キ夫レヨリ中旬ニ亘リテ頗ル盛況ヲ呈スルニ至リ打瀬網ノ如キハ一日一隻ノ漁獲三十貫余計漕網ハ一日一隻ノ漁獲三貫乃至十八貫目ニ達スルモノアルヲ見タリ然ルニ十一月下旬ニ及ンテ西風烈シク吹キタルヲ以テ頓ニ西方ニ退散シ爲メニ備中海小田郡地方ノ如キハ同二十四日頃ヨリ漸ク網揚ヲナシ同月末ニ至リテ全ク網揚了リタリ備前海西部漁場ニアリテハあさどりハビノ滯泳夥シク頗ル豊漁ヲ呈シ打瀬網一日一隻ノ漁獲約三十貫余ニ昂ルモノアリタリ而シテ漸次寒冷ヲ加フルニ從ヒ退散シ時期例年ニ比シ割合ニ速カナル傾キアリタリ故ニ本年ハ甚シキ豊漁ニ至ラズト雖トモ一般ニ亘リテ先ツ平漁ヲ以テ終リタリト云フ可シ漁獲物ノ體形及價格ハ春期ニ於テあさどりハビ長サ一寸二分乃至一寸許ニシテ一貫目ニ付平均參拾五錢ヲ示シ夏期ニ於テ白ハビ長サ二寸余赤ハビ一寸あさどりハビ一寸許ニシテ白ハビハ主ニ餌料トシテ金壹圓ニ付四百尾赤ハビハ一斗

重要生物漁況調査

ニ付金四拾五錢あさどりびハ一貫ニ付金拾五錢かぶたかびハ一貫ニ付金拾四錢内  
 外ヲ示セリ秋期ニ及ビ赤びハ一二寸ノモノ價格一貫目ニ付金壹圓貳參拾錢ヨリ五六拾  
 錢ノ間ニアリまびハ長サ四五分ヨリ一寸四五分許ナリシガ概シテ小形ノモノ多ク價  
 格ハ一斗ニ付四拾五錢乃至六拾錢余ヲ示セリ  
 いわし

(前期) 専ラ備中海ニ於テ漁獲セラル、モノニシテ真鍋島ノ如キハ六月十四五日ヨリ十  
 七八日頃ニ涉リテ悉皆網御チナシ各網代ニ出漁セシカ尙早期ニ属シ排々シキ漁獲ヲ觀  
 ルニ至ラサリシモ漁夫ノ言ニ由レハ本年ハ海況頗ル良好ナルモノアルモノ、如シト乃  
 チ初ニ各網ニ於テ毎日多漁ナルハ四五椀ノ漁獲ニ過キサリシカ沖合一面ニ亘リテ濃厚  
 ナル魚群ノ滯泳スルヲ見タリ然トモ沿岸漁場ニ襲來スルコト甚々稀ニシテ何レモ手ヲ  
 拱シテ傍觀スルノ已ムヲ得サルモノアリ其回游ヲ期待シツ、アリシモ七月ノ初旬ニ於  
 テ時偶々霖雨ニ會シ東風吹續キテ天候定マラズ遂ニ魚群ノ陸岸ニ近寄ルニ至ラスシテ  
 散逸シ亦其隻影ヲ止メサルニ至リタリ然ルニ同下旬頃ニ及ンテ天候漸ク順調ニ歸レ僅  
 ニ各方面共薄群ヲ認ムルニ至リタレハ稍ヤ愁眉ヲ開キタリシモ甚シキ漁獲ナク一日一  
 網ノ漁獲約十二三椀ヨリ多キハ六十椀ヲ得ルニ過キサリキ八月ノ終漁期ニ入りテモ尙

前月ト大差ナク各網代共著シキ漁獲ヲ見ルニ至ラサリシガ遂ニ退漁ニ陥リタレハ八月  
 中旬ニ及ンテ何レモ網揚チナシタリ故ニ本期ハ一般不漁ノ爲メ何レモ平年ヨリ十數日  
 間早ク終漁スルニ至リタリ漁獲物ノ体形及價格ハ初メ大サ一寸二三分ヨリ三寸余ニシ  
 テ煮干一俵(六升入)ニ付少ナルモノ金壹圓位ナリシガ其後下落シテ九拾錢臺トナリシモ  
 又直ニ九拾五錢以上ニ及ベリ大形ナルモノ一俵金六拾錢乃至七拾錢ノ間ニアリシカ八  
 月ニ入り市場稍ヤ好況ヲ呈シ小形ナルモノ一俵金壹圓五錢大形ナルモノ金七拾五錢以  
 上ヲ示スニ至レリ

(後期) 十月ヨリ秋漁期ニ入ルテ例トシ備前海ニ於テハ大多府島頭島近海ニ回游夥シク  
 頗ル好況ヲ呈シ一日一隻ノ漁獲約五六千尾ニ達スルニ至リ又備中海北木島海面ニモ相  
 當ノ漁獲アリタレトモ真鍋島海面ニハ本年ハ漁期遅ク同沖合一帶ニ亘リテ濃厚ナル魚  
 群ヲ認メタレトモ容易ニ陸岸ニ近クコト稀ニシテ僅カニ一日一統ノ漁獲約三十椀許ヲ  
 得ルヲ最多トシ少ナキハ僅カニ二三椀ニ過キサリシガ十一月ニ入り何レモ相應ノ漁獲  
 ナ見ルニ至リタリ特ニ備前海東部ニ於テハ近年稀ナルほうたれいわしノ回游ヲ見ルニ  
 至リ同六日ノ如キハ牛窓沖ニ於テ約四十六石余ノ漁獲アリ其他まいわしノ回游夥シク  
 さつば建網ヲ使用シテ約參萬余尾ノ漁獲ヲナセリ和氣郡沖合ニアリテモまいわしノ襲

來夥シク同初旬ヨリ中旬ニ涉リテ甚ク好況ヲ呈セシカ同月末ニ至リ全ク不漁ノ姿ニ陥  
 リタリ然ルニ十二月ニ入り終漁期ナルニモ不拘同五日頃ニ及ンテ兵庫縣赤穂近海ヨリ  
 再ビまわしノ回游夥シク和氣邑久沿海一帶ニ涉リテ大襲來ヲ見ルニ至リ滯泳十數日  
 ニ及ビテ近年稀ナル漁況ヲ呈セリ乃チ始メヨリ十五日ニ至ル間ハ最も豐漁ニシテ一日  
 一隻ノ漁獲約七萬余尾ニ達セサルモアリ少ナキモ五萬ヲ下ラサルノ狀況ナリシカ其後  
 一旦不漁ニ陥リ同十八日ヨリ二十七八日ニ涉リ再ヒ大群ノ再襲來ヲ見ルニ至リ一日一  
 隻ニシテ最多ナルモノ五萬余尾ヨリ最少ナルモノ二三萬ヲ降ラサルノ盛況ヲ呈セリ如  
 此豐漁ナリシヲ以テ十二月中ハ平均一日一隻ニシテ實ニ四五萬余尾内外ノ多キニ達セ  
 リ然ルニ真鍋島近海ニモ又時々小群ノ回游ヲ見ルアリ各網代共相應ノ漁獲ヲ見タリシ  
 カ十日頃ヨリ頓ニ西風ノ烈シカリシガ爲メ魚群一時ニ退散シテ遂ニ其隻影ヲ認メサル  
 ニ至リタレハ備中海面ニ於テハ好漁ニ至ラスシテ皆網揚ケテナシ遂ニ終漁スルニ至リ  
 タリいわし主産地タル小田郡諸島ノ各漁場ニ於ケル漁獲高ヲ見ルニ本期ヲ通シテ一統  
 ニ對シ收穫約參百圓許ヲ最多トシ五拾圓余ヲ最少トシ之レヲ平年ニ比スレハ著シキ不  
 漁ナルニ反シ備前海ニ於テハ近年稀ナル豐漁ヲ呈セリ漁獲物ノ体形ハ備中海ニ於ケル  
 モノ三寸位ニシテ備前海ノモノ平均五六寸内外アリ其價格ハ備中海ノモノ生魚一樽ニ

付參圓五拾錢煮干一俵入拾錢以上ヲ示シ備前海ニ於テハ始メ一尾貳厘乃至參厘ナリシ  
 カ終期ニ至リテ一尾ニ付貳厘乃至壹厘五毛ノ間ヲ示セリ  
 はも

本漁ハ例年ノ如ク六月中旬頃ニ於テ出漁シ何レモ好漁ヲ示セリ特ニ備中六島下浦海面  
 ニ盛漁ニシテ細船一日一隻ニシテ四五六尾ヲ漁シ打瀬網ハ一夜僅ニ五六尾ニ過キサ  
 ルモ例年ノ同期ニ比スレハ何レモ好況ナリキ七月ニ入りテモ同海面ニ出漁セシモノ多  
 カリシガ前月ヨリ稍ヤ薄漁ニ傾キ他ノ海面ニ在リテハ何レモ不漁ニシテ著シキ漁獲ナ  
 シ蓋夏漁期ノ終リニシテ例年此際ニ在リテハ薄漁ナルヲ常トス秋漁期ニ入りテハ八月  
 中旬ヨリ本漁業ヲ開始スルノ例ナレトモ本年ハ時期稍ヤ遅シ八月下旬ニ至リ網ヲ卸セ  
 リ爾來極メテ薄漁ニシテ九月中旬頃ニ至ル頃マテハ著シキ漁獲ヲ見ルニ至ラサリシガ  
 九月下旬ノ頃ニ入り稍ヤ好況ヲ呈シ一日一隻ノ漁獲概テ二三十貫内外ニ上レリ十月ニ  
 入り引續キ盛況ニシテ特ニ和氣郡漁場ニアリテハ同月中旬ヨリ下旬ニ亘リテ最も盛漁  
 ナ呈セリ爾來益々好況ニ向ヒ打瀬網一日一隻ノ漁獲約三十貫以上ニ達シ前年度ノ今季  
 ニ比スレハ非常ナル豐漁ナリト雖トモ十一月ニ入りテハ終漁期ニ属スルヲ以テ漸次西  
 下へ退散スルニ至リ打瀬網ノ如キハ漸ク薄漁ノ姿ニ陥リシカ延細漁ニハ尙引續キ相應

ノ漁獲アリタリ然ルニ同中旬頃ニ及ンテ遂ニ減退ノ有様トナリ何レモ本漁業ヲ終ルニ至リタリ故ニ本年ハ初終ヲ通シテ皆相應ノ漁獲ヲ見ルニ至リタレハ先ッ一般平漁ヲ以テ終レリト云フベシ漁獲物ノ体形及價格ハ夏期ニ於テ一尾ノ体量八百目ニシテ長サ三尺二三寸アリ小ナルモノ一尾ノ体量五六十日ニシテ七八寸ノ長サアリ秋期ハ夏期ニ比シ概シテ小形ナルヲ常トシ一尾ノ重量五百目ヨリ七八十目許アリ價格ハ初メ一貫目ニ付金壹圓貳拾錢内外ナリシカ秋期ニ於テハ一般ニ小形ナルヲ以テ多クハ一貫目ニ付金壹圓貳拾錢ヨリ八拾錢内外ナリシカ終漁期ニ近クニ從ヒ大ニ昇騰シテ一貫目ニ付金貳圓四五拾錢内外ヲ示セリ

あなご

和氣郡日生地方ニアリテハ八月中旬頃ヨリ網卸チナスノ例ナレトモ本年ハ七月下旬ニ於テ已ニ淡路島家島近海ヨリ魚群ノ回游スルモノヲ認メタレハ何レモ定期ニ先達チ網卸チナシタリ乃チ始メ一日一隻ニシテ平均僅ニ二貫目内外ノ漁獲ニ止リシカ八月ノ漁期ニ入りテモ著シキ漁獲ヲ觀ルニ至ラス九月中旬頃ニ及ンテ漸ク好況ヲ呈シ尙其後氣候ノ順當ヲ失セサル限リハ益々豊漁ニ赴クノ見込ナリシガ果シテ十月ノ候ニ至リテモ引續キ好況ニシテ同月中旬ニ至リ一層ノ盛漁ヲ呈セリ乃チ一隻ノ漁獲日平均約三十貫

余ニ及ビ少ナキモ十四五貫ヲ下ラサルノ豊漁ヲ示セリ更ニ十一月ニ入りテモ各海面共相應ノ漁獲アリ但手續網ハ極テ凶漁ニシテ一夜一隻ノ漁獲七八十尾ヨリ十尾余位ヲ得ルニ過キサリシガ延細漁ニアリテハ一日一隻ノ漁獲二百三十尾少ナキハ七十尾余ニ達スルモノアルヲ見ル際冬ニ進ムニ從ヒ漸々薄漁ニ陥リシハ亦免レサル例ナリトス漁獲物ノ体形及價格ハ初メ大ナルモノ一尾ノ重量五六十匁小ナルモノ十五六匁ニシテ一貫目ニ付概チ金壹圓貳拾錢ナリシガ夫レヨリ價格漸次昇騰シテ金貳圓五十錢ニ達シ其後一貫目ニ付金壹圓七八拾錢ニ低落セシガ十月ニ入りテハ其價格一貫目ニ付約參圓壹匁昇リ十一月ニ入り大ナルモノ体量一尾七八十匁小ナルハ四五匁余アリ而シテ其價格ハ一貫目ニ付壹圓貳拾錢内外ニ下落セシカ十二月ニ入り更ニ下向シ約壹圓貳拾錢ヨリ壹圓ノ間ヲ示スニ至リタリ

ばら

ばらハ東方播磨近海ヨリ回游スルヲ常トシ四月中旬ヨリ網卸チ例トシ漁具ハ主トシテ建網敷網坪網ヲ使用シテ捕獲チナシ何レモ普通ノ漁獲アリ概シテ例年ニ比シ豊漁ナリキ特ニ和氣郡日生漁場ニ於テハ日平均二三百尾ノ漁獲ヲ見ルニ至リ五月上旬ノ如キハ一日約四萬余尾ヲ漁シ又全月下旬ニ於テハ一日參萬余尾ノ漁獲アリタリ其後ハ敷網建

重要生物漁況調査



網ノ時期ニ非サレハ専ラ坪網ノ漁獲ニ屬セリ其一隻日平均十五六尾ヨリ二十尾内外  
ヲ得ルニ過キサリキ而シテ其原因ハ専ラ魚群ノ一所ニ滯泳セサルニヨル漁獲物ノ大小  
及價格ハ大ナルモノ一尾ノ重量三百目小ナルモノ百三十目許ニシテ價格ハ初メ一尾ニ  
付金三拾八錢ヨリ貳拾八錢ナリシカ五月ノ盛期ニ入り一尾ニ付金貳拾五錢ヨリ拾錢ニ  
シテ其後平均一尾概テ金參拾錢ノ價格ヲ示セリ

本年ハ天候適順ナルニ因ルカ鳥賊ノ回遊甚ク夥シク初期以來近年稀ナル豐況ノ前兆ヲ  
呈セリ縛網ニヨリテ漁獲セラル、モノ日々二三千尾ニ達シイカ網ハ四月下旬ヨリ同  
貳十五日前後ニ渡リテ網卸チナシタルニ初期ナルニモ拘ラス一隻一日ノ漁獲多キハ一  
千六百余尾ニ達シ最少四五十尾余チ下ラス五月ノ盛期ニ入り益々好況ヲ呈シ其漁獲一  
日一隻ニシテ最多凡ソ四千余尾最少七八十尾ヲ得ルモノ多ク六月ノ終期ニ至リテモ引  
續キ好況ヲ呈シタレトモ其後天候順調ヲ缺キ遂ニ不漁ニ陥リ同中旬ニ及ンテ概テ網揚  
ケチナシタリ然レトモ之レト同時ニ釣漁業ヲ開始シ一日一隻ノ漁獲約五六十尾乃至百  
四五十尾ヲ得ルニ至リタレトモ七月上旬以後ハ兎角天候不定ニシテ風雨ノ爲メ魚群ノ  
退散スルニ至リ全ク不漁ノ状態ニ陥リ本漁業ヲ終結スルニ至リタリ要スルニ本年ハ何

レノ海面ニモ好況ニシテ近年稀ナル漁獲ヲ以テ終レリ而シテ其漁獲物ハ大形ナルモノ  
一尾ニ付百三十目乃至二百目アリ最小ナルモノ四五十目許ニシテ其魚價初終兩期ヲ通  
シテ一尾ニ付金貳拾五錢ヨリ最低五六錢ニシテ平均一尾ノ價格四五錢臺ヲ示セリ  
さつば(名ま、かり)

本年ハ例年ニ比シ時期遅延ノ傾アリ備中海淺口郡近海ニ於テハ七月末日ヨリ已ニ流刺  
網ノ出漁アリ一日一隻ニシテ多キハ一萬一千余尾少ナキハ五百尾ヲ漁シ坪網ハ日々八  
百尾内外ノ漁獲ヲ觀タリシカ備前海特ニ和氣郡漁場ニアリテハ時期稍遅レ八月中旬ニ  
至リテ兵庫縣家高近海ヨリ小群ノ回遊ヲ見ルニ至リ一日一隻ニシテ一萬余尾ノ漁獲ア  
リタレドモ盛期ニ入り著シキ漁況ニ會セズ前年ニ於テハ非常ナル豐漁ヲ觀タルニ反シ  
本年ハ盛終期ヲ通シテ甚ダ稀薄ニシテ一夕一日ノ漁獲二千尾内外ヲ得ルニ過キサリキ  
漁獲物ノ大小及價格ハ一尾ノ大サ四五寸乃至二三寸ニシテ其價格ハ初終兩期ヲ通シテ  
一尾七厘ヨリ四厘ノ間ニアリ

たこ  
漁業ノ漸ク閑散ナル冬期ニ當リたこ漁業ノ時期ニ入り例年ノ通り備前海ニ於テ十一月  
ヨリ手繰網延繩釣等ノ出漁ヲ見ル備中海ニアリテハ十二月ニ至リテ悉ク出漁ヲ見ルニ

重要生物漁況調査

至レリ而シテ備前海各漁場ニ於テハたこノ發生夥シク初季以來相應ノ漁期アリ就中釣  
漁業ニ最モ多漁アリタリ然ルニ備中海特ニ真鍋島近海漁場ニ於テハ初期以來各網代ニ  
於テ甚ク不況ナリシカ爾來漁期ノ進ムニ從ヒ漸ク好況ヲ呈スルニ至リ一日一隻ニシテ  
手長たこ三百余尾い、たこ七八十尾ノ漁獲ヲ見ルニ至リ真鍋島及六島地先漁場ノ如キ  
ハ非常ナル盛漁ヲ呈セリ更ニ一月ニ入り益々好況ニシテ近年未曾有ノ豐漁ヲ示シ之レ  
ガ爲メ多クノ新規出漁ヲ出セリ

尙香川縣三豐郡粟島地先海面ニアリテモ亦初期以來引續キ豐漁ヲ呈シ我漁業者ノ此方  
面ニ出漁セルモノ頗ル多キニ至リタリ而シテ其漁獲高ヲ見ルニ手繰網ハ一日一隻ニシ  
テ手長たこ四百五六十尾余ヲ得タルヲ最多トシ少ナキモ二百尾余い、たこハ約四五  
尾ヲ降ラズ釣漁ニ於テ一日一隻ノ漁獲飯たこ三四百尾余ヲ得ルニ至レリト云フ故ニ之  
レヲ例年ニ比スレバ何レモ豐漁ニシテ其原因蓋シ本年ハ時期温暖ニシテ順調ヲ呈シ強  
風甚ク稀ナルニヨルモノナランカ漁獲物ハ初期十一月ニ於テ手長たこノ大ナル百ニ付  
貳貫參百目小ナルハ壹貫五百目許い、たこノ大ナルモノ百ニ付壹貫目小ナルハ七百目  
ニシテ價格ハ手長大小ヲ通シテ百ニ付壹圓貳拾錢ヨリ七拾錢飯たこ百ニ付參拾五錢  
ヨリ貳拾錢ヲ示セリ三月ニ入り手長ノ大ナルモノ百ニ付二貫八百目小ナルハ壹貫四百

目位ニシテ價格ハ大小通シテ百ニ付八拾錢乃至九拾錢い、たこノ大ナルモノ百ニ付壹  
貫七百目小ナルハ八百目位ニシテ價格ハ大小百ニ付五拾錢乃至參拾錢ノ間ニ上下セリ  
ト云フ

寄魚漁業(ぼらいなせい)

本漁業ノ多クハ早キモノ九月一日頃遅キモノ十一月一日頃ヨリ翌年二月下旬ニ涉リテ一  
般漁事ヲ中止シ留海トナスヲ例トス故ニ大概他漁業ノ閑散時期ニ屬シ只ぼらいなせい  
等ヲ捕獲スル本漁業アルノミ故ニ此期ヲ以テ是等魚族ノ漁期トナス然ルニ本年ハ初期  
以來氣候順調ヲ示シ同魚類ノ生育最モ良好ニシテ各漁場ニ群集スルモノ夥シク何レモ  
本期漁業ノ有望ナルヲ漁期セルモノハ如クナリシカ漸次漁期ノ進ムニ從ヒ魚群ノ回游  
ヲ見ルニ至リシモ氣候動モスレバ温暖ニ失シ爲メニ散在シテ魚群ノ密集スルコト甚稀  
ニ網ヲ使用スルノ機會少ナク遂ニ網入レノ機會ヲ失レタル地方モアリタリ故ニ初期以  
來著シキ好漁ヲ見ルニ至ラスト雖トモ各漁場ニ於ケル投網ヲ見ルニ何レモ一月下旬ヨ  
リ二月上旬ニ亘リテ最モ盛ニ行ハレタリ而シテ其知リ得タル漁獲ノ主ナルモノヲ舉ク  
レハ備中海真鍋島漁場ノ十二月十五日ニ於ケル網入ヲ先頭トシ備前海鹿忍沖漁場ノ一  
月九日ニ於ケルいな約二萬余尾同二十二日日生沖漁場ニ於ケルいな十萬尾同二十七

日牛窓沖漁場ニ於ケルいな十三萬五千余尾同二十八日いな十五萬余日生漁場ノいな十二萬余尾三十日下津井漁場ニ於ケルいな六萬余尾ノ漁獲等ヲ最多ナルモノナリトス之レヲ要スルニ本漁業ハ備中海漁場ニ於テハ遂ニ不況ヲ以テ終リ備前海漁場ニアリテハ甚シキ好漁ヲ見ルニ至ラスト雖トモ概シテ平漁ヲ以テ終了セルモノト云フ可シ漁獲物ノ種類及体形ハばらノ大ナルモノ一尺四五寸小ナルハ一尺いなハ四寸乃至九寸許ニシテ價格ハ初期ニ於テばら一尾ニ付參拾錢ヨリ拾四五錢いな一尾ニ付五錢ヨリ貳錢五厘ヲ示シ終期ニ至リテばら一尾ニ付貳拾七八錢ヨリ拾錢いな一尾ニ付六錢五厘ヨリ參錢ノ間ニ上下セリ

### 海洋觀測

本觀測ハ從來農商務省水產局並ニ關係各府縣水產試驗場トノ聯絡事業ニシテ縣下邑久郡牛窓沖海深十八尋及兒島郡下津井町大字大富沖海深二十八尋ノ二箇所ニ於テ毎月十一、二十一ノ三回觀測ヲ施行シ各一定時ニ於テ天候風向風力氣溫海水表面比重潮流ノ干滿方向及速力水色濁濁海面ノ模様並ニ漁況等ニ付キ其都度詳細ナル報告ヲ爲セリ而シテ其目的トスル所ハ專ラ水形學上ノ研究ヲナシ海洋ト水族トノ關係ヲ察知スルノ材料ニ資スルニ在リ本項ノ如キハ到底短日月ニ於テ直ニ其効果ヲ考查スルコト能ハスト雖

トモ之レヲ怠ルコトナクンバ生物調査ト相俟チテ大ニ漁業界ニ貢獻スルモノアルヘキヲ確信ス今參考トシテ本年度中ニ於ケル氣象ノ概況ヲ示サント欲シ該觀測表ヲ末尾ニ附セリ

四十年四月海洋月次観測表

場所及水深	日	項目	天気	風向	氣温	水温	比重	潮ノ干満	潮向強弱	水色濁度	海面ノ様	備考	漁況	記	事
邑久郡牛窓町浦十八尋 兒島郡下津井町大島浦廿八尋	三 日	午後二時	晴	東南	一九・八	一〇・三	三・五	一合千八合十一合満潮	東南、強東南、弱東南、弱東、弱西、弱	灰白濁線	小波靜	晴	盛雨	牛吾浦及建網ノ漁期ニシテ其 他のなで油日飯網等ノ漁業ヲ	
		午後二時	全	〇	一九・八	一〇・三	三・五	一合千八合十一合満潮	東南、強東南、弱東南、弱東、弱西、弱	濃線	大波靜	全	盛雨	釣マテ等ノ漁期ニメ目張四 ノ張網ハ本月終漁セリ	
		午後二時	全	〇	一九・八	一〇・三	三・五	一合千八合十一合満潮	東南、強東南、弱東南、弱東、弱西、弱	濃線	大波靜	全	盛雨		
邑久郡牛窓町浦十八尋 兒島郡下津井町大島浦廿八尋	廿一 日	午後二時	晴	北々西	一九・二	一〇・〇	三・六	極八合千八合満潮	東南、強東南、弱東南、弱東、弱西、弱	全	小波靜	全	二 三 五 雨	五智網バツ網打瀬網年香浦網	
		午後二時	晴	西南西	一九・二	一〇・〇	三・六	極八合千八合満潮	東南、強東南、弱東南、弱東、弱西、弱	全	小波靜	全	二 三 五 雨	釣マテ等ノ漁期ニメ目張四 ノ張網ハ本月終漁セリ	
		午後二時	全	〇	一九・二	一〇・〇	三・六	極八合千八合満潮	東南、強東南、弱東南、弱東、弱西、弱	全	大波靜	全	二 三 五 雨		

六十七

四十年五月海洋月次観測表

場所及水深	日	項目	天気	風向	氣温	水温	比重	潮ノ干満	潮向強弱	水色濁度	海面ノ様	備考	漁況	記	事
邑久郡牛窓町浦十八尋 兒島郡下津井町大島浦廿八尋	三 日	午後二時	晴	西南西	一九・〇	一五・〇	三・〇	一合千五合千五合満潮	東南、強東南、弱東南、弱東、弱西、弱	灰白濁線	中波	晴	雨	大島城建網架建網除洗網其他 本月上旬ヨリ鳥賊釣ヲ開始ス	
		午後二時	晴	西南西	一九・〇	一五・〇	三・〇	一合千五合千五合満潮	東南、強東南、弱東南、弱東、弱西、弱	濃線	中波	全	二 三 五 雨	大島城建網架建網除洗網其他 本月上旬ヨリ鳥賊釣ヲ開始ス	
		午後二時	微	〇	一九・〇	一五・〇	三・〇	一合千五合千五合満潮	東南、強東南、弱東南、弱東、弱西、弱	濃線	中波	全	二 三 五 雨	大島城建網架建網除洗網其他 本月上旬ヨリ鳥賊釣ヲ開始ス	
邑久郡牛窓町浦十八尋 兒島郡下津井町大島浦廿八尋	廿一 日	午後二時	晴	西南西	一八・二	一四・四	三・五	一合千五合千四合満潮	東南、強東南、弱東南、弱東、弱西、弱	全	中波	全	二 三 五 雨	大島城建網架建網除洗網其他 本月上旬ヨリ鳥賊釣ヲ開始ス	
		午後二時	晴	西南西	一八・二	一四・四	三・五	一合千五合千四合満潮	東南、強東南、弱東南、弱東、弱西、弱	濃線	中波	全	二 三 五 雨	大島城建網架建網除洗網其他 本月上旬ヨリ鳥賊釣ヲ開始ス	
		午後二時	微	〇	一八・二	一四・四	三・五	一合千五合千四合満潮	東南、強東南、弱東南、弱東、弱西、弱	濃線	中波	全	二 三 五 雨	大島城建網架建網除洗網其他 本月上旬ヨリ鳥賊釣ヲ開始ス	

六十七

水場所及 日誌		項目		天候	風向	氣温	水温	比重	潮ノ干満	潮向強弱	水色清濁	海面模様	備考	記	事
島久郡牛窓町沖十八尋	一日	午後二時	午後二時	全	西	三〇	二〇	三〇	初八合干	西、弱	澄	平	全	漁況	
				曇	東	二八	一九	二八	極九合滿	東、弱	濁	小	曇	目下飛魚、鱒、魴、牛舌等ノ五智組ノ網打漁網及鱒網釣等ノ漁期ニシテ五智組ノ網ハ本月中旬ヲ以テ終漁セリ	
島久郡牛窓町沖十八尋	一日	午後二時	午後二時	全	西	三〇	二〇	三〇	初八合干	西、弱	澄	平	全	漁況	
				曇	東	二八	一九	二八	極九合滿	東、弱	濁	小	曇	目下飛魚、鱒、魴、牛舌等ノ五智組ノ網打漁網及鱒網釣等ノ漁期ニシテ五智組ノ網ハ本月中旬ヲ以テ終漁セリ	
島久郡牛窓町沖十八尋	一日	午後二時	午後二時	全	西	三〇	二〇	三〇	初八合干	西、弱	澄	平	全	漁況	
				曇	東	二八	一九	二八	極九合滿	東、弱	濁	小	曇	目下飛魚、鱒、魴、牛舌等ノ五智組ノ網打漁網及鱒網釣等ノ漁期ニシテ五智組ノ網ハ本月中旬ヲ以テ終漁セリ	
島久郡牛窓町沖十八尋	一日	午後二時	午後二時	全	西	三〇	二〇	三〇	初八合干	西、弱	澄	平	全	漁況	
				曇	東	二八	一九	二八	極九合滿	東、弱	濁	小	曇	目下飛魚、鱒、魴、牛舌等ノ五智組ノ網打漁網及鱒網釣等ノ漁期ニシテ五智組ノ網ハ本月中旬ヲ以テ終漁セリ	

六十九

水場所及 日誌		項目		天候	風向	氣温	水温	比重	潮ノ干満	潮向強弱	水色清濁	海面模様	備考	記	事
島久郡牛窓町沖十八尋	一日	午後二時	午後二時	全	東	三〇	二〇	三〇	初九合滿	東、強	濁	中	全	漁況	
				晴	西	二八	一九	二八	初九合滿	西、強	澄	小	曇	赤蝦蟇網島根馬網魴及鱒流網ハ七組ハ本月中旬ニ始リ下旬ニ終リシカ近年稀ナル不漁ナリ其他五智組打漁網鱒網釣等ノ漁業アリ	
島久郡牛窓町沖十八尋	一日	午後二時	午後二時	全	東	三〇	二〇	三〇	初九合滿	東、強	濁	中	全	漁況	
				晴	西	二八	一九	二八	初九合滿	西、強	澄	小	曇	赤蝦蟇網島根馬網魴及鱒流網ハ七組ハ本月中旬ニ始リ下旬ニ終リシカ近年稀ナル不漁ナリ其他五智組打漁網鱒網釣等ノ漁業アリ	
島久郡牛窓町沖十八尋	一日	午後二時	午後二時	全	東	三〇	二〇	三〇	初九合滿	東、強	濁	中	全	漁況	
				晴	西	二八	一九	二八	初九合滿	西、強	澄	小	曇	赤蝦蟇網島根馬網魴及鱒流網ハ七組ハ本月中旬ニ始リ下旬ニ終リシカ近年稀ナル不漁ナリ其他五智組打漁網鱒網釣等ノ漁業アリ	
島久郡牛窓町沖十八尋	一日	午後二時	午後二時	全	東	三〇	二〇	三〇	初九合滿	東、強	濁	中	全	漁況	
				晴	西	二八	一九	二八	初九合滿	西、強	澄	小	曇	赤蝦蟇網島根馬網魴及鱒流網ハ七組ハ本月中旬ニ始リ下旬ニ終リシカ近年稀ナル不漁ナリ其他五智組打漁網鱒網釣等ノ漁業アリ	

六十九

四十年八月海洋月次観測表													
水場所及	日時	天候	風向	氣温	水温	比重	潮ノ干満	潮向強弱	水色清濁	海面ノ模様	備考	漁況	
												日	時
邑久郡牛窓町沖十八尋 兒島郡下津井町大島沖廿八尋	十一日	晴	東南	六、五	三、〇	三〇、二	八合滿初	西北、弱東南、弱	灰白中濁	小波全	曇	午前二時	カッパ刺網鱈曳網鱈建網赤蝦
	十二日	曇	西南	六、九	三、〇	三〇、一	七合滿二合干	西、弱東、強	灰白濁	中波全	曇	午後二時	カッパ刺網鱈曳網鱈建網赤蝦 本月中旬ヨリカッパ釣ヲ始メ下 旬ヨリ鱈建網ヲ開始セリ其他 カッパ釣等ノ漁業アリ
	十三日	晴	東	五、五	三、七	三〇、〇	極七合滿	西、弱東、強	灰白濁	中波全	曇	午後二時	カッパ刺網鱈曳網鱈建網赤蝦 五智網打瀬制網鱈繩網釣等 ノ漁業アリ
邑久郡牛窓町沖十八尋 兒島郡下津井町大島沖廿八尋	十四日	晴	西南	三、七	三、八	三〇、一	四合滿	西、弱東、強	中濁	中波全	曇	午後二時	赤蝦漕網鱈建網鱈曳網鱈建網 五智網打瀬制網鱈繩網釣等ノ漁業アリ
	十五日	晴	西南	三、七	三、〇	二九、九	二合干	西、弱東、強	中濁	中波全	曇	午後二時	赤蝦漕網鱈建網鱈曳網鱈建網 五智網打瀬制網鱈繩網釣等ノ漁業アリ
	十六日	曇	東	三、二	三、七	二九、五	三合滿	西、弱東、強	中濁	中波全	曇	午後二時	赤蝦漕網鱈建網鱈曳網鱈建網 五智網打瀬制網鱈繩網釣等ノ漁業アリ
邑久郡牛窓町沖十八尋 兒島郡下津井町大島沖廿八尋	十七日	晴	西南	六、四	三、五	三〇、八	極五合干	西、弱東、強	澄灰白濁	中波全	曇	午後二時	赤蝦漕網鱈建網鱈曳網鱈建網 五智網打瀬制網鱈繩網釣等ノ漁業アリ
	十八日	晴	西南	六、四	三、五	三〇、八	極五合干	西、弱東、強	澄灰白濁	中波全	曇	午後二時	赤蝦漕網鱈建網鱈曳網鱈建網 五智網打瀬制網鱈繩網釣等ノ漁業アリ
	十九日	晴	西南	六、四	三、五	三〇、八	極五合干	西、弱東、強	澄灰白濁	中波全	曇	午後二時	赤蝦漕網鱈建網鱈曳網鱈建網 五智網打瀬制網鱈繩網釣等ノ漁業アリ

六十一

四十年九月海洋月次観測表													
水場所及	日時	天候	風向	氣温	水温	比重	潮ノ干満	潮向強弱	水色清濁	海面ノ模様	備考	漁況	
												日	時
邑久郡牛窓町沖十八尋 兒島郡下津井町大島沖廿八尋	十一日	晴	西南	六、四	三、五	三〇、八	極五合干	西、弱東、強	澄灰白濁	中波全	曇	午後二時	赤蝦漕網鱈建網鱈曳網鱈建網 五智網打瀬制網鱈繩網釣等ノ漁業アリ
	十二日	晴	西南	三、七	三、〇	二九、九	三合滿	西、弱東、強	中濁	中波全	曇	午後二時	赤蝦漕網鱈建網鱈曳網鱈建網 五智網打瀬制網鱈繩網釣等ノ漁業アリ
	十三日	曇	東	三、二	三、七	二九、五	三合滿	西、弱東、強	中濁	中波全	曇	午後二時	赤蝦漕網鱈建網鱈曳網鱈建網 五智網打瀬制網鱈繩網釣等ノ漁業アリ
邑久郡牛窓町沖十八尋 兒島郡下津井町大島沖廿八尋	十四日	晴	西南	三、七	三、〇	二九、九	二合干	西、弱東、強	中濁	中波全	曇	午後二時	赤蝦漕網鱈建網鱈曳網鱈建網 五智網打瀬制網鱈繩網釣等ノ漁業アリ
	十五日	晴	西南	三、七	三、〇	二九、九	二合干	西、弱東、強	中濁	中波全	曇	午後二時	赤蝦漕網鱈建網鱈曳網鱈建網 五智網打瀬制網鱈繩網釣等ノ漁業アリ
	十六日	曇	東	三、二	三、七	二九、五	三合滿	西、弱東、強	中濁	中波全	曇	午後二時	赤蝦漕網鱈建網鱈曳網鱈建網 五智網打瀬制網鱈繩網釣等ノ漁業アリ
邑久郡牛窓町沖十八尋 兒島郡下津井町大島沖廿八尋	十七日	晴	西南	六、四	三、五	三〇、八	極五合干	西、弱東、強	澄灰白濁	中波全	曇	午後二時	赤蝦漕網鱈建網鱈曳網鱈建網 五智網打瀬制網鱈繩網釣等ノ漁業アリ
	十八日	晴	西南	六、四	三、五	三〇、八	極五合干	西、弱東、強	澄灰白濁	中波全	曇	午後二時	赤蝦漕網鱈建網鱈曳網鱈建網 五智網打瀬制網鱈繩網釣等ノ漁業アリ
	十九日	晴	西南	六、四	三、五	三〇、八	極五合干	西、弱東、強	澄灰白濁	中波全	曇	午後二時	赤蝦漕網鱈建網鱈曳網鱈建網 五智網打瀬制網鱈繩網釣等ノ漁業アリ

六十一

四十年十月海洋月次観測表

場所及水深	日	項目	天気	風向	気温	水温	比重	潮ノ干満	潮向強弱	水色清濁	海面ノ模	備考	漁況	記	事
邑久郡牛窓町沖十八尋 児島郡下津井町大島沖十八尋	日 十一月廿一日	午後二時	曇	南々西	三、六	三、三	三、〇	三合満	全西、稍強東、強全	全	波小	全	真蝦漕網師細網釣等ノ漁業ヲ 目下打漕網小線網五智網蝦漕 網及郵籠繩子ヲ釣船釣等ノ 漁業アリ		
		午後二時	曇	南々西	三、六	三、三	三、〇	三合満	全西、稍強東、強全	全	波小	全			
邑久郡牛窓町沖十八尋 児島郡下津井町大島沖十八尋	日 十一月廿二日	午後二時	快	北々西	三、三	三、三	三、〇	二合満	西北、弱	澄小澄	波	全			
		午後二時	快	北々西	三、三	三、三	三、〇	二合満	西北、弱	澄小澄	波	全			
邑久郡牛窓町沖十八尋 児島郡下津井町大島沖十八尋	日 十一月廿三日	午後二時	全	東	三、三	三、三	三、〇	三合満	全西、稍強東、強全	澄小澄	波	全			
		午後二時	全	東	三、三	三、三	三、〇	三合満	全西、稍強東、強全	澄小澄	波	全			
邑久郡牛窓町沖十八尋 児島郡下津井町大島沖十八尋	日 十一月廿四日	午後二時	快	北々西	三、三	三、三	三、〇	二合満	西北、弱	澄小澄	波小	全			
		午後二時	快	北々西	三、三	三、三	三、〇	二合満	西北、弱	澄小澄	波小	全			

六十一

四十年十一月海洋月次観測表

場所及水深	日	項目	天気	風向	気温	海面温度	比重	潮ノ干満	潮向強弱	水色清濁	海面ノ模	備考	漁況	記	事
邑久郡牛窓町沖十八尋 児島郡下津井町大島沖十八尋	日 十一月廿一日	午後二時	快	南東	一、七	一、七	三、〇	二合満	東南、強東、弱	濁	波小	全	目下此近海ニハまじび漕網ハ 本月上旬ニ於テハ漕網ヲ終 了シノ回遊ヲ見ル然ルニ之 御セリ其他打漕網四ツ張網セ シト全時ニさわらノ襲來影 ハ建網おなで繩たて釣等ノ漁 ノ近年稀ナル兆候ヲ呈セリ之 期ナリ本年ハいなノ生育良好 ナルモノ、如ク		
		午後二時	快	南東	一、七	一、七	三、〇	二合満	東南、強東、弱	濁	波小	全			
邑久郡牛窓町沖十八尋 児島郡下津井町大島沖十八尋	日 十一月廿二日	午後二時	快	北東	一、八	一、八	三、〇	二合満	西北、弱	清	波小	全			
		午後二時	快	北東	一、八	一、八	三、〇	二合満	西北、弱	清	波小	全			
邑久郡牛窓町沖十八尋 児島郡下津井町大島沖十八尋	日 十一月廿三日	午後二時	快	南西	一、八	一、八	三、〇	二合満	西北、弱	清	波小	全			
		午後二時	快	南西	一、八	一、八	三、〇	二合満	西北、弱	清	波小	全			
邑久郡牛窓町沖十八尋 児島郡下津井町大島沖十八尋	日 十一月廿四日	午後二時	快	南西	一、八	一、八	三、〇	二合満	西北、弱	清	波小	全			
		午後二時	快	南西	一、八	一、八	三、〇	二合満	西北、弱	清	波小	全			

六十一

場所及水深		日	項目	天気	風向風力	空気温度	海面温度	比重	潮ノ干満	潮向強弱	水色濁度	海面ノ模	備考	記	事
兒島郡下津井町大島沖十八尋	日	十一月廿一日	午后二時	晴	北	九・二	九・〇	三・〇	極満	○	微濁	浪平	天候 曇	魚況	目下多ク次漕網なまて漕網け た漕網及びふら繩なご繩大 たて繩等ノ漁期ニツテ其他つ なしまいわしノ回遊多シ寄魚 漁業ハ漸ク漁機ニ近キアレト モ氣候温暖ナル爲メ魚群散在 シテ未投網スルニ至ラズ
		十一月廿二日	午后二時	晴	北	九・二	九・〇	三・〇	極初	○	微濁	浪平	天候 曇	魚況	目下多ク次漕網なまて漕網け た漕網及びふら繩なご繩大 たて繩等ノ漁期ニツテ其他つ なしまいわしノ回遊多シ寄魚 漁業ハ漸ク漁機ニ近キアレト モ氣候温暖ナル爲メ魚群散在 シテ未投網スルニ至ラズ
兒島郡下津井町大島沖十八尋	日	十一月廿四日	午后二時	晴	西	九・一	九・〇	三・八	千八合	弱東、弱西、弱	清	浪小	天候 全	魚況	中頃ニ於テ石線網ヲ開始シ 打漕網大網四ツ張網せいで建網 たて繩等ノ漁期ニツテ其他つ わなご繩たて釣等ノ漁業アリ
		十一月廿五日	午后二時	晴	東	九・一	九・〇	三・八	千九合	弱東、弱西、弱	清	浪小	天候 全	魚況	中頃ニ於テ石線網ヲ開始シ 打漕網大網四ツ張網せいで建網 たて繩等ノ漁期ニツテ其他つ わなご繩たて釣等ノ漁業アリ

四十年十二月海洋月次観測表

場所及水深		日	項目	天気	風色風力	空気温度	海面温度	比重	潮ノ干満	潮向強弱	水色濁度	海面ノ模	備考	記	事
兒島郡下津井町大島沖十八尋	日	十一月廿一日	午后二時	晴	北	九・二	九・〇	三・八	千四合	弱東、弱西、弱	清	浪中	天候 全	魚況	上旬ニ於テあなご繩たて釣ヲ 寄魚漁業ノ期節ナレトモ氣候 温暖ニツテ投網ノ機少ナレ其 終漁シぬり網きて突反中句ニ 至リい、たて、もたて漁を始 めあなご繩ノ漁業アリ ム其他打漕網石線網大網四ツ 張せいで建網等ノ漁業アリ
		十一月廿二日	午后二時	晴	北	九・二	九・〇	三・八	千四合	弱東、弱西、弱	清	浪中	天候 全	魚況	上旬ニ於テあなご繩たて釣ヲ 寄魚漁業ノ期節ナレトモ氣候 温暖ニツテ投網ノ機少ナレ其 終漁シぬり網きて突反中句ニ 至リい、たて、もたて漁を始 めあなご繩ノ漁業アリ ム其他打漕網石線網大網四ツ 張せいで建網等ノ漁業アリ
兒島郡下津井町大島沖十八尋	日	十一月廿三日	午后二時	雨曇	北	九・二	八・五	三・七	千五合	弱東、弱西、弱	清	浪小	天候 全	魚況	上旬ニ於テあなご繩たて釣ヲ 寄魚漁業ノ期節ナレトモ氣候 温暖ニツテ投網ノ機少ナレ其 終漁シぬり網きて突反中句ニ 至リい、たて、もたて漁を始 めあなご繩ノ漁業アリ ム其他打漕網石線網大網四ツ 張せいで建網等ノ漁業アリ
		十一月廿四日	午后二時	晴	北	九・二	九・〇	三・八	千五合	弱東、弱西、弱	清	浪小	天候 全	魚況	上旬ニ於テあなご繩たて釣ヲ 寄魚漁業ノ期節ナレトモ氣候 温暖ニツテ投網ノ機少ナレ其 終漁シぬり網きて突反中句ニ 至リい、たて、もたて漁を始 めあなご繩ノ漁業アリ ム其他打漕網石線網大網四ツ 張せいで建網等ノ漁業アリ

四十一年一月海洋月次観測表



場所及水深		日時		天気	風向風力	空氣溫度	海面溫度	比重	潮ノ干満	潮向強弱	水色清濁	海面ノ模様	備考	記	事
見島郡下津井町大富沖十八尋	日十一日	午後二時	午後二時	晴	北	11.0	8.5	1.020	五合干初	東南、強西北、弱西、弱西、弱	灰微濁	微	晴天候	漁況	
				午後二時	午後二時	曇	東	7.5	8.5	1.020	干	東、弱西、弱西、弱	清	全	全
見島郡下津井町大富沖十八尋	日十二日	午後二時	午後二時	曇	西	10.5	9.5	1.023	干	東、弱西、弱西、弱	清	波小	晴天候	漁況	
				午後二時	午後二時	晴	西	7.0	8.5	1.020	初滿	東、弱西、弱西、弱	濁	全	全
見島郡下津井町大富沖十八尋	日十四日	午後二時	午後二時	晴	西南	7.5	8.5	1.024	初滿	東南、強西南、弱東、弱	濁	波小	晴天候	漁況	
				午後二時	午後二時	曇	北	10.5	8.0	1.020	初滿	東南、強西南、弱東、弱	濁	波小	晴天候
見島郡下津井町大富沖十八尋	日十五日	午後二時	午後二時	曇	北	9.5	7.9	1.025	初滿	東南、強西南、弱東、弱	濁	波中	晴天候	漁況	
				午後二時	午後二時	晴	西	7.5	7.7	1.025	初滿	東南、強西南、弱東、弱	濁	波小	晴天候

四十一年二月海洋月次観測表

四十七

場所及水深		日時		天気	風向風力	空氣溫度	海面溫度	比重	潮ノ干満	潮向強弱	水色清濁	海面ノ模様	備考	記	事
見島郡下津井町大富沖十八尋	日十五日	午後二時	午後二時	晴	北	9.5	7.9	1.025	初滿	東南、強西南、弱東、弱	濁	波中	晴天候	漁況	
				午後二時	午後二時	曇	北	10.5	7.9	1.025	初滿	東南、強西南、弱東、弱	濁	波小	晴天候
見島郡下津井町大富沖十八尋	日十四日	午後二時	午後二時	晴	西南	7.5	8.5	1.024	初滿	東南、強西南、弱東、弱	濁	波小	晴天候	漁況	
				午後二時	午後二時	曇	北	10.5	8.0	1.020	初滿	東南、強西南、弱東、弱	濁	波小	晴天候
見島郡下津井町大富沖十八尋	日十一日	午後二時	午後二時	曇	北	9.5	7.9	1.025	初滿	東南、強西南、弱東、弱	濁	波中	晴天候	漁況	
				午後二時	午後二時	晴	西	7.5	7.7	1.025	初滿	東南、強西南、弱東、弱	濁	波小	晴天候

四十一年三月海洋月次観測表

四十七

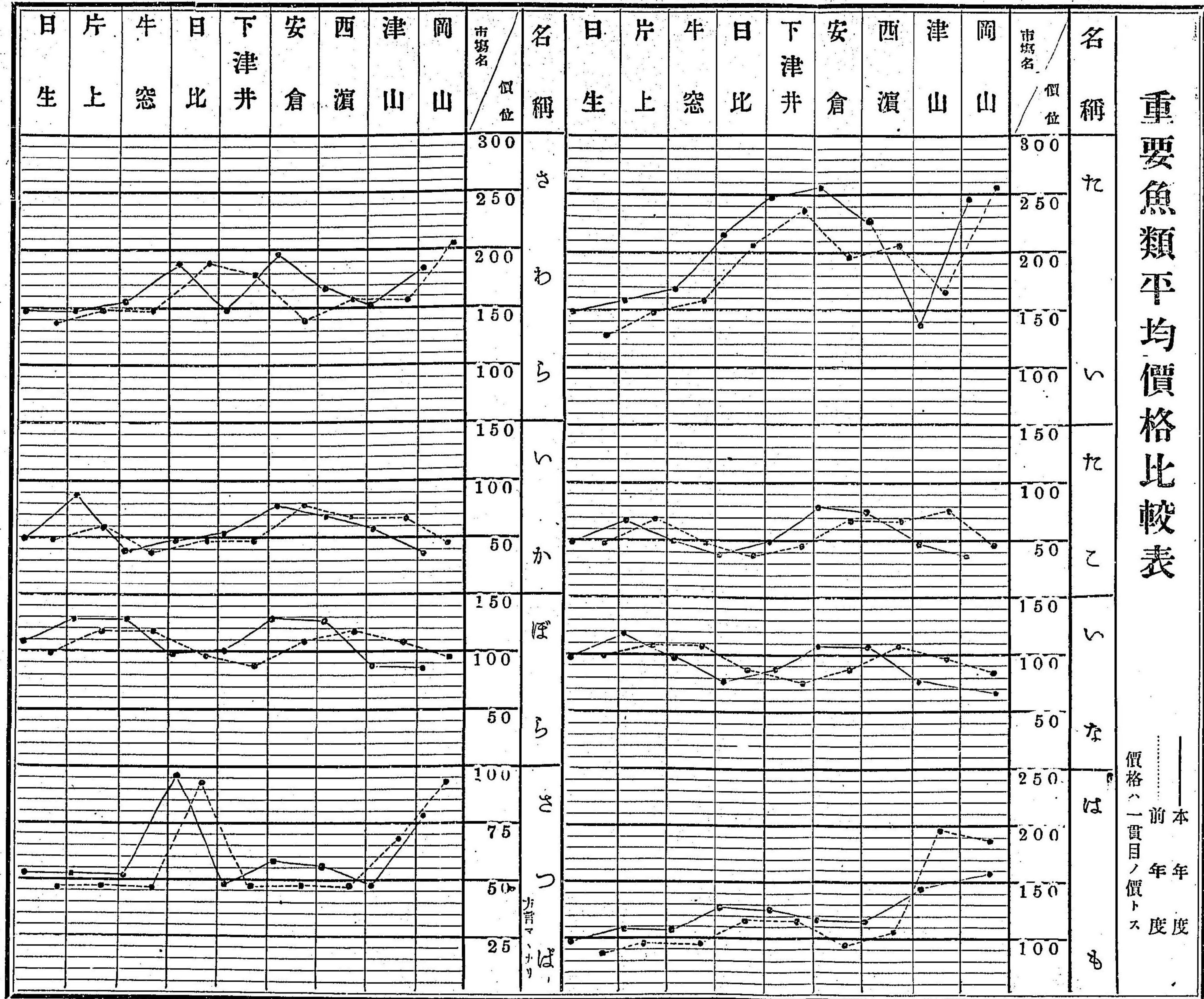
重要魚類販賣調査

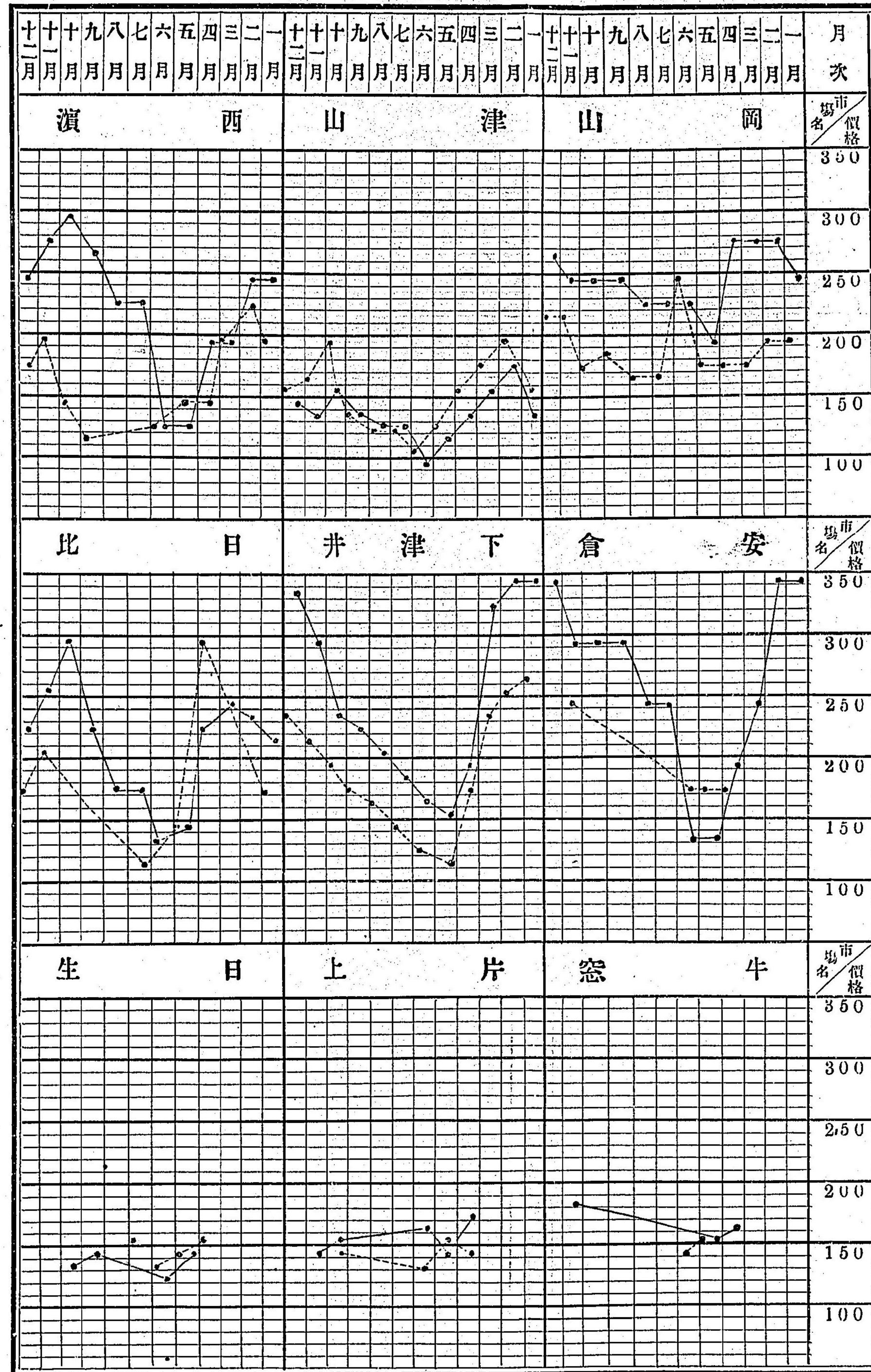
七十八

本調査ハ縣下重要魚類數種ニ就テ各市場毎ニ其平均價格及各時季價格ノ高低ヲ調査シ以テ當業者ノ參考ニ資セントスルニ在リ即チ其要項ヲ表示スル左ノ如シ

### 重要魚類平均價格比較表

本 年 度  
 前 年 度  
 價格ハ一貫目ノ價トス





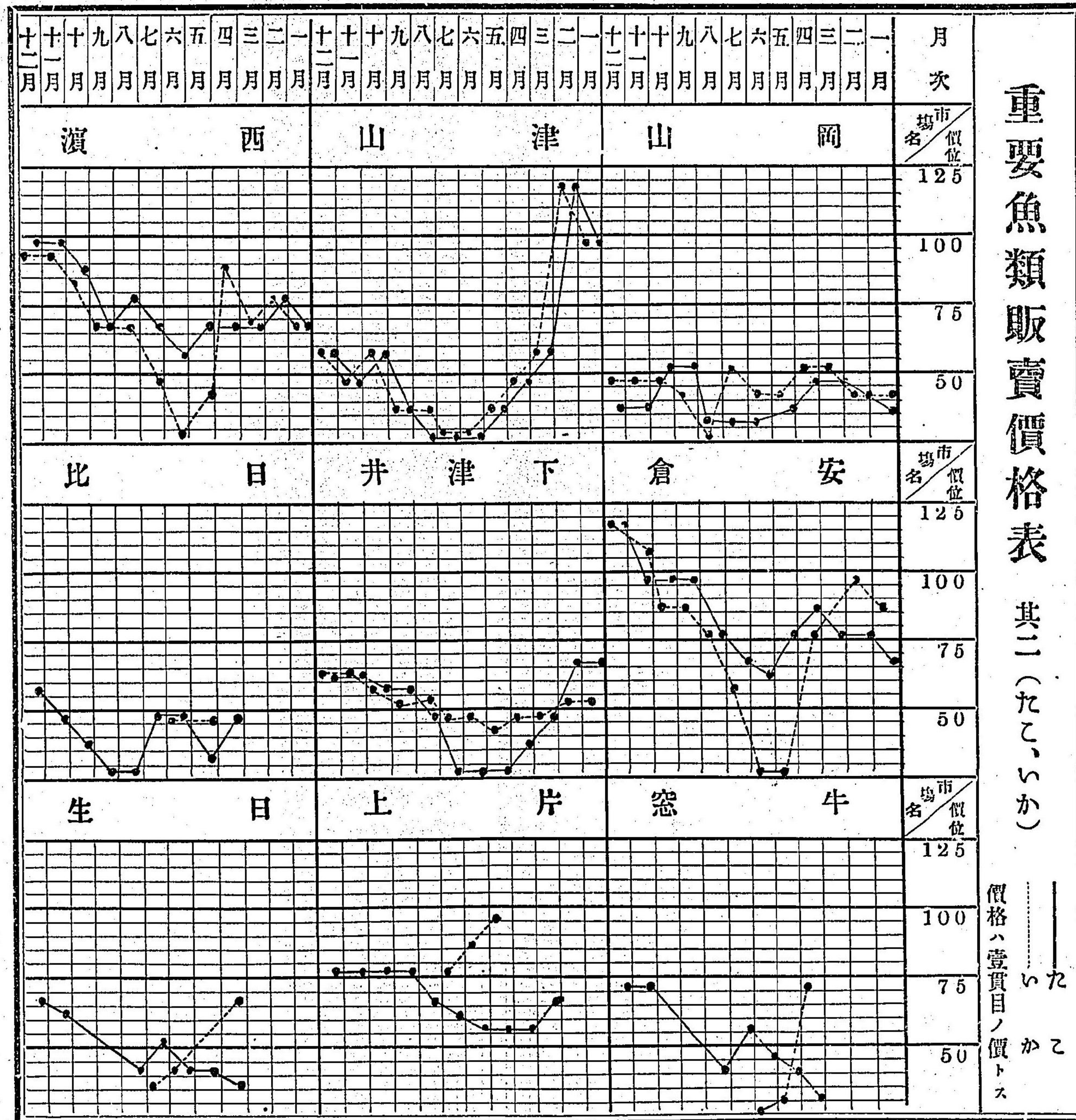
重要魚類販賣價格表 其一 (たい、さわら)

価格ハ壹貫目ノ價トス  
 た  
 さ  
 わ  
 ら  
 い

# 重要魚類販賣價格表

其二(たこ、いか)

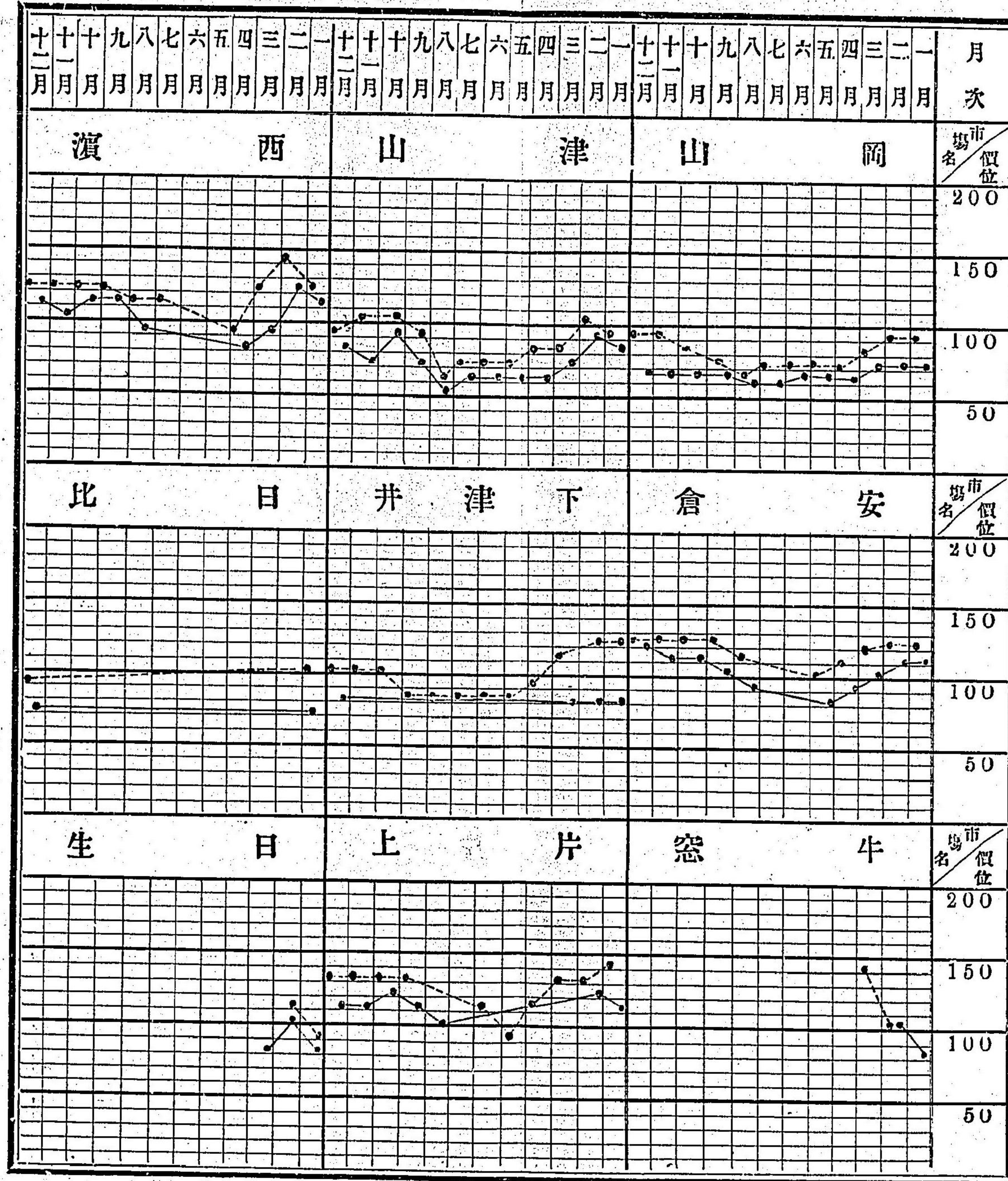
價格ハ壹貫目ノ價トス  
いた  
かこ



# 重要魚類販賣價格表

其三(いな、ぼら)

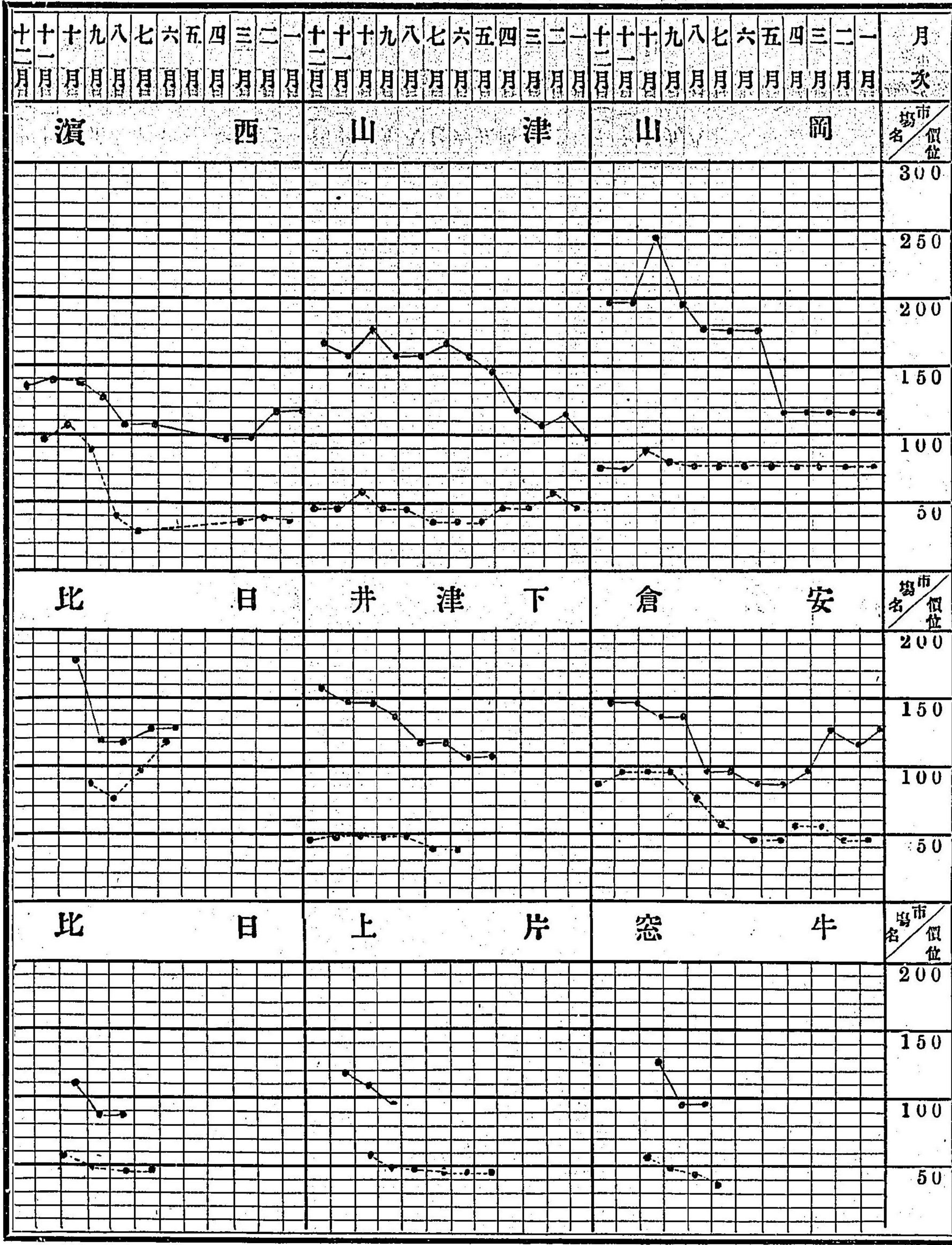
價格ハ壹貫目ノ價トス  
 ぼら  
 いな



# 重要魚類販賣價格表

其四 (はも、さつば、ウカリ)

價格ハ壹貫目ノ價トス  
 ..... は  
 ..... さつば  
 ..... も



### 鯉介蕃殖調査

本調査ハ本年度ノ創設ニ係リ兒島灣ニ於ル鯉ニ關スル發生及成育ノ狀況ヲ查察シテ適當ナル將來ノ保護法ヲ設定セントスルノ目的ニ外ナラズ本灣ニ於モ鯉ニ就テハ完備セル調査ヲ缺グヲ以テ第一着手トシテ其稚介發生區域ヲ測定スルコト、シ左記ノ方法ニ依テ二月一日ヨリ次年ニ亘リ之ヲ施行セリ但本年度ニ在テハ僅々ノ日子ニ係リ其成績ノ特記ヲ省キ次回ノ報告ニ譲レリ

#### 鯉發生地區域ノ測定方法

- 一 灣内實測圖ニ據リ豫メ測点約百三十個ヲ定メ茲ニ一々番号ヲ記入セル標識杭ヲ建テ其地点ニ就テ方二尺立方積ノ底土ヲ掘取リ之ヲ篩撰シテ其面積内ニ發生セル稚介ヲ採收シ其全個數及大小平均形体ヲ定ムルコト
  - 二 底質ノ測定
  - 前項ト同時ニ行フコト
  - 三 發生地盤ノ高低及水深ノ測定
- 前項ニ依テ大体ノ發生地區ヲ認定セシ上ニ於テ各潟地一定地点ノ高低並ニ水深ヲ實測スルコト

重要魚類販賣調査

鯉介蕃殖調査



四 發生區域ノ鹹度及水温ノ測定

本項ハ妹尾潟南大潟入濱近海ノ三ヶ所ニ觀測人ヲ囑托シテ毎日滿潮時一回之ヲ測定スルコト

五 潮流風向

本項ハ前項ノ觀測ニ伴テ同時ニ測定スルコト

六 餌料

本項ハ發生區域ニ就テ隨時場員之ヲ検査スルコト

白魚蕃殖保護調査

本調査ハ本年度ノ創始ニ係リ元來該魚ハ縣下兒島灣及之ニ注入セル各川其他高梁川下流等ニ産シ其漁獲散テ輕視スベカラザルモノアリ從テ從來之ガ漁季ニ制限ヲ設ケテ其濫獲ヲ制セシ結果近年漸次其生産ヲ増加セシ事實アルモ其産卵場産卵期其他食餌習性等特ニ確的ノ調査ヲ欠グテ以テ往々當業者間ニ制限時期ノ適否ニ疑ヲ挿ムノ餘地ヲ存スルヲ免レズ茲ヲ以テ如上ノ事實ヲ精査シ其結果ニ據テ現在ノ方法以上更ニ有効ノ保護ヲ加フルハ最モ必要ナルヲ認メ此目的ヲ以テ先ヅ兒島灣及之ニ係朝スル吉井朝日笹瀬ノ三川下流ニ就テ本年一月ヨリ翌四月ニ亘ルノ間隨時場員ヲ派シテ其漁獲物ヲ採收調

査シ尙別ニ毎日一定處ノ漁獲標本ヲ蒐集シテ比較研究ニ從事シ畧各項ノ大体ヲ明ニセ  
ルモ僅ニ一漁季ノ事實ヲ以テ將來永遠ヲ規シ難ヲ認メ尙次年ニ繼續シテ之ヲ施行スル  
ノ豫期トス從テ調査ノ成績ハ之カ完結ヲ待テ發表スベシ

實地傳習

養鯉傳習

本事業ハ前年度ノ創始ニ屬シ淡水養魚ノ獎勵上親鯉及鯉兒ノ配布ト相俟ツテ其必要ヲ認  
メ本年亦之ヲ施行セリ其規程ニ適合シテ傳習生トシテ採用セシモノ苫田郡ヨリ二名阿  
哲郡ヨリ一名トス傳習期間ハ五月一日ヨリ向ソ六十日間コレテ其間本場ニ於テ養鯉ニ  
關スル學理講習ノ旁ヲ恰モ鯉魚ノ採卵孵化季節ニ相當スルヲ以テ是等ノ技術ヲ實習セ  
シメタリ其成績ハ極テ良好ニシテ終了歸郡ノ後ハ共ニ地方ニ於テ養魚ニ從事セリ

海苔製造傳習

本事業ハ海苔養殖業ノ發展ニ伴ヒ勢地方ニ技術者養成ノ必要ヲ認メ幸ニ海苔製造試驗  
施設ニ兼テ之カ抄製技術傳習生ヲ募集シ一月二十六日ヨリ三月二十七日ニ至ルノ間兒  
島郡甲浦村大字飽浦ニ開始シ同村ヨリ四名ヲ採用シ一般製造方法ノ講説ト同時ニ實地

自魚蕃殖保護調査

養鯉傳習

海苔製造傳習

ニ其技術ヲ練習セシメ其修得証ヲ授與セリ

八十二

### 講話及實地指導

講話及實地指導ハ縣下當業者ノ請求ニ應ジ若クハ本場ニ於テ特必要ヲ認メタル場合  
員ヲ派シテ之ニ從事セシメタリ

講話 七回 但淡水養殖關係四回水産全般ニ係ルモノ三回  
實地指導 九回 但淡水養殖關係三回鹹水養殖關係四回漁業關係二回

明治四十二年四月十日印刷  
明治四十二年四月十五日發行

(非賣品)

## 岡山縣水産試驗場

岡山市大字船頭町三十七番地

印刷者 安井 宇吉

岡山市大字西中山下百五十四番地

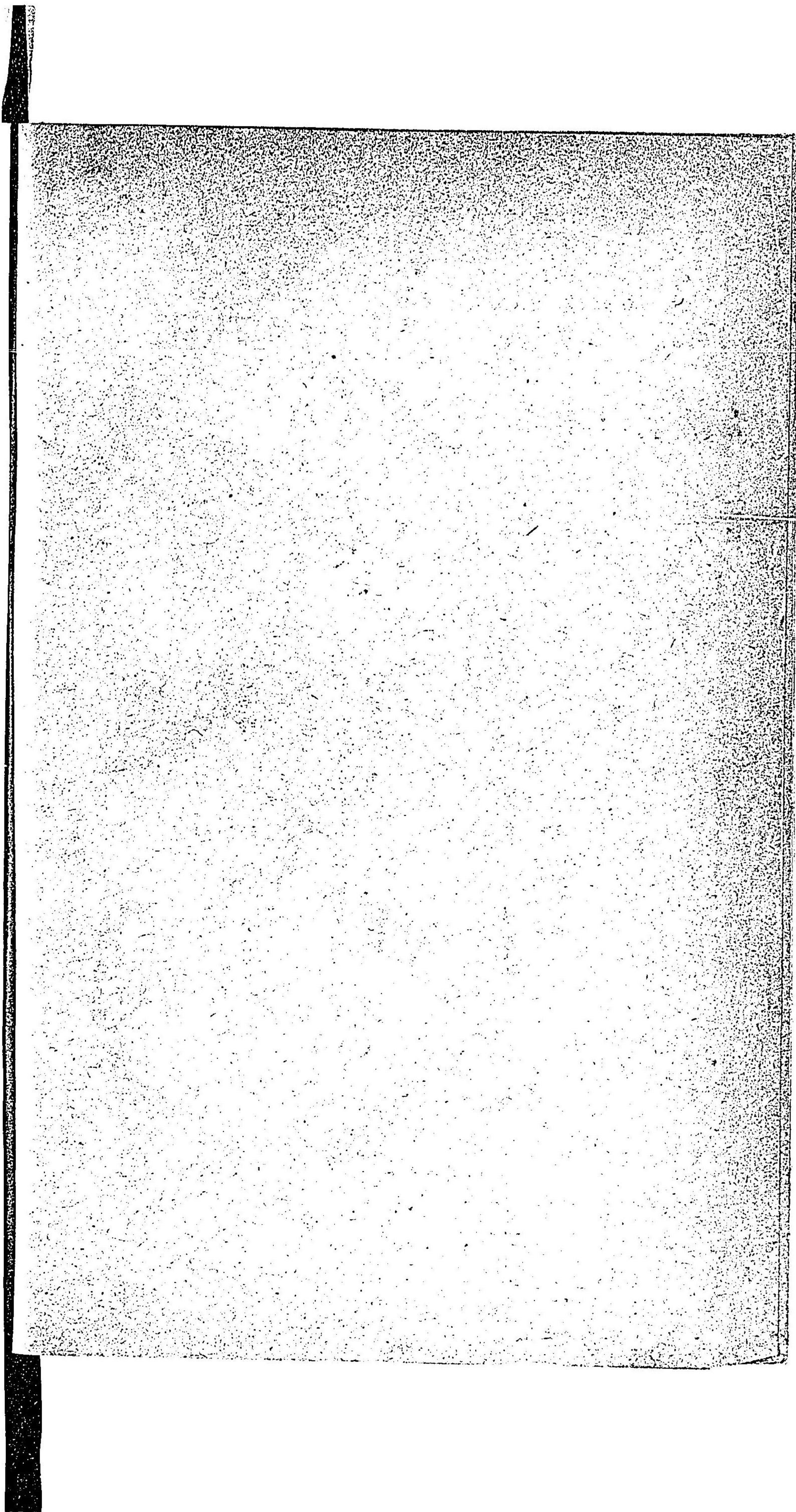
印刷所 山陽活版所

14.3  
10.1

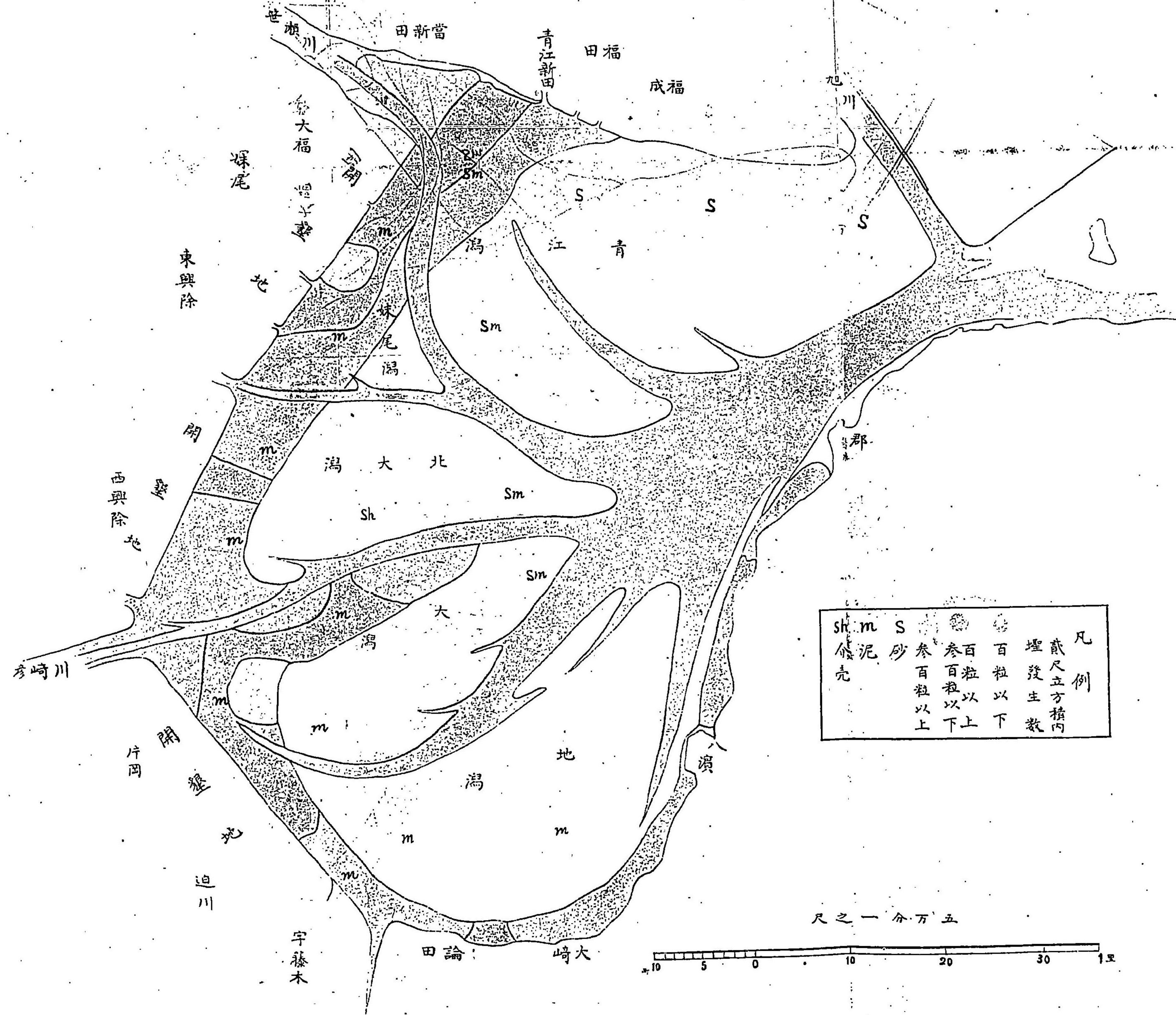
14.2  
104

明治四拾壹年度

岡山縣水產試驗場業務報告

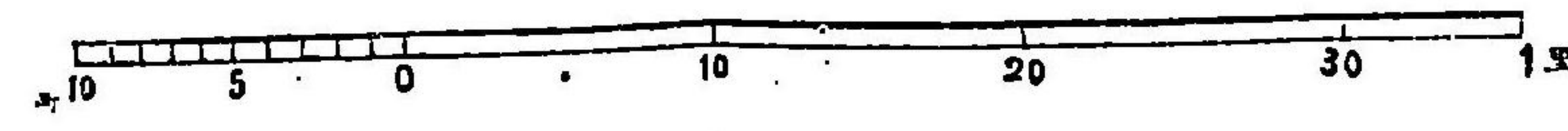


兒鳴灣內煙介發生區域圖



sh	m	S	(Symbol)	(Symbol)	凡例
介壳	泥	砂	參百粒以上	百粒以下	截尺立方積內
			參百粒以下	百粒以下	埋殼生數

尺之一分五

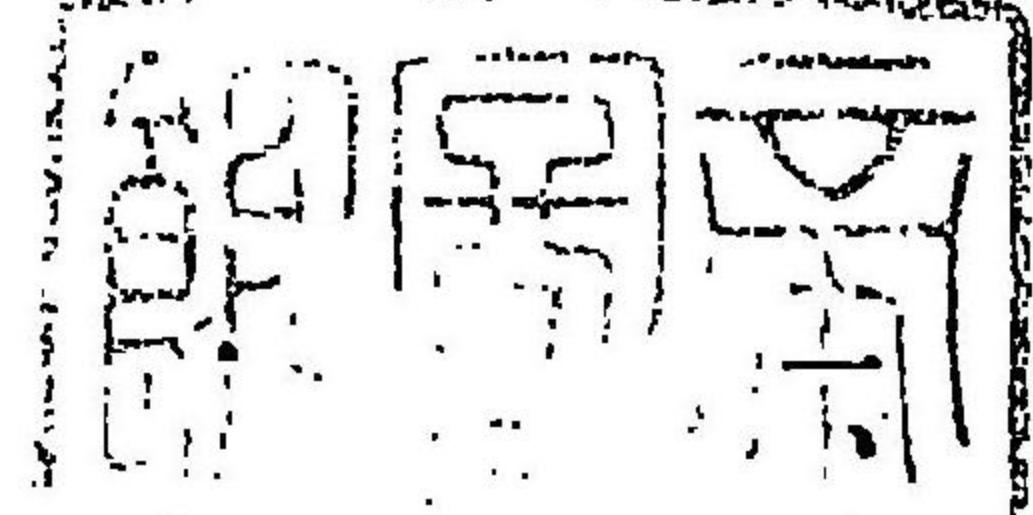


1421-154

明治四拾壹年 岡山縣水產試驗場業務報告

岡山縣水產試驗場寄贈本

目次



鯉兒養成及配付	二一
親鯉養成及配付	二二
稻田養鯉試驗	二三
鮭鯉養殖試驗	二五
牡蠣養殖試驗	三五
海風養殖試驗	三九
海苔移殖試驗	四〇
一、調查	
鯉調查	四二
白魚調查	五二

明治 43. 4. 22 寄贈

重要水産生物漁況調査……………五八  
海洋觀測……………七〇

一、實地傳習

養鯉傳……………八四

一、講話及指導

明治四十年 岡山縣水産試驗場業務報告

試驗之部

鯉兒養成及配附

本年度産卵發生當時、氣候概シテ平穩ニシテ晴雨寒暖ノ變化劇烈ナラズ極メテ順調ナリシ爲メ採卵後別ニ支障ヲ認メズ殊ニ稚仔養成ノ時期ニ於テハ氣候最モ適順ニシテ魚苗唯一ノ餌料ナル微細生物ノ一大發生ヲ極メ且ツ永ク其蕃殖ヲ持續セシニ依リ餌料富饒ニシテ稚魚迅速ノ發育ヲ遂ケ体長均一毫モ弱肉強食ノ害ナク極メテ良好ノ成績ヲ得タリ即チ親魚ノ保護ニ付テハ冬期防寒ノ裝置ヲ施シ三月二十日雌雄ヲ分養シ引續キ餌料ヲ給スルコト、シ四月三日ヨリ全二十日ノ間ニ於テ魚巢ノ調製餌虫ノ發生等採卵孵化ニ關スル諸般ノ準備ヲ了シ親魚ハ唯体量平均六百匁ノモノ三十尾雄体量平均四百匁ノモノ五十五尾ヲ使用シ四月二十日五月七日ノ二回混養シ四月二十四日及ヒ五月八日ノ二回ニ於テ卵數約百十餘萬ヲ採卵セリ而シテ孵化兒約八十萬尾ヲ得五月十日ヨリ七月十三日マデノ間ニ於テ飼育池面積四百廿四坪ニ對シ体長八九分ヨリ二寸マデノ鯉兒七十萬尾ヲ養成セリ

鯉兒養成及配附

本年度鯉兒配附ニ關シテハ前年ノ改正規程ニヨリ運搬ハ總テ本場ノ事業トシテ魚苗ノ安全ヲ期セリ而シテ鯉兒當初ノモノハ皆敵少キ稻田放養ヲ最モ有利トシ体長一寸以下ノモノモ亦安全ニ飼育シ得ラル、ニ依リ獎勵上從來配附ノ体長一寸以上ノ外向ホ其範圍ヲ擴張シテ下記訂正規程ノ通前記ノ魚苗ヲモ併セ配附スルコト、シテ請求書ノ提出ハ期限ヲ五月二十日ト定メ一般ニ公示シテ汎ク請求ヲ徵シタリ而シテ請求ハ殆ント縣下ノ一圓ニ亘リ頗ル多數ナリシカ書類ノ延着セシモノ及規程ニ副ハサルモノヲ除キ之レニ本場ノ見込ヲ以テ特ニ採用シタル數件ヲ合スレバ件數七十九件ニシテ之レヲ細別スレバ郡農會十一村農會五十一漁業組合二町村長二學校三公共團體十トス其請求尾數ハ百三十三萬四千五百八十五尾ニシテ分配率ハ之レヲ前年度ニ倣ヒ養魚獎勵上ノ緩急ヲ計リ別ニ標準ニ依リ本場用其他配附中ノ斃魚ヲ除キ鯉兒六十七萬六千四百二十一尾ヲ五月三十日ヨリ拾月二十日マデノ間ニ於テ縣下各郡へ悉ク運搬配附シタリ尙ホ項ヲ分テ以下ニ詳説セバ左ノ如シ

親魚

- 一 系統 東京深川區千田町服部倉次郎飼育ニ係ルモノ元信州種
- 二 雌雄數 雌三十尾 雄五十五尾

三 各体長重量

雌体長二尺余 体量一貫百匁 二尾  
 同 一尺八寸 同 八百匁 四尾  
 同 一尺六寸 同 六百六十匁 十五尾  
 同 一尺四寸 同 四百二十匁 九尾  
 但シ使用尾數三十尾ニシテ此重量十九貫八十匁  
 雄体長一尺六寸 体量六百五十匁 四尾  
 同 一尺 寸 同 四百八十匁 廿三尾  
 同 一尺二寸 同 三百匁 廿八尾  
 但シ使用尾數五十五尾ニシテ此重量二十二貫四十匁

四年齡

雌 二尾 拾壹年生  
 同 四尾 八年生  
 同 十五尾 雄 四尾 六年生  
 同 九尾 同二十三尾 五年生

鯉兒養成及配附



同 一 同二十八尾 四年生

五 產卵池ニ移スマテノ飼食方法

親魚ハ最モ日當リ良キ養池ヲ撰ビ尙ホ防寒用トシテハ池堤北邊ノ一角ニ於テ古莖ノ類ヲ以テ水面上屋根形ニ覆ヒテ施シ越年セシムルモノニシテ初春漸ク暖氣ヲ催シ鯉魚食欲ノ兆アルヲ窺ヒ更ニ產卵池接近ノ養池ニ分養シ唯雄ノ成熟ヲ待ツテ產卵池ニ移スモノトス。其他親魚保護ニ就テハ產卵前後体力養成ノ注意ハ原ヨリ只管池水温度ノ維持ニ努メ以テ可及的食欲ノ増進ヲ計リ飼育セリ而シテ其餌料ハ米蝦蠶蛹麥粉糠ノ混合餌料ニシテ分養後ハ每朝午前十時一回左記ノ分量ニ依リ投餌セリ

三月中投餌料 米蝦 五升 蠶蛹 五升 麥粉糠 一斗

四月中投餌料 米蝦一斗五升 蠶蛹一斗五升 麥粉糠 二斗二升

五月中投餌料 米蝦 六升六合 蠶蛹五升 麥粉糠 七升五合

產卵孵化

一 着卵ノ材料及其分量

魚巢ノ材料トシテハ從來楊柳ノ聚藻(金魚藻棕椶皮稻苗芝草等種々アリト雖モ

經驗上楊柳聚藻ノ二種ヲ適材トス而シテ楊柳根ハ塊狀ノ毛根ヲ櫛梳分解シ數回煮洗ノ後能ク溪流ニ滴汁ヲ去リ聚藻ハ流水中ニ著生シ質堅靱ナルモノヲ撰ビ害蟲及卵子ノ附着ヲ除キ洗淨シタルモノニシテ前者ハ十株ヅ、ヲ後者ハ十握ヅ、ヲ總狀ニ結束シ使用スルモノトス然レドモ晚産ノ場合ハ腐朽若クハ滴汁ヲ浸出シ孵化池ヲ害スルコトアリ故ニ本場ニ於テハ十二分滴汁ヲ去リタル楊柳根ヲ採用セリ即チ本年度使用數量楊柳根四十房聚藻十房トス

二 產卵時

產卵池ニ移シタル日時 產卵セシ日時

第一回 四月二十日午後一時 四月二十四日自午前五時至全十一時

第二回 五月七日午前十一時 五月八日自午前四時至全十時

三 卵數 約百十萬粒

第一回 約七十萬粒

第二回 約四十萬粒

四 孵化時

第一回 自四月二十七日午前八時

鯉兒養成及配附

至四月二十九日午後二時  
 第二回 自五月十一日午前十時  
 至五月十三日午前七時  
 五 孵化百分率 百分中約七十二強  
 第一回 卵數七十萬 約五十萬  
 第二回 卵數四十萬 約三十萬  
 六 產卵孵化時期中ノ氣象

採卵孵化氣象表

月日	時	天候	氣温	産卵池水 孵化池水	風向	風力	雨量	比重	記事
四月廿五日	午後六時	晴	12.0	12.0	南	0	0	1.001	
	午後二時	晴	12.0	12.0	南	0	0	1.001	
	午前十時	晴	12.0	12.0	南	0	0	1.001	
四月廿四日	午後六時	晴	12.0	12.0	南	0	0	1.001	
	午後二時	晴	12.0	12.0	南東	0	0	1.001	第一回分産卵
	午前十時	晴	12.0	12.0	西	0	0	1.001	

月日	時	天候	氣温	産卵池水 孵化池水	風向	風力	雨量	比重	記事
四月廿六日	午前十時	曇	12.5	12.5	南西	0	0	1.001	
	午後二時	雨	11.0	11.0	西	0	12.5	1.001	
	全六時	雨	10.5	10.5	西	0	0	1.000	第一回分産化ヲ始ム
四月廿七日	午前十時	晴	10.0	10.0	北西	1	1.5	1.000	
	午後二時	晴	11.5	11.5	北西	1	0	1.000	
	全六時	晴	12.0	12.0	西	1	0	1.000	
四月廿八日	午前十時	晴	12.0	12.0	北	1	0	1.001	
	午後二時	晴	12.5	12.5	北	1	0	1.001	
	全六時	晴	12.5	12.5	北	1	0	1.001	全上孵化ス
四月廿九日	午前十時	晴	12.5	12.5	北西	1	0	1.001	
	午後二時	晴	12.0	12.0	北西	1	0	1.001	
	全六時	晴	12.5	12.5	北	1	0	1.001	終ル全上孵化ヲ
四月三十日	午前十時	晴	12.5	12.5	北	1	0	1.001	
	午後二時	晴	12.5	12.5	南	1	0	1.001	
	全六時	晴	12.0	12.0	南	1	0	1.001	
五月一日	午前十時	晴	12.5	12.5	南	1	0	1.001	
	午後二時	晴	12.0	12.0	南	1	0	1.001	
	全六時	晴	12.0	12.0	南	1	0	1.001	

鯉兒養成及配附

鯉兒養成及配附

五月十三日	五月十二日	五月十一日	五月十日	五月九日	五月八日
全六時 午後二時 午前十時	全六時 午後二時 午前十時	全六時 午後二時 午前十時	全六時 午後二時 午前十時	全六時 午後二時 午前十時	全六時 午後二時 午前十時
晴 晴 曇	晴 晴 晴	晴 晴 晴	雨 曇 晴	曇 晴 曇	晴 晴 晴
二八、五 一九、〇 一五、五	一八、五 二〇、〇 二二、五	一八、一 二八、〇 三三、五	一七、〇 一八、五 二〇、五	二四、〇 二四、二 二四、五	二〇、〇 二二、五 二五、〇
二二、五 二〇、〇 一九、〇	二四、五 二二、〇 二〇、〇	二五、〇 二九、〇 三三、五	二〇、〇 二二、五 二四、五	二四、〇 二四、五 二五、〇	二二、五 二二、五 二二、五
三、〇 〇、〇 〇、〇	三、〇 三、〇 三、〇	三、〇 三、〇 三、〇	三、〇 三、〇 三、〇	三、〇 三、〇 三、〇	三、〇 三、〇 三、〇
西 西 西	西 西 南	南 東 南	南 南 西	西 西 北	南 南 北
〇 一、五 三、五	一、五 一、五 三、五	三、五 三、五 三、五	一、五 〇、〇 〇、五	二、五 三、五 四、〇	一、五 二、五 三、〇
    	    	    	 〇、〇 	    	    
一、〇〇一 一、〇〇一 一、〇〇一	一、〇〇一 一、〇〇一 一、〇〇一	一、〇〇一 一、〇〇一 一、〇〇一	一、〇〇一 一、〇〇一 一、〇〇一	一、〇〇一 一、〇〇一 一、〇〇一	一、〇〇一 一、〇〇一 一、〇〇一
終ル 同上孵化ナ	同上孵化ス	第二回分卵 化ヲ始ム			第二回分産 卵ス

五月七日	五月六日	五月五日	五月四日	五月三日	五月二日
全六時 午後二時 午前十時	全六時 午後二時 午前十時	全六時 午後二時 午前十時	全六時 午後二時 午前十時	全六時 午後二時 午前十時	全六時 午後二時 午前十時
晴 晴 晴	晴 晴 晴	晴 晴 晴	晴 曇 雨	曇 雨 雨	雨 雨 晴
二七、五 二五、〇 二二、〇	二二、五 二二、二 二一、五	二〇、〇 二〇、〇 一九、五	一八、〇 一八、五 一九、〇	一八、〇 一八、五 一九、〇	一八、〇 一八、五 一九、〇
二五、〇 二二、〇 二〇、〇	二二、〇 二〇、〇 一九、五	二〇、〇 二〇、〇 一九、〇	一九、〇 一九、五 二〇、〇	一九、〇 一九、五 二〇、〇	一九、〇 一九、五 二〇、〇
三、〇 三、〇 三、〇	三、〇 三、〇 三、〇	三、〇 三、〇 三、〇	三、〇 三、〇 三、〇	三、〇 三、〇 三、〇	三、〇 三、〇 三、〇
南 南 北	南 南 北	北 西 東	西 西 北	北 北 東	南 南 南
〇、〇 一、五 三、五	二、五 二、五 二、五	一、五 二、五 三、五	〇、〇 〇、〇 〇、〇	二、五 一、五 二、五	二、五 二、五 二、五
    	    	    	 〇、〇 	    	    
一、〇〇一 一、〇〇一 一、〇〇一	一、〇〇一 一、〇〇一 一、〇〇一	一、〇〇一 一、〇〇一 一、〇〇一	一、〇〇一 一、〇〇一 一、〇〇一	一、〇〇一 一、〇〇一 一、〇〇一	一、〇〇一 一、〇〇一 一、〇〇一

七 產卵後親魚ノ飼育餌料

五月中投餌	米蝦二斗五升	蠶蛹二斗	麥粉糠一斗八升
六月中投餌	米蝦三斗五升	蠶蛹二斗五升	麥粉糠二斗五升
七月中投餌	米蝦	蠶蛹六斗	麥粉糠六斗
八月中投餌	米蝦	蠶蛹六斗五升	麥粉糠六斗五升
九月中投餌	米蝦	蠶蛹四斗五升	麥粉糠四斗五升
十月中投餌	米蝦	蠶蛹一斗六升	麥粉糠三斗四升
十一月七日中止	米蝦	蠶蛹三升	麥粉糠六升五合

十

鯉兒養成

鯉兒ハ食餌不良若シクハ缺乏ノ場合ハ相互ノ間盛シニ生存競争ヲ開始シ忽チ大小不同ノ發達ヲ爲シ分養困難ニシテ食害益々猛烈ヲ極メ遂ニ失敗ニ終ルコトアリ故ニ稚仔ノ飼育ニ付テハ專ラ均等ノ發達ヲ遂ケ弱肉強食ノ弊ヲ避ケシムルニアリテ鯉兒ハ臍囊ヲ消失シ魚巢ヲ游離スルト同時食餌ヲ求ムルモノナレトモ稚仔ノ活動ヲ見ルニ及テ初メテ餌料ヲ給スルモノニシテ當初數日間ハ煮熟セル卵黃溶液(鶏卵ノ黃味)ニ依リ之レヲ飼育シ其間魚兒ノ体力ヲ一定シ飼育池ニ放流スルモトス而シテ各飼育池

内ニアリテハ稚兒成育上缺クベカラサル餌料トシテ豫メ「ミヤンコ」ヲ養成準備セシガ魚苗放流當時ニ於テハ該餌蟲ノ一大蕃殖ヲ極メ池面爲メニ赤色ヲ呈スルニ至リ且ツ二週以上同様ノ蕃殖ヲ持續セシニ依リ魚苗ノ發育完全ニシテ體長同大些ノ障害ヲ見ズ又大小分養ノ煩ナク能ク成育シ得タリ而シテ補足餌料トシテハ體長六七分ノ當時ニ於テハ「已ニ」(澤ミ)、(ズ)二名(アカニ)ヲ細切粉碎シタルモノヲ給シ體長八九分以上ノモノニアリテハ全体ノ儘若シクハ煮熟シタル麥粉糠ニ混和シ若シクハ蠶蛹粉麥粉糠ノ混合煮熟シタルモノヲ給與シタリ殊ニ飼育中ハ育水ノ腐敗セザル限リ只管餌料ノ充實ヲ計リシカ成長迅速ニシテ分養ハ單ニ體長一寸内外ノ間ニ於テ一回之レヲ行ヒ以テ相互ノ侵害ヲ豫防シタルノミ

一 天然餌料ノ發生及其程度

餌蟲ノ養成ハ四月三日池水ヲ乾涸シ四月七日ヨリ全十五日ノ間ニ於テ池面十坪ニ對シ人糞三荷弱ノ割合ニテ池坪四百廿四坪ニ對シ人糞百五十二荷ヲ撒入シ尙ホ補足肥料トシテ醬油粕五十貫油粕二十貫ヲ使用シタリ又之レト同時ニ育水五六寸ヲ注入シ爾後二週日ヲ經テ水色ヲ變スルニ及ンテ更ニ池水五六寸ヲ増加シ「ミヤンコ」ノ母蟲ヲ放流シ之レカ蕃殖ヲ促シタリ而シテ微細生物ノ發生ハ當時植物性生物ノ全盛

鯉兒養成及配附

十一

期ヲ經テ動物性生物ニ及ホリ遂ニ「ミヤノ」ノ蕃殖ヲ見ルニ至ル即チ水色ハ施肥當時ノ濃褐色ハ漸次退色シテ淡綠色ニ變シ順次青藍黃ノ各色ヲ經テ紅褐色ヲ呈スルモノ、如ク此時代ヲ以テ「ミヤノ」ノ全盛期トス本年度餌虫蕃殖ノ盛期ハ五月六日ヨリ全二十五日ニ至ル間ニシテ池水一斗ニ對スル生物ノ量ハ三十五c.m.以上六十c.m.ノ間ニシテ實ニ稀有ノ發生ヲナセリ

二 使用池ノ種類及面積

池名	水深	面積	摘要
產卵池	二尺五寸	四九坪	親鯉兼用
孵化池	一尺二寸	二〇坪	專用
親池	三尺五寸	二七坪	飼育池兼用
全	三尺五寸	二七坪	同上
飼育池	二尺五寸	一一〇坪	專用
全	二尺五寸	八五坪	親魚兼用
全	二尺五寸	一一五坪	同上
全	二尺五寸	二〇坪	專用

全	二尺五寸	二〇坪	專用
全	二尺五寸	二〇坪	專用

三 飼育池放流及取揚月日

第一回分	放流月日	取揚月日
五月四日	自五月三十日至七月五日	
第二回分	五月十六日	自六月十日至十月二十日

四 飼育中投餌ノ種類及數量

種類	數量
雞卵	百五十九個
溝ミ、ズ	十四石九斗六升四合
蠶蛹	二石四斗
小麥粕	五斗
麥粉糠	二石六斗
五發成魚ノ大サ及數量	

飼育池四百二十四坪ニ對シ孵化後五日以内ノモノ合計約八十萬尾ヲ放流シ結果左

ノ如シ  
体長

尾數

七八分以上	四四〇、七〇七尾
一寸以上	二二四、一九〇尾
一寸五分以上	七三二、四尾
二寸以上	五二〇〇尾

魚兒運搬及配布

一 運搬法

鯉兒ノ運搬ハ主トシテ東京製五重ノ金魚擔桶及本場ノ考案ニ係ル送氣貯水ノ裝置ヲ有スル二重運搬擔桶トノ二種ニ依リ各郡ノ中央点一ヶ所若クハ二ヶ所ノ地ヲトシ五月三十日ヨリ七月廿六日ノ間ニ於テ安全ニ運搬配附ヲ了シテテテ前者ハ裝置簡便ニシテ專ラ八肩ノ運搬ニ適セリト雖モ後者ハ八肩其他船車運搬ヲ兼テ至便ナリ

二 配附後ノ飼育

鯉兒ノ幼時ハ他種族間ノ吞噬ハ原ヨリ同族相食シ弱肉強食ノ弊劇烈ニシテ總

テ害敵多シ生活困難ナルヲ以テ天然池沼溝渠ニ於テハ被害最モ盛ナリ故ニ鯉魚當初ノモノハ假令目的ノ池沼ニアルモノト雖モ一般ニ稻田養鯉ヲ實行セシメ体長四五寸以上ニ達シ他魚ノ食害ヲ受ケサル時期即チ秋期ニ及ンデ全然池沼ニ放養セシムルカ或ハ食用魚ノ目的ニ依リ稻田ニ放養セシムルモノニシテ本場ノ配布セル鯉兒ノ大部ハ池沼飼育ノ目的ナリト雖モ配布當年ノモノハ概チ一ヶ年稻田ニ飼育セラル、モノトス

三 魚苗配附規程

第一條 配附スベキ魚苗ノ種類、名稱數量請求期日等ハ該場ヨリ之レヲ公示ス

第二條 魚苗ノ配布ヲ受クベキモノハ左記ノモノニ限ル

- 一、本縣内設置ノ農事又ハ水産ニ關係アル實業學校
  - 二、本縣内ニ設置セル農事又ハ水産ニ關係アル法人又ハ實業團體
  - 三、其他水産試驗場ニテ必要ト認メタルモノ
- 第三條 魚苗ハ左ノ代價ヲ以テ拂下クルモノトス

体長七分以下	一尾ニ付金五毛
体長一寸	一尾ニ付金一厘

鯉兒養成及配附

体長一寸三分 一尾ニ付金一厘五毛

体長一寸五分以上一尾ニ付金二厘

第四條 魚苗ハ終始自己ニ於テ放養スルモノニアラサレバ配附セス

第五條 鯉兒ノ配附數量ハ左ノ標準ニ據ル

一 水田一反歩ニ付一千尾以内

一 池沼一反歩ニ付二千尾以内

第六條 配附スヘキ鯉兒ノ体長及數量ハ水産試験場ニ於テ適宜制限處辨シ又

ハ全然其請求ニ應ゼザルコトアルベシ

第七條 鯉兒ノ配附ハ一郡一ヶ所ヲ限リ便宜ノ地点ヲ定メ水産試験場ニ於テ

運搬スルモノトス

但シ自己ノ運搬ヲ便トスル所ハ其旨請求書ニ附記スベシ

第八條 配附ノ通知ヲ受ケタルトキハ期日ヲ誤ラズ必ズ指定ノ個所ニ出頭シ

テ之ヲ受領スベシ期日ヲ後レテ出頭スルモノコハ配附セザルコトアルベシ

第九條 放養スベキ個所ハ其水田タルト池沼タルヲ問ハズ之レカ脱逸ヲ防止

スルコトノ設備ヲ要ス

第十條 本規程ニ依リ魚苗ヲ請求セントスルモノハ第一号書式ニ依リ本縣水産試験場ニ提出スベシ

配附ヲ受ケタルモノハ第一号書式ニ依リ左ノ月日マデニ該場ニ報告スベシ

一 水田ニ放養シタルモノハ其年ノ十月十五日

一 池沼其他ニ放養シタルモノハ毎年十月十五日マテニ其大体ヲ報告スベシ

シ之ヲ採捕シタル時書式ニ依リ詳細報告スルヲ要ス

魚苗ノ請求及報告ハ總テ所轄郡市農會ヲ經由スルモノトス

第一号書式 (用紙半紙形)

一品名

一 放養地目

一 放養個所數竝ニ各其面積

一 放養魚ノ底質及附近ノ關係

一 脱逸防止ノ方法

一 請求數量

右請求候也

鯉兒養成及配附

年月日

郡市町村

十八

請求者 氏

名 印

岡山縣水産試験場長宛

第二号書式 (用紙半紙形)

何魚放養試験成績報告

郡市町村

放養者 氏

名

一放養年月日

一放養尾數 (平均体長)

一放養地目

一投餌の有無

一採捕年月日

一採捕尾數 (平均体長)

一收支經濟ノ概要

備考

- 一法人又ハ實業団体等ニ於テハ其法人又ハ實業団体中ニ於ケル各放養所ノ分ヲ取纏メ報告スベシ
- 一數量ハ尾數又ハ貫目等適宜記載スベシ
- 一必要事項ニハ附近ノ關係放養中ハ出來事等參考ニ資スベキコトハ可成詳細ニ記載スベシ

四 鯉兒配布表

郡市名	田池	反	別	請求	數	配布	數
岡山市	田池				10,000		1,000
御津郡	田池				10,000		1,000
赤磐郡	田池				10,000		1,000
和氣郡	田池				10,000		1,000
久米郡	田池				10,000		1,000
上道郡	田池				10,000		1,000

鯉兒養成及配附

十九



久米郡	英田郡	苦田郡	阿哲郡	川上郡	上房郡	吉備郡	後月郡	小田郡	淺口郡	都窪郡	兒島郡
田池	田池	田池	田池	田池	田池	田池	田池	田池	田池	田池	田池
1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000

親鯉養成及配附

眞庭郡	計
田池	田池
1,000,000	1,000,000
1,000,000	1,000,000
1,000,000	1,000,000

本事業ハ鯉苗配附ト相俟テ縣下ニ於ケル魚種改良及ヒ養鯉業ノ發達ヲ期スル爲メ前年度ノ方法ヲ繼承シ本場構内養池面積六十坪ヲ充用シテ從來所要ノ親鯉百十一尾ヲ育成スル外三十九年及四十年生鯉兒一千尾中特ニ成育完全形態優良コシテ体長一尺以上体量百八十匁乃至二百五十匁ノモノ五百尾ヲ撰擇養成セリ而シテ當飼育中ハ育水缺乏ノ爲メ酷暑三四週日ノ間飼料ヲ減少シ若シクハ全ク廢止セシコトアリシガ概シテ支障ヲ感セス經過概ネ良好ナリ投餌ハ混合餌料トシテ蠶蛹粉三十八貫麥糠二十三石ヲ給シ年未調査ノ結果鯉兒三四年生ノモノ体長一尺一二寸体量平均三百六十匁内外ニ成育セリ本年度採卵用親鯉ノ請求ハ淺口郡一都窪郡一邑久郡三上道郡一兒島郡一ノ七ヶ町村ニシテ其要求尾數百八十尾ナリシカ内運搬時機ヲ失セシ一町村ヲ除キタルモノニ對シ養成魚中親魚トシテ尤モ適當ナルモノ即チ体長一尺二寸体量二百六十匁乃至四百三十匁

親鯉養成及配附

ノ雌雄二百尾ヲ撰擇シ三日間活洲船ニ馴養シタル後四月五日左記ノ通り拂下ヲ爲セリ

請求者町村名	請求數	拂下		摘
		雌魚	雄魚	
都窪郡妹尾町	九	三	六	自家及町村農會兼營ノ爲メ
淺口郡船穂村	九	三	六	村ノ營ノ爲メ
邑久郡	二〇	七	一三	村ノ農會事業ノ爲メ
邑久郡行幸村	三〇	一〇	二〇	同上
全 本莊村	六	二	四	同上
上道郡玉井村	八	三	五	家營ノ爲メ
計	一三二	六二	七〇	

### 稻田養鯉

本事業ハ前年度來ノ繼續事業ニシテ本年度ハ特ニ稻作トノ關係ヲ明確ナラシムル爲メ縣農事試驗場ト協定施行セリ試驗地ハ吉備郡高松村大字高松ニ於テ水田六十坪ツ、テ劃シ比較地毛餌地及投餌數量ヲ異ニシタル甲乙放養地ノ四區ニ分チ各地ノ保護ヲ一定セシ爲メ稻田ハ何レモ水源三寸ニ止メ各株間ノ距離チ一尺トシ一株八本ト定メ七月三日插苗ヲ了シ次テ鯉兒體長三寸内外ノモノ百二十尾ツ、チ放養シタリ而シテ放養地ハ

脱魚ト害敵ヲ豫防スル爲メ畦畔ノ除草ト墾牢ヲ圖リ注排口ハ細目ナルニ様ノ竹簀ヲ特設シマタ一面米作ノ保護トシテハ除草ニ回石油注射一回之レヲ行ヒタリ  
 今各區ノ施肥投餌ヲ舉グレバ酒精粕三貫三百匁硫曹六号三十六匁ニシテ餌料ハ甲投餌地ハ米麥糠一石二斗干蠶蛹粉六貫乙投餌地ハ米麥糠六斗干蠶蛹粉三貫ヲ給與セリ而シテ當飼育中ノ經過ニ付テハ一回ノ大雨出水アリテ多少ノ鯉兒ヲ逸シタル外別ニ異變ヲ認メズ  
 九月二十日ノ落水時期ニ於テ投餌地甲ハ體長六寸體量約四十五匁ノモノ九十尾乙ハ體長五寸體量約三十匁ノモノ九十八尾チ又無餌地ハ體長四寸體量約十二匁ノモノ八十二尾チ得タリ尙ホ叙上ノ順序ニ依リ玄米作付ケノ實收ヲ掲クレバ五斗七升五斗三升五斗五合四斗九升八合ノ割合ニシテ他ニ米質ノ影響ヲ見ス投餌ハ無餌ニ比シ一層收入多ク又投餌量ノ多キハ其少キニ比シ利益大ナリ然レドモ精密ナル事業經濟ノ得失ニ至リテハ土質施肥育水ノ多少水質氣候等ノ關係ハ原ヨリ事業上ノ熟否保護ノ厚薄ニ關スルコト多大ナルヲ以テ一二試驗ノ結果ニ依リ容易ニ論斷シ得ベカラズ 他日幾多ノ試驗ヲ綜合シテ其成敗ニ鑑ミ確証スル所アルヘシト雖モ之レヲ本年度ノ成敗ニ徵スルトキハ一反歩ニ對シ無餌地ハ貳圓八拾五錢投餌地甲ハ九圓乙ハ七圓五拾錢ノ收利アル計算ナリ然レドモ米收ノ多寡ハ地味ト肥料ニヨリ其結果ヲ異ニスベク又下記支出部ニ

稻田養鯉

於テ養鯉保護ノ資金ヲ見積ヲサルベカヲズ之ヲ要スルニ事業ノ收利ハ畢竟精密ノ注意  
ト熱心トナリ以テセバ何レノ場合ニ於テモ從來ノ實驗ニ從ヒ一反歩ニ付五圓内外ノ收利  
ハ信ヲ疑ハサル所ナリ

稻田養鯉支出比較表

種類	甲投餌地		乙投餌地		無餌地		比較地
	數量	單價	數量	單價	數量	單價	
酒粕	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	
硫曹(六号)	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	
鯉兒	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	
麥糠	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	
蠶蛹粉	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	
計	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	

但シ表中肥料ノ價額ヲ掲ケサルハ各地同量ニシテ且ツ當養魚ノ收支ニ關係セサル  
ニ依リ其複雜ヲ避ケル爲メ特ニ之ヲ省略セリ

稻田鯉收入比較表

種類	甲投餌地		乙投餌地		無餌地		比較地
	數量	單價	數量	單價	數量	單價	
計	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	

但シ表中收穫玄米ノ價額ヲ舉ケサルハ收支ニ關係ナキヲ以テ增收玄米ノミナ計上  
セリ

稻田養鯉收支比較表

種別	支出		收入		損益	摘要
	數量	單價	數量	單價		
甲投餌地	1,100	1,100	1,100	1,100	0	
乙投餌地	1,100	1,100	1,100	1,100	0	
無餌地	1,100	1,100	1,100	1,100	0	
計	3,300	3,300	3,300	3,300	0	

鯉鯉養殖試驗

本試驗ハ前年度來ノ繼續事業ニ屬シ鯉單養鯉混養ノ二途ニ分チ本場構内養池ヲ充  
用施行セリ即チ前者ヲ五百六十坪トシ後者ヲ六百四十坪トス而シテ單養ハ一ヶ年收  
納ヲ混養ハ二年收納ヲ目的トシ二者共ニ同一年限ノ下ニ其成績ヲ比較對照スルモノニ  
鯉鯉養殖試驗

シテ既ニ前年度ニ於テ單養池ハ鰯二才兒四十四貫八百匁一千四百尾ヲ放テ生産百九貫ヲ收メ本年度更ニ鰯當歲兒二貫二百四十匁五千六百尾ヲ放養シ混養池ハ前年度ニ於テ鰯二歲兒二十八貫八百匁九百尾鰯魚二歲兒二十五貫六百匁六百四十尾鰯兒八九寸ノモノ三十二貫六千四百尾ヲ放養シ鰯六十貫鰯二十貫ノ間引キヲ施シタルマ、更ニ試験ヲ開始セリ

一飼育池ノ概要

養魚地ハ本場構内ニ屬シ地質粘土ニシテ海濱ニ接シ地塘ハ能ク出水ニ堪ヘ得ベキ構造ヲ有シ各池ノ水深四尺内外ニシテ注排口各一個ツツヲ具フ而シテ育水ハ之レヲ溜池ニ仰キ排水ハ干潮時構内大排水溝ヲ經テ海灣ニ吐出セラル、モノニシテ總テ前年度ノ使用池ヲ専用セリ

種類	水源	坪數	摘	要
單養池	〇〇	〇〇	鰯放養ノ目的ニシテ池ハ土堤トス	
混養池	〇〇	〇〇	鰯鰻混養ノ目的ニシテ池塘ハ総テ圍板ヲ施セリ	

二飼育開始月日及放養魚ノ大ナ數量

四月十日投餌ヲ始ム  
放養魚一覽表

養池	坪數	魚名	前年度放養魚		本年度放養魚		合計
			體長	尾數	體長	尾數	
單養池	五〇〇	鰯	七八寸	三三〇	九〇〇	五五〇	一四三〇
混養池	六〇〇	鰻	七八寸	三三〇	九〇〇	五五〇	一四三〇
			八九寸	三三〇	九〇〇	五五〇	一四三〇

但シ前年度ノ放養魚ヲ掲ゲシハ前後ノ關係ヲ明瞭ナラシムル爲メナリ

三餌料ノ給與並ニ數量

餌料ハ蠶蛹米麥糠ノ煮熟シタル動植物ノ混合物ニシテ毎朝一回投餌スル外別ニ混養池ニ放テハ鰻兒ノ出入自由ニシテ他魚ノ侵入ヲ防止シ得ベキ竹簀ヲ池中ニケ所ニ建設シ爰ニ煮熟セル蠶蛹ヲ給シ専ラ同魚ノ營養ヲ補助セリ而シテ本年度投餌ハ四月十日ヨリ十月三十日マデノ間ニ於テ蠶蛹九十貫五百五十匁米麥糠六十九石八斗一升ヲ投與セシガ當飼育中ハ夏期育水缺乏池水變化ノ爲メ餌料ヲ減少シ若シクハ之レヲ廢止セリ月別消耗ノ數量左ノ如シ

鰯鰻養殖試驗